

平成 2 8 年 度
事 業 報 告 書 (案)

社会福祉法人 福 陽 会

特別養護老人ホーム サンシャインビル

短期入所生活介護 (ショートステイ)

事業報告目次

項 目	ページ
事業報告	
1、 事業報告（総括）	1～2
2、 職員構成	3
3、 会議・懇談会・委員会開催状況	4
4、 職員健康管理・職員福利厚生	5
5、 利用者外出・外泊・面会状況	6
6、 保険者別入退所状況	6
7、 看護報告	
1) 利用者健康管理報告	7～8
8、 利用者ケア	
1) 介護主任	9
2) 生活相談員	10～11
3) 介護支援専門員	12
4) 1階フロアの報告	13～14
5) 2階フロアの報告	15～16
6) 3階フロアの報告	17～18
9、 リハビリテーション報告	19～21
10、 栄養事業報告	22
11、 職員外部研修参加状況一覧	23
12、 内部研修報告	24～25
13、 各会議報告書 (物東院止・事故防止・夢遊・排泄・厨厨・研修・看護と介護の連携・口腔・褥瘡・忘年会・職員旅行)	26～35
14、 クラブ活動 (茶道・書道・華芸・書道・朗読・紙芝居・スポーツ・外出・手作りおやつ・お料理・敷葉子屋・園芸・音楽療法)	36 37～44
15、 防災管理報告	45
16、 使用物品等の報告・シーツ等リネン類の発注管理の報告・おむつ管理の報告	46
17、 年間行事実施報告	47
18、 行事日程と実績	48
19、 ボランティア受入れの状況・慰問受入状況	49～52
20、 実習生・研修生受入状況	52
21、 地域行事参加状況一覧表	53
22、 施設設備改善及び備品購入状況報告	54
23、 ショートステイ事業報告	55

平成28年度 事業報告(総括)

1. 基本目標

本年度の重点目標である「いつもそばに～心に届く介護～」を合言葉に全職員で取り組みました。

利用者様の個性を大切に『その方らしい生活』を支援しました。

福陽会基本理念

- ① 利用者様の心身共に健康な生活を保持する
- ② 利用者様の個性を尊重した生活を配慮する
- ③ 生活に希望と生き甲斐を持てるよう環境の整備と季節感ある行事を行なう

を全員で朝礼において唱和することで新人職員にまでにも周知ができました。

年間を通しての利用者様は以下の通りである。

4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
2977	3079	3019	3108	3066	2949	3102	3007	3028	2992	2711	3055	36093

年間延利用者数 36093 人でした。

平成28年度は1年間365日でしたので、1日平均98.88人の利用者様にケアを提供させていただいた結果となりました。

要介護4の方が、28名・要介護5の方が58名と、入所者の86%を要介護状態の重度の方が占めています。

ターミナルケアの希望も多くあり、20名の方を看取らせていただきました。

医療ニーズは今年度においても高く、施設顧問医師への依存度が大きくありました。

ターミナルケアにより看取らせていただいた利用者様のご家族様等から感謝の言葉や満足の言葉を多くいただき、職員一同の励みとなりました。

2. 基本方針

基本方針である「明るい笑顔の絶えない家族・ふれあいのある大きな家庭づくり」を目標に、地域社会との交流を深めました。

- ・職員ひとりひとりが利用者様の意向を把握し、尊重するケア提供を行いました。
- ・各行事、地域の方々に参加していただき、地域との交流を深めました。
- ・地域行事への参加も、積極的に行う事が出来ました。
- ・尊厳を保持し、自立を支援ができるように介護職員の内部研修と OJT を強化しました。

3. 長期目標

- (1) 法人理念の実現向け、法人内の各事業所同志が連携を強化しました。
- (2) 地域との交流を大切にし、地域の福祉ニーズに応えるべく努力しました。
緊急の入所等に対応する体制をつくりました。
- (3) 毎月発行する『サンシャインビラだより』により、施設外に情報を発信するとともに、利用者様・ご家族様に施設の様子をお知らせしました。

4. 中期目標

福陽会キャリアパスの運用により、人材育成と人材の定着が図れました。

5. 本年度の重点目標

職員一同力を合わせ『いつもそばに～心に届く介護～』を合言葉に、サービスの質の向上に取り組みました

- (1) マイナンバー制度等を正しく理解し、情報の管理を行うために鍵のついたキャビネットを購入しました。
- (2) 人材育成に力を入れ、稼働率が高位に安定するように取り組み、本年度の平均稼働率は98.8%でした。
- (3) チームワーク良く連携をはかり、利用者の生活支援をしました。中でもターミナルケアで看取らせていただいた後のご家族様から、温かい感謝の言葉をいただき、職員の励みになりました。
- (4) 報・連・相の徹底により、職員間で情報の共有ができました。

職 員 構 成

平成 29 年 3 月 31 日現在

担当職	職名	職 員	非常勤	
運 営 管 理	顧 問 医		1 名	
	産 業 医		1 名	
	施 設 長	1 名		
経 理	事 務 長	1 名		
	事 務 員	1 名	1 名	
保 守 管 理	介 助 員	1 名	1 名	
介 護	介 護 主 任	1 名		
	生 活 相 談 員	1 名	1 名	
	ケアマネージャー	2 名 (兼務)	1 名	
	1 F	リ ー ダ ー	1 名	5 名
		サブリーダー	1 名	
		担 当 者	5 名	
	2 F	リ ー ダ ー	1 名	3 名
		担 当 者	7 名	
	3 F	リ ー ダ ー	1 名	7 名
		サブリーダー	1 名	
		担 当 者	7 名	
医 務	医 師	3 名		
	看護リーダー	1 名		
	看 護 師	1 名	4 名	
調 理	管 理 栄 養 士	1 名	2 名	
	リ ー ダ ー	1 名		
	調 理 員	4 名		
リ ハ ビ リ テ ー シ ョ ン	柔 道 整 復 師	1 名		
	P T		1 名	

会議・懇談会・委員会開催状況報告書

開催	会議名	月日												開催計 (回)	
		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月		
随時	経営会議														0
月1回	運営会議	22	20.3	17	22	26	23.23	21	18	16	20	17	17	14	
月1回	全体会議		25	22		24	28	26	30	21	25	22	22	10	
随時	人権制度会議													0	
毎水曜日	入所判定会議	13	11	1.22	20.31	10.24	7.21 28	5					15	15	14
毎水曜日	看取介護会議	13.2	18	8.15 29	6.13 22	3.17	14.21 28	3.12 19.21	2.21 30	7.14 21.25	2.4.11 20.28. 28	15.22 22			34
随時	行幸計画会議		20		22		23	21	18		20	17	17	8	
同数回	利用者懇談会	18		27									3	3	
計画日	ケア・ア会議	4	3	6	6	5	5	5	5	4	5	5	8	61	
	介護主任 リーダー会議	22				26	19.23	21	18	16	20	17	17.22	11	
	栄養会議	6 20	11.18	1.8 15.22 29	6.7 13.20	3.10 17	7.8.14 21.28	5.12 19			4.11 18	1.15	15	30	
月1回	衛生会議	27	11	22	29	24	28	19.26 25	30	21	25	15.22	22	15	
月1回	感染症対策会議			22		24	28	26	30	21	25	15.15 22		10	
毎水曜日	事故防止会議	6.13 20.20	11.13 20.25	1.8 15.15 22.29	6.13 20.23	3.10 17.24	7.14 21.28	5.12 19.26 26	2.9.9 16.30	7.14 21	4.11 25	1.15 22	8.15	47	
月1回	防災会議	22	20	4	22	26	9.23 26	21	18	16	20	17.24	17.17	16	
月1回	虐待防止会議	22	20	17	22	26	23	21	18	16	20	17	17	12	
月1回	苦情対策会議	21	20	17	22	26	23	21	18		20	17	17	11	
月1回	研修委員会	13	13	17	14	25	23	21	25	7	19	17		11	
	口腔衛生管理委員会	5.26	10.20 26	7.14 24	5.22	2.5 12	2.13 18	4.11 18	4.8 21.22	2.6 9	20.24 31	13.21	10.16	33	
月1回	褥瘡防止委員会	27	10	1	21	30	20	31	29	31	31	28	28	12	
月1回	拘束防止委員会	28	25	15	26	28	26	26	30	28	20	17	15	12	
随時	療養福利厚生委員会													0	
月1回	排渇委員会	5					5	8					5	4	
月1回	看護職員と 介護職員の連携委員会	24	17	14	14	16	20	13	20	18	12	18	11	12	
随時	厨房委員会	22	20	17	22	26	23	21	18	16	20	17	17	12	
4月・10月	活動責任者委員会	17.19	30	8				8 30	15					7	
随時	3施設入所者 情報交換委員会	28										21		2	
	その他	3	19	29	5.22	2.26	6.29	4.21	1.2 18	6.16	20	17	7	19	

職員の健康管理・労働環境の整備等労働衛生管理について

(1) 定期健康診断結果の労働者への通知

従前より、受診者を対象に、定期健康診断の結果を通知している。

(2) 定期健康診断実施の措置

定期健康診断の結果が明らかになる時期に、日本医師会認定産業医 青山美穂医師((以下 産業医と表記)から有所見者全員を対象に就業上の措置に関する指導を受け、その後、施設長と相談の上、具体的な措置の内容を実施している。採用時と年一回の腰痛問診票提出も励行している。

(3) 定期健康診断の結果に基づく保健指導等

対象となる労働者全員に、定期健康診断を実施。

衛生管理者が受診者中の有所見者に対して、産業医により個別に健康教育・保健指導等が実施された。併せて月に一度、全体会議にて産業医の指導を受けて、衛生管理者が有所見の改善に向けた食生活などのプリントを配布し、健康管理に関する情報の提供を実施している。

(4) 館内の労働環境整備

① 年間を通じて空調整備を行っている。

インフルエンザ・ノロウイルス等の感染症対策・利用者及び職員の体調管理の為、産業医の指導の下で、湿度や温度管理、カビ対策を行っている。

② 職員の事故防止の為に、日々、設備・備品の点検を行い、不備や不具合に対応している。

(5) メンタルヘルスについて

11月に厚労省版ストレスチェック実施プログラムに沿って、職員全員に実施し結果を集計した。

28年度は、4月に59名の健診実施後、産業医が衛生委員会や利用者の診察時間後に施設に残る等の対応をし、有所見者7名との面接を行った。11名の職員に要治療・要検査等、産業医からの指示があった。秋の健診では10月に、夜勤業務を行う職員23名が受診し、12名が産業医からの指示を受けた。その後の経過についても、産業医から職員へ必要事項の伝達や指導が行われ、前年度と比較して有所見率が下降している。

労働災害についても対策を立て、職員全員で努力を継続しており、職員に危険が及ぶ状態にあると思われる備品・設備については、早めの報告により事故発生の防止に努めている。

今後も、産業医からの指導を周知する為の努力をはじめ、職員一人一人が施設内の変化を広い視野で把握し、先見性を持った対応による労働環境改善ができるよう、実践的な計画作成を継続する。

平成28年度 利用者外出・外泊・面会状況

項目 月	外出		外泊		面会		
	人数	延回数	人数	延日数	対利用者	延人数	1日平均
4	3	3	0	0	54	253	8.4
5	1	1	0	0	50	284	9.2
6	1	1	0	0	55	241	8.0
7	2	2	0	0	53	290	9.4
8	1	1	0	0	52	240	7.7
9	0	0	0	0	51	236	7.9
10	2	2	0	0	59	379	12.2
11	0	0	0	0	56	271	9.0
12	1	1	0	0	50	258	8.3
1	1	1	0	0	41	166	5.4
2	0	0	0	0	49	188	6.7
3	2	2	0	0	63	314	10.1
合計	14	14	0	0	633	3120	8.5

平成28年度 保険者別入退所状況

H27.4.1～H28.3.31

市区町村	入所		退所(含死亡)		合計	
	男	女	男	女	入所	退所
昭島市	0	2	1	2	2	3
あきる野市	0	1	0	1	1	1
江戸川区	0	1	0	0	1	0
清瀬市	0	0	1	0	0	1
国立市	0	1	0	0	1	0
杉並区	1	0	0	0	1	0
世田谷区	0	0	0	1	0	1
中野区	0	0	0	1	0	1
練馬区	0	0	0	1	0	1
八王子市	1	1	0	0	2	0
羽村市	1	0	0	0	1	0
東大和市	1	0	0	0	1	0
日の出町	0	1	0	0	1	0
福生市	10	5	10	5	15	15
三鷹市	0	0	0	1	0	1
目黒区	0	0	1	1	0	2
横浜市鶴見区	0	0	0	1	0	1
合計	14	12	13	14	26	27

平成28年度 看護の報告

1. 医務診察

定期的な医務診察時、医師の診察を補助し健康管理・服薬管理・処置等を迅速かつ適正に処理しました。

- | | | |
|-------|-------|----------------|
| ① 内科 | 水曜日 | 青山美穂医師(施設顧問医師) |
| | 木曜日 | 鈴木隼医師 |
| ② 精神科 | 月曜日 | 高妻雅和医師 |
| ③ 歯科 | 火・金曜日 | 若林楨子歯科医師 |

2. 利用者様の健康管理

- ① 月1回は医師の診察を受け、バイタル測定し経過報告を行いました。
- ② 年1回の利用者健康診断を平成28年5月31日(火)に101名の利用者様が受けました。
- ③ 新入所の利用者様には入所時健診を、ご家族様等に説明し同意のもとで受けていただきました。
健康診断の結果は施設顧問医師がご家族様等へ説明していただきました。
また、入所時にご家族様等は「緊急時・看取り介護時の医療行為等に関する意思確認書」と「看取り介護についての同意書」の説明を施設顧問医師から受け、同意の書類を作成しました。
- ④ 外部の医療機関受診や入院等は、ご家族様等の意向を尊重し相談しながらすすめました。
- ⑤ 利用者様・ご家族様等の希望を確認し、インフルエンザ予防接種を実施しました。(98名)
- ⑥ 肺炎球菌の予防接種も、ご家族様等の希望を確認した上で、平成28年度の対象者19名が接種しました。
- ⑦ 利用者様の薬の管理と内服薬の昼薬と夕薬の服薬介助を行い、ナース不在時の朝薬の服薬介助は介護職員に指導・依頼しています。日勤帯でナースが朝薬の薬の空袋を確認して依頼分の服薬確認を実施しています。

3. 口腔ケアの実施

利用者様の健康を保持増進するため、歯科医師・歯科衛生士と連携を図りました。歯科医師・歯科衛生士・看護師・看護職員・管理栄養士・ケアマネ・介護職員等多職種でのミールラウンドの実施により、経口維持4に役立ちました。
食べたくないと言われ拒否された利用者様にも焦らず声掛けしながら一一口から始め少しずつ量が摂れるようになった事例もありました。今後も継続して行きます。しかし、状態によりスムーズに進まない時もありました。

4. 職員定期健康診断

- ① 職員は4月（全対象職員）と10月8夜勤業務に従事する職員）に健康診断を実施しました。健診結果は安全衛生会議で産業医の青山美穂医師により全体指導があり、異常所見者に対し個別面談指導がありました。（7名）
- ② 職員のインフルエンザ予防接種は体質的に接種が出来ない者以外は、接種しました。（53名）

5. 感染症対策

- ① 施設顧問医師の指導助言のもと、感染症に対する内部研修の実施とマニュアルの遵守により、全職員の意識を高め確実な対応実施と自己管理の強化に努めました。
- ② 感染症の発生時は、まん延を防ぐよう各職種と連携を図り努めました。今年度は、認知症を有する高齢者が多く生活されるフロアでインフルエンザの発症がありました。まん延の防止策の徹底により、他フロアへの拡大はありませんでした。

6. 看取り介護の充実により、手厚い看取り介護の実践

- ① 医師の診断のもと宣言にて利用者様・ご家族様等の希望により看取り介護を行いました。平成28年度は20名の方を施設で看取らせていただきました。
- ② 利用者様及びご家族様等の意向を尊重し、多職種で連携して日々変化する様子をご家族様等へ密に説明し記録しました。
- ③ 看取り介護の終了後には、多職種で振り返りを行いました。ご家族様等からは、多くの感謝の言葉をいただきました。

7. その他

- ① 利用者様の心身の状態変化時等は、必ずご家族様等に連絡をしました。連絡時の内容等は記録に残しました。
- ② 長谷川式簡易スケールを用いて認知症の程度を確認し、医師に報告しました。0点以外の方は、概ね3ヶ月毎に確認しました。
- ③ 医療ニーズの高い利用者様も施設顧問医師を中心とする連携により生活していただくことが出来ました。

鼻腔からの経管栄養	1名	胃ろうからの経管栄養	1名
バルンカテーテル	3名	人工透析	1名
- ④ バイタルや日々の状態変化は個人記録に入力して各部署との連携を強化しました。

平成28年度 介護主任報告

「いつでもそばに～心に届く介護～」を合言葉に自立支援と尊厳の保持に向けて職員一同連携を深め取り組みました。各フロアーリーダー、サブリーダーを中心に利用者様の表情や状況を観察し、小さな変化にも気付くよう職員間で声を掛け合いながら、利用者一人ひとりにかかわる支援をしました。今年度は東京都の実地指導があり、毎日の記録がいかに大切であるかということと、それぞれのやるべき仕事を確実に行うという責任感の重要性を学ぶことができました。

職員が自らの仕事を常に振り返ることで介護力の向上が出来、利用者様に寄り添うことで尊厳の保持を実行しました。

1. 人材育成について

- ・年度初めには、退職者がありましたが、職員の協力体制で乗り切りました。利用者様の生活にも影響はありませんでした。現在は、介護職員も定着しています。
- ・利用者様に安心感を持っていただけるような対応が出来るように、フロアーリーダーを中心にエルダーメンター制度を活用し職員教育を行い、サービスの質の向上を図りました。
- ・今年度からのメンタルヘルスやストレスチェックの取り組みもあり、職員の心のケアをすることで人間力の向上にも繋がったと思います。
- ・一人ひとりの職員が、積極的にそして前向きに、どのような変化にも対応できるような人材の育成を継続していきます。

2. 事故防止について

- ・日々の申し送り等で利用者様の状況や変化を把握し、事故防止に取り組みました。ヒヤリハット報告は多部署間で検証し、対策を立てるも、連絡が不十分な点もあり連絡方法において、反省点があります。
- ・起こった事故等を把握し、受け止め、より良い介護が出来るように来年度に継続していきます。
- ・身体拘束は、今年度も「0」を継続することが出来ました。

3. 感染症予防について

- ・衛生会議と感染症対策会議で、施設顧問医師から指導をいただき、対策を実行していましたが、インフルエンザの発症がありました。
- 今後の課題として、流行期における外部との関係や行事等のあり方を検討して行きます。利用者様の生活が「安心・安全」であるよう、支援していきます。

平成 28 年度 生活相談員 事業報告

平成 28 年度は、全体目標「いつでもそばに～心に届く介護～」を実現するために、私たち生活相談員も、利用者様にとって身近な存在であり、いつも利用者様の心に寄り添えるよう、日々の業務に取り組みました。

生活相談員として常に心がけたのは、利用者様一人一人の心身の状態をよく知ることでした。毎日の申し送りに参加し、パソコンに入力された記録を確認することで、利用者様の状態を把握しました。また、利用者様と直接接する機会を持ち、生活相談員の視点をもって利用者様の生活全体とその問題点を捉えるように努めました。生活相談員同士の連絡を密にし、連携を図りました。

利用者様からの要望や苦情があった時には、ご意見を傾聴し、訴えとその奥にある思いをも受け止めるようにしました。すぐには解決できない場合でも、利用者様の思いを代弁し、その後の生活の多少でも反映できるよう努めました。

ケアプランに関連しては、その方の全体像を把握し、社会・心理面のアセスメントを行い、記録分析シートの作成も受け持ちました。生活の中で見過ごされがちな問題にも注意を向け、それぞれの利用者様が安心して生活できることを目指しました。毎週行われるケアプラン会議に出席し、多職種協働のチームケアの実施に協力しました。

代理人様、ご家族様に対しては、様々な連絡を行い、特に体調の変化に関して、医務との連携により早めの連絡を行いました。面会時には声をかけ、ご家族様のお気持ちやご意見を伺う機会としました。

平成 28 年度は 26 名の方が新たに入所されました。在宅からの方 4 名、ショートステイサービス利用の方 12 名、介護老人保健施設からの入所 5 名、介護老人福祉施設からの入所 1 名、病院からの入所 4 名でした。入所関連業務として、入所相談、見学案内、入所判定会議の開催、情報収集や連絡、入所時面接、契約手続き等を行いました。利用者様、ご家族様と信頼関係を築き、入所後の生活がその方らしいものになるよう心を配りました。

退所された方は 27 名でした。多くのご家族様から、施設の介護に対するあたたかな感謝の言葉をいただきました。

平成 28 年度は 7 月 26 日に東京都の実地検査がありました。日頃の業務についての検査を受け、様々なアドバイスをいただきましたが、指摘事項はありませんでした。私たちのサービスの質の向上となるよう、今後も指導助言に従ってまいります。

その他に、利用者様の生活の充実を図るため、行事、慰問、クラブ等を生活相談員が中心となって実施しました。また、多くの方が外出に出かけることができるよう散歩、ドライブ等の計画をたて、大勢の方に参加していただくことができました。

4. 防災・災害時に備えて

- ・災害時に備えて、日常的に使用する物品をフロア内に準備しました。
特に、排泄用品は、無くてはならないものであるため、常時3日分を確保しておきました。
- ・地震発生後に、火災が発生し、初期消火を行うという想定での訓練では、消火器の使い方や屋内消火栓の使い方を学びました。
- ・BCP計画を再検討しました。
また、不審者対策にも力を入れ、不審者の侵入を防止できるように防犯カメラの設置と差す股を購入して、設置し、使用方法を学びました。

平成 28 年度介護支援専門員事業報告

介護支援専門員としての業務をしっかりと行うために、まずご利用者様との関係を作る、継続して保てる様、取り組みました。

お話を傾聴する姿勢を基本にし、「この人は、私の話をしっかり聞いてくれる人」と思って頂けるよう努めました。

ケアプランの作成をする上では、ご利用者様の出来ない事や援助が必要なことは勿論のこと、「できる事＝その方の強み」を生かし、自立支援の内容で作成できるよう努めました。今後も他職種と協力しながら、取り組んでいきたいと思ひます。

・定期のケアプラン見直し（三ヶ月、六カ月）実施は漏れなく行えました。また、状態変化に伴うケアプランの変更も行えたと考えています。

・ケアプラン会議への、ご本人様参加、ご家族様参加については目標を達成はできませんでした。施設である特性上、ご家族様参加が困難な場合が多いので、今後はご本人様参加をより多くできる様、取り組んでいきます。

・会議日程の作成に関しては、ゆとりをもった件数（五件程度まで）になるよう日程調整を行いました。

・ターミナルケア（看取りケア）、褥瘡ケア、ミールラウンド、適宜プラン作成が行えました。

ターミナルケアについては、ケアの振り返り、対応職員へのグリーフケア等、ひとつひとつのケースにつき、継続的に検討が必要であり、今後も取り組んでいきたいと思ひます。

褥瘡ケアについては、作らない事を前提にリスクが高い方については予防策を行う。創部改善には各部署連携し対応をできるよう、今後もプランを作成します。

ミールラウンドについては、経口からの安全な食事摂取が継続できるよう、各専門職が検討した結果を今後もプランに反映させていきます。

・緊急ショートステイの受け入れについても、可能な限り、柔軟に対応が行えたと思ひます。各関係者の皆さんとも情報交換をし、ショートステイ利用期間中のプラン作成が行えました。

・認定調査への立ち合い、調査協力を都度行いました。今後もスムーズな介護保険更新が行えるよう、実施していきます。

平成28年度 1階フロアー報告

「いつでもそばに～心に届く介護～」を目指して取り組みフロアー職員全員でやさしさと思いやりを持って一人ひとりに寄り添う介護を実践しました。

1. 人材育成について

- ・利用者様に安心感を持っていただけるような対応が出来るように、職員教育を行いました。
- ・職員は自分の感情をコントロールし、仕事に打ち込みました。
- ・フロアーレクリエーションやフロアーでの活動については、計画的に実施することができませんでした。
計画を立てて行うというところに課題が残りました。
- ・居室担当者としての役割や利用者様の個人記録の入力については、それぞれが責任を持って取り組んでいたものの、個人の力量に差があり、指導・助言し、向上に努めました。
- ・フロアー内・居室内等の環境整備は、忙しさの中で気が回らず後回しになってしまったところが反省点です。
- ・新人職員へは、食事介助・移乗介助・排泄介助・体位交換・クッションの当て方・背抜きの方法と効果等、基礎となる介護技術の指導と確認をOJTで行い、職員間で統一した対応ができるようにしました。

2. ターミナルケアについて

- ・1階フロアーでは、利用者様の最期を利用者様とご家族様等の望む形で迎えられるようにと思い、介護させていただきました。
- ・看取り介護の方には、心地よく過ごしていただけるように、各職種の職員達と連携を図りました。
- ・体調の変化や皮膚のトラブルには細心の注意を払い、小さな変化も見逃さないようにしました。
- ・「その方らしく」を支援することの難しさを感じました。また、介護者の精神的な負担も大きくあり、職員同士で日々学習しました。
- ・静養室に居室変更された後、ご家族様等との時間を大切に出来るように配慮しました。

3. 事故防止について

- ・ご自分での動きのある利用者様のヒヤリハット報告が多くありました。
それらについて、その都度検討し、対策を立て、その対策を職員間で周知し再事故を防止しました。
- ・嚥下能力の低下された方には誤嚥を防止できるような食事介助方法をナース

- ・や歯科医師・歯科衛生士等の指導助言を受けて行いました。
 - ・ナース不在時の内服薬の介助については、誤薬防止のためにナースからの指導を受け、複数回の確認を徹底し、誤薬の事故はありませんでした。
 - ・経管栄養の方への対応は委員会とも連携し、認定を受けた介護福祉士がナースの指導助言の下で行いました。
- 現在は、胃ろうの利用者様がいらっしゃいませんので、ナースが行ってます。

4. 感染症の予防について

- ・インフルエンザの感染とまん延を心配しました。発熱時には即刻「感染対応」を実行しました。
標準感染予防策の徹底と、指針やマニュアルを再確認し徹底を図りました。
- ・ノロウイルスに関しては、嘔吐があったら即「感染対応」を行いました。
嘔吐処理グッズは、いつでも使用出来るように、準備しておきました。
- ・職員は自分の体の自己管理をしっかり行いました。それでも体調不良になってしまった時には、医療機関を受診し、発熱時はインフルエンザの検査をしてもらい、医師の指示に従いました。
しかし、自己管理の困難さを感じました。

5. 非常・災害時の備えについて

- ・防災グッズと排泄用品の備蓄分を「6月」と「12月」に確認しました。
- ・居室の耐震対策用具の確認を居室訪問時に行いましたが、確実な使用が出来ていないこともあり、引き続き、確認し使用の徹底を図ります。
- ・防犯カメラやさすまたの設置により、緊急時の備えが充実しました。

平成28年度 2階フロアー報告

安心・安全な生活を送っていただけるようにと考えて利用者様との関わりを多く持ちました。

「いつでもそばに～心に届く介護～」を目標にフロアー職員一丸となって目標達成に向けて取り組みました。

職員感の人間関係がよかったからこそ、職員一人ひとりが力を出せたものとおもいます。

業務面での問題は、「相談・報告」を受け、「改善」と言うことが定着しました。「相談・報告」しやすい環境を維持していきたいと思えます。

1. 人材育成について

- ・生活記録の入力については、職員によって「差」があることが課題でしたが、先輩の記録を後輩が参考にしたり実際にOJTにより先輩が後輩を指導する等により向上しました。
- ・環境整備と清潔保持については、忙しい中であっても職員の意識が高まり職員間で声を掛け合い、行いました。
- ・口腔ケアについては、歯科医師や歯科衛生士からの指導助言を受けて、皆で共通の認識を持って取り組みました。
- ・利用者様の心身の状況が変化したときには、アセスメントしてケアマネに提出することで、その利用者様に合った施設サービス計画等の個別の計画作成の発信源に居室担当者がなりました。アセスメント時には、フロアーリーダーとよく相談しながら進めることにより、フロアー職員の育成になりました。
- ・教える側、学ぶ側ともに学び合うことになり、介護力の向上が図れました。

2. フロアーレクリエーションについて

- ・歌集を利用した歌のレクや体操レクを中心に行いました。
- ・各食事の前に、嚥下体操をレクとして取り入れました。
- ・レクは、利用者様だけでなく職員も楽しい時間になるように工夫して行うことにより、フロアーが明るい雰囲気になりました。

3. 事故防止について

- ・ご自分での動きのある利用者様のヒヤリハット報告が多くありました。
- ・ご自分ひとりでフロアー外へ出かけてしまったり、歩行が出来ないにもかかわらず、いざって階段を降りてしまったりと事故にはならないまでも非常に危険な場面もありました。
- ・ヒヤリハットをもとに対策を立てて、事故を防止しました

4. 感染症の予防について

- ・他部署との早い段階での報告、対応を行いました。
- ・インフルエンザの感染とまん延を心配しました。消毒の強化等の対応を行い、

- 標準感染予防策の徹底と、指針やマニュアルを再確認し徹底を図りました。
- ・職員も体調不調時には、医療機関を受診するなどの対応をしました。
 - ・フロアー職員には、感染症に対して、「自分が感染源にならないように」と指導しました。
 - ・新人職員にはオリエンテーション時に、標準感染予防策を指導し、徹底を図りました。
5. 非常・災害時の備えについて
- ・防災グッズの位置や物品の確認を行いました。
 - ・排泄用品については、排泄委員と協力し、備蓄としての3日分の内容を見直し、現状にあった物になりました。
 - ・防災会議の内容をフロアーリーダーから、フロアー職員に伝えて防災意識の向上を図りました。

平成28年度 3階フロア一報告

「いつでもそばに～心に届く介護～」

をめざし、スタッフ一同つねに利用者様に意識を向けて取り組みました。年度の初めに、整容面と生活環境面の強化のために、10項目を定めました。その10項目の評価を定期的に行いました。

その結果、職員一人ひとりの介護力の向上に役立ち、人材育成の面からも、利用者様のQOLの面も合わせて向上することができました。

仕事の中で美意識を育むことが、丁寧な介護へとつながり、事故も減っていくのではないかと考えましたが、ヒヤリハット報告書の提出は依然として多くありました。

ヒヤリハット報告が多く出されたことにより、大きな事故を防止することに結びついたのだと思います。

1 居室担当の役割について（人材育成）

- ・出勤時と退勤時に、職員は元気に利用者様に挨拶しました。挨拶をすることは当然の事ですが忙しい中では、忘れがちになるものですが、先輩職員が率先して行う事により、新人職員までしっかり行えるようになりました。
- ・挨拶や声かけを行う際には、その時の利用者様の様子から、体調や気持ちの変化に気付き、早期の対応が出来ました。
- ・日々の生活記録を充実して、ケアプラン作成に必要な情報をアセスメント出来るようにしました。
新人職員や記録の少ない職員へは、フロアリーダーが指導をしました。
- ・基本介護技術と認知症を有する利用者様への理解や対応方法は、先輩職員から後輩職員へと伝達しました。
- ・今年度は、担当利用者様の整容面と生活環境面に責任を持つという意識が高まってきたという実感が持てました。

2 事故防止について

- ・見守り役の職員を1名配置するという体制を継続して事故防止をしました。
- ・職員の注意不足や未熟さから、利用者様に危険が及ぶことのないように、3階スタッフ全員に、ヒヤリハット報告書事例から事故の再発防止のためにフロア内で、事例検討の内部研修を実施しました。
- ・ヒヤリハット報告書が、多く出されました。
その原因を分析し、対応策を立て、職員間で対応方法を周知し、統一の対応を行いました。全スタッフへの周知徹底の困難さも感じました。
- ・利用者様に「楽しい」時間を提供し、精神的な安定から事故防止に繋がるようにと考えて、レクリエーションを充実させました。

レクリエーションについて、職員の力量に差があることを実感しました。どの職員がレクリエーションを行っても楽しい時間になるように標準化していく必要を感じました。来年度は、予定を立てて行うことにより、レクリエーションをさらに盛り上げていきたいと考えます。

3 口腔ケアについて

- ・毎食後、利用者様全員に対して、その方に合った方法で口腔ケアを実施しました。
- ・食前には「嚥下体操」を行い、合わせて献立説明も行い、コミュニケーション能力と嚥下能力の低下を防止しました。ミールラウンドを行っている利用者様へは、歯科医師、歯科衛生士の指示により食前にアイスマッサージを行うことにより、誤嚥の防止が出来ました。
- ・歯科医師、歯科衛生士からの指導助言内容をスタッフ全員で実行しました。

4 感染症の予防について

- ・インフルエンザの感染がありました。さらなる感染の防止策とまん延の防止策の徹底により、終息を迎えましたが、認知症を有する利用者様のフロアでの感染症の発症は他者への感染を防止することの難しさを痛感しました。
- ・基本である、食前の手洗い・マスクの使用・手の触れる所の消毒・うがいの励行・換気・湿度等に加え、症状のある方の食事は対面で摂らない等を強化しました。
- ・職員の1介助1手洗いもいつも以上に強化し自分自身も感染から身を守り、出勤時は、外から感染源を持ち込まないように注意を払いました。
- ・今年の教訓を忘れてはならないです。

5 非常時・災害時に備えて

- ・フロアリーダーが、スタッフに指導しました。
- ・地震等の災害の発生時は「職員自身の身の安全を確保し、利用者様の安全と精神的ケアを行い、人命救助を第一とする。」という事を、職員の共通認識としました。
- ・フロア内の棚に非常用の備蓄として、排泄用品を3日分確保しています。
- ・不審者の侵入等の報道を受け、今年度は特に、防犯への備えとしての物品の整備や職員の対応方法の確認を行いました。

平成28年度 リハビリテーション事業報告

利用者様の日々の身体状況の変化と精神面の変化をアセスメントし、心身状態に変化が見られた際には訓練内容の変更等を行い、利用者様個々の状態に合った訓練を安全に行いました。

日常生活に定着した個別機能訓練計画書を作成し、状態の変化に応じて多職種での意見交換を行い、計画書の内容を検討しつつ、理学療法、生活リハビリでの個別機能訓練を行いました。

「いつでもそばに一心に届く介護」を目標に内部研修も実践し、他部署との意見交換も行うことができました。

- ・ 個別機能訓練の実施記録はパソコン入力し、情報を他職員と共有することで連携がスムーズとなり、利用者様の状況把握に役立てることができました。
- ・ ケアプラン会議に出席し、各担当者と意見交換を行い、状況に応じて訓練内容の再検討も行いました。
- ・ 個別機能訓練計画に基づき、理学療法と生活リハビリの訓練を行いました。
- ・ 個別機能訓練計画の内容は、利用者様・ご家族様に説明し同意を得、計画書をお渡ししました。
- ・ 訓練を実施し、計画の長期目標と短期目標の達成を目指し、3ヶ月ごとに評価と達成度を確認し、次の計画作成時に役立てることができました。
- ・ 利用者様の状態変化時には、医務やケアマネージャー等と連携を図り、個別計画の中止や変更を行い、変更時には利用者様、ご家族様へ説明を行い、同意をいただきました。
- ・ 訓練室、ベッドサイド等にて理学療法での訓練を随時行っていきました。
- ・ 訓練内容については利用者様の状態、ニーズを考慮し、棒体操、平行棒、段差異降器、セラバンドなどを使用し行いました。
- ・ 大きな変化が見られた方は以下のとおりです。

(機能向上が見られた方)	6名
(機能維持が図れた方)	85名
(機能低下が見られた方)	6名
(骨折事故があった方)	9名
- ・ 季節感のある行事、その他活動を生活リハビリの一環と考え、行事や活動の準備等、利用者様が参加できるよう働きかけを行いました。
- ・ 車椅子使用者のシーティングについても生活相談員、理学療法士、医務等とニーズに合ったものを使用していただけよう検討し、利用者様の座位姿勢が安定、改善に取り組みました。ただ、様々なクッション、車椅子などの検討を重ねましたが、座位姿勢が安定しにくい方もおり、今後は新たなクッションの購入、座り直し介助、シーティングについての内部研修などを行っていく予定です。
- ・ ギャッジベッド、エアマット、自動体交機など褥瘡防止の福祉用具などの管理、

また利用者様の状態に応じたのサイドレールの調整も行いました。福祉用具の数などは下記に記します。

- ・ 歯科医師からミールラウンドの報告、訓練方法、姿勢保持の指導等を受け車椅子上での座位姿勢の指導、確認を行いました。
- ・ 感染症・事故防止・虐待防止・拘束の廃止等についての内部研修に参加し、他部署職員と共通の知識や認識を持ち、対応しました。事故防止についてはヒヤリハットの検証へ参加し、事故の発生原因を検討し、再発防止策について多職種にて話し合いを行いました。拘束の廃止については委員会メンバーとして、拘束についての情報の発信を行っていき、拘束「0」を継続しました。虐待防止のためにアンケートの実施、集計、それを元に研修を行いました。
- ・ 褥瘡を防止するにあたり、褥瘡防止委員会メンバーとして利用者様の褥瘡予防、褥瘡が発生してしまった場合には早期の治癒を目指しました。委員として、皮膚に問題が見られた方については除圧が行えるよう、ベッドマット、クッションの変更などを行いました。褥瘡防止用品についても購入の検討、古いものから新しい物への入れ替えを行いました。
- ・ 寝たきりの利用者様において、理学療法では関節可動域拡大訓練を中心に行いました。また拘縮予防を図る為の体位やクッション等の当て方については外部研修へも参加し、介護者に対しても内部研修等を行い指導しました。
- ・ 常に災害については念頭に置き、訓練室内の環境整備、非常口、消火器等の位置の確認、非常時における行動を意識しながら業務にあたりました。

(福祉用具一覧表)

車椅子	100台	
歩行器 (シルバーカー含む)	17台	
杖 (T字杖、多点杖)	13本	
ポータブルトイレ	6台	
体圧分散マット (ジェルマット含む)	23	
エアマット (自動体交機能付き含む)	11	
施設内のベッド数		
電動ベッド	100台	
手動ベッド	4台	
パイプベッド	1台	総数105台

平成 28 年度 事業報告[栄養]

福陽会の理念をもとに旬の食材を取り入れた季節感のあるメニューや家庭的で温かみのある食事内容・環境作り、衛生面等に配慮し安心安全な食事を提供することを目標に平成 28 年度は業務に臨んできました。次年度も引き続き、旬の食材を取り入れた献立、利用者様からの聞き取りで得られた意見や要望に沿える献立の作成、器や盛り付け等、見た目からも「食べたい」と思っていただけのような食事提供を目標に業務に取り組んでいきます。

食事を楽しんで召し上がって頂く為に、選択食や誕生日食・ラーメン(炒飯)の日の実施、季節に応じたおやつ提供、極細・ペースト食を召し上がる利用者様へ安全で見た目が良く栄養価も高いソフト食の提供を次年度も継続して行っていく。

■選択食等通常メニューと異なる食事提供の実施結果

選択食（ラーメン炒飯の選択の含む）	：月 2 回以上
誕生日食	：月 1 回
変わりご飯（丼・混ぜご飯）	：月 2 回以上
パン・麺の日	：月 2 回以上

■予算管理

給食食材費の予算内運営を目標に、在庫管理の徹底や使用食材の見直しを行いました。次年度も食材ロスや使用頻度が多い食材の価格変動等に注意し予算内運営を目指します。

■利用者様の健康管理

月に 1 度の体重測定結果や年に 1 度の健康診断時アルブミン値・血液データの管理、食事摂取量把握で利用者様の栄養状態を把握しました。栄養状態に問題がある場合はケア会議や医務診察の際に提起し医師や多職種で話し合いを行い状態改善や維持・向上に努めました。

■感染症の予防

手洗い・うがいの徹底、厨房外へ出る際の服装、次亜塩素酸によるトイレの消毒、厨房内の衛生管理、厨房器具の消毒、体調チェックを行い、感染症予防に努め、厨房からの感染拡大に注意し取り組みました。

■ヒヤリハット件数

前年度のヒヤリハット件数は合計で 14 件でした。内容は調理：7 件 ケガ：1 件 異物混入：1 件 請求：1 件 献立：1 件 その他：3 件。今年度のヒヤリハット件数は異物混入：2 件 その他：4 件（職員食の配膳ミス・利用者様の食事形態のミス・高専食への配食忘れ 2 件）の合計 6 件となり、前年度と比較してかなり少ない件数になりました。次年度もケガのない、安全な調理環境を保てるよう努力していきます。

平成28年度 内部研修の報告

利用者様・ご家族様・地域の方々へ信頼される質の高いサービス提供を目標に、全職員の資質の向上に取り組みました。

特に、介護職員の人材育成を強化するために職場内OJTを強化しました。合わせて、管理職員の研修を充実し「管理職員から一般職員」に伝達できる仕組みにしました。

平成28年 4月19日から5月17日		
	一般職員研修	「オリエンテーション・法人理念・職業倫理・心構え」
4月22日	管理職員研修	「心構え・服務規律」
5月11日	新入職員研修	「オリエンテーション」
20日	管理職員研修	「接遇・サービスマナー」
	一般職員研修	「接遇・サービスマナー」
25日	一般職員研修	「接遇・サービスマナー」
31日	新入職員研修	「オリエンテーション」
6月15日	新入職員研修	「オリエンテーション」
17日	管理職員研修	「コミュニケーション・サービスマナー」
	一般職員研修	「褥そう予防」
7月19日	一般職員研修	「口腔ケア」
	一般職員研修	「サービスマナー・第一印象・良い表情」
22日	管理職員研修	「認知症・サービスマナー」
8月 3日	新入職員研修	「オリエンテーション」
8月24日	全職員研修	「個人情報・守秘義務」
8月26日	管理職員研修	「守秘義務・サービスマナー」
9月 9日	一般職員研修	「認知症・対人援助技術」
23日	管理職員研修	「事故防止・介護現場のヒヤリハット」
29日	新入職員研修	「オリエンテーション」
10月 8日	全職員研修	「看取り介護（ターミナルケア）」
21日	管理職員研修	「排泄介助」
23日	新人職員研修	「事故防止」
26日	全職員研修	「高齢者施設における感染症予防」
11月14日	新入職員研修	「オリエンテーション」
18日	管理職員研修	「個別の計画」
25日	介護職員研修	「排泄介助における事例検討」
12月 2日	新人職員研修	「移乗介助」
8日	新人職員研修	「移乗介助」

	12日	一般職員研修	「移乗介助」
	16日	管理職員研修	「人事考課」
	19日	新人職員研修	「個別」の計画・介護過程」
	22日	一般職員研修	「個別の計画・介護過程」
	25日	一般職員研修	「個別の計画・介護過程」
平成29年	1月20日	管理職員研修	「虐待防止」
	21日	新人職員研修	「オリエンテーション」
	25日	一般職員研修	「虐待についての理解を深める」
	2月16日	新入職員研修	「オリエンテーション」
	22日	全職員研修	「身体拘束‘0’に取り組む」
	3月10日	全職員研修	「看取り介護・医療との連携」
	17日	管理職員研修	「感染症」
	22日	新入職員研修	「オリエンテーション」

- ・平成28年度は内部研修を頻繁に行い、正職員・非常勤職員ともに多くを学びあいました。学んだ知識と技術を仕事に活かせる様に取り組み、質の高いサービス提供が出来ました。
- ・新入職員にはオリエンテーションを行い、指導担当者による指導と業務内で行うOJTの強化により、介護技術の習得が出来ました。
指導にあたる先輩も指導を受ける後輩も、共に学び合うことで職員間の良好な人間関係が構築されました。

平成 28 年度 拘束廃止委員会 事業報告

拘束廃止委員会は、利用者様の安全で快適な生活を目指し、身体拘束ゼロを継続していくために活動してきました。

毎月一回、委員会を開催し、施設の現状と問題点を把握し、意見交換を行いました。

施設では、年間を通して、身体拘束は行われていませんでした。ただ、安全の為に利用者様に対して、行動制限のようなことが行われることはないか、施設内の介護のあり方を考えていこうと、取り組みました。

また、職員に対して、「身体拘束」について知ってもらい、身体拘束廃止の取り組みの重要性を考えてもらうため、研修を行うことを目標にしました。研修の日程が取れず、また、全職員に周知するために、資料を作成し、配布しました。資料「身体拘束を『ゼロ』に」は、新入職員にも分かりやすい内容になるよう工夫しました。「身体拘束」についての知識のない職員には、具体例のあげての解説も必要だったのではないかと、というのが反省点の一つです。

平成 28 年度 事故防止会議事業報告

事故防止会議は、平成 28 年度も、利用者様の安全な生活を守るために、生活の中で生じる様々な危険を防止するための取り組みを行ってきました。

事故防止は、介護における重要な課題の一つです。利用者様の心身の状態や意向を考慮し、環境を整え、個別の計画を立てる際に、事故防止の視点が重要になってきます。日々、利用者様の安心と安全を目指していても、様々な出来事が起こり得ます。事故及びヒヤリハット事例が起こった際、報告を行い、職員間で、また各部署間で問題を共有化してきました。

事故防止会議は、毎週水曜日に開催し、施設顧問医師の指導・助言をいただいて、事故並びにヒヤリハット事例を検証し、原因を究明すると共に対策を考察しました。

平成 28 年度の転倒骨折等の重大事故は 5 件でした。それぞれ、行政に報告し、事故報告書及び事故処理報告書を提出しました。対策を実行し、再発防止に努めています。

ヒヤリハット事例は、248 件ありました（別紙参照）。内訳を昨年度と比較すると、転倒・転落の件数は合わせて 43 件とやや少なく、内出血や傷を含む怪我が 50 件とやや多くなっていました。それぞれの事例で、対策を検討し、必要に応じた、ケア方法の変更や見守りの強化等を行いました。

事故ヒヤリ集計

集計期間：2016年04月01日～2017年03月31日

印刷日 2017年04月17日

	転倒 (件数)	転落 (件数)	踏込 (件数)	顔面 (件数)	踏乗 (件数)	ボール (件数)	徘徊 (件数)	器物破損 (件数)	盗難・紛失 (件数)	その他 (件数)	怪我 (件数)	(未入力) (件数)	合計 (件数)
居室	16	15	0	0	1	0	0	1	1	34	24	3	96
ホール	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1
浴室	0	0	0	0	1	0	0	1	0	7	6	0	15
トイレ	2	0	0	0	0	0	0	0	0	7	5	2	16
洗面所	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
頭浴室	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
廊下	3	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0
階段	0	0	0	0	0	0	0	0	0	3	1	0	8
屋外	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	1
入り口	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	1
迷道車内	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
デイルーム	1	3	1	1	1	1	1	1	0	15	11	3	48
その他	0	2	0	0	0	0	2	0	1	13	2	1	21
(未入力)	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	1	37	39
合計	22	21	1	1	3	1	6	4	11	80	60	47	246

平成 28 年度 苦情対策会議事業報告

平成 28 年度も、利用者様やご家族様、面会に来られた方や外部の方から、様々な苦情や意見、希望や要望が寄せられました。その都度、ご意見をしっかりと受け止め、問題解決を図ってきました。それと同時に、私たちの介護を見直す機会として捉え、毎月行なわれる苦情対策会議であらためて取り上げ、検討した内容は会議録に残し、職員全体に周知してきました。

○苦情・・・・・・・・・・12件

【対応】	・ルールの徹底を図った。	・・・・・・・・・・	3件
	・丁寧な説明を行った。	・・・・・・・・・・	4件
	・外部の方に苦情内容を伝え、対応の改善をお願いした。	・・	1件
	・謝罪し、新たな対策を講じた。	・・・・・・・・・・	2件
	・様子を見た。	・・・・・・・・・・	2件

○要望・・・・・・・・・・10件

生活の中で、様々な要望を伺う機会があります。それらの要望の中には、ご本人の意向として、個別のケアプランに生かすことができたものが、多くありました。

また、毎月、第三者委員の方が来園し、利用者様のご意見やご要望を聞き取って下さいました。

○感謝・・・・・・・・・・多数

ご家族様より、「親切に対応してもらった」「この施設に入所してよかった」

「(ご本人は)ここを自分の家だと感じていた」等の感謝の言葉がありました。

○その他・・利用者懇談会では、食事に関する希望が毎回、多数寄せられました。

平成28年度 排泄委員会の報告

排泄面の向上を目指して、取り組みを行いました。

事例に基づいた内部研修を実施し、技術面の向上を図りました。

プライバシーの配慮と正しい排泄介助方法を学び、介護者としての心構えと技術の習得に力を入れました。

利用者様一人ひとりに合わせた使用物品の選択はフロアーリーダーの意見を参考にしながら行いました。

毎月開催する予定の委員会は、予定を組むことが出来ずに、4回の開催と
なってしまいました。

紙おむつ類	年間実績	8,749,721 円
清拭リース	年間実績	968,112 円

平成28年度 厨房委員会の報告

毎月1回、各部署の代表者で、会議をしたので、検討事項や決定事項の周知徹底が図れました。

利用者様の食事についてと、職員の食事についての検討をしました。

インフルエンザの発症があり、まん延防止策の徹底により広がり防止しました。その後も職員一人ひとりが意識を高く持ち、マニュアルや指針どおりに行動することにより大きな心配ごとが起きずに一年間過ごすことが出来ました。

平成28年度 研修委員会の報告

人材育成とサービスの質の向上に取り組みました。

エルダーメンター制度により、指導担当職員が新人介護職員を指導にあたり、OJTを強化しました。

毎月、管理職員研修を行い、管理職員から一般職員への伝達研修を行い、施設内の職員が共通の認識を持って行動できるようにしました。

新入介護職員に対しての、入職時のオリエンテーションを介護主任と介護リーダーが行うことにより、充実したオリエンテーションになりました。

平成28年度 看護職員と介護職員の連携委員会報告

看護職員と介護職員の連携と協働で経管栄養を安全に行えるように取り組みました。

介護職員の行う痰の吸引については、結果的には行いませんでした。

- ・認定特定行為業務従事者がナースの指導助言のもとで行いました。
- ・毎月行う委員会では問題点を見極めて改善策を話し合い周知徹底しました。
- ・ローテーションの関係で認定従事者が不在の場合や介護職員が他業務に多忙な時などはナースが行いました。
- ・経管栄養者の様子や栄養の注入前、注入中、注入後の様子観察を行ない、全行程が安全であるようにケアをすすめました。
また、認定従事者がでない職員にも呼びかけて様子観察を強化しました。
- ・離床時間が確保できる方については、離床した姿勢で経管栄養を行いました。経管栄養中の時間にテレビの音や、外の景色を眺めたりという刺激がQOLの向上になったと思います。
- ・歯科医師・歯科衛生士からの指導助言を受け、口腔内を清潔に保ち、気持ちよく過ごしていただけたと思います。
- ・胃ろうの方を12月9日に、ターミナルケアにより看取らせていただきましたので、現在、胃ろうの利用者様はありません。
- ・痰の吸引が必要な方もいらっしゃいません。
痰がらみが聞かれた時でも吸引までの必要はなく、体位交換の工夫や背中へのタッピング、口腔内の清拭等により対処できるものでした。
- ・歯科医師、歯科衛生士、口腔衛生管理委員会等と連携を図り、口腔内の清潔の保持に力を入れました。

平成 28 年度 口腔衛生委員会報告

昨年度に引き続き口腔ケアの重要性の理解や状態に応じた口腔ケアの方法の周知徹底と、歯科医師と歯科衛生士から助言を受け、内容についての検討・実施を行うことにより、より安全な食事環境を作ること为目标に取り組みを行ってきました。

① 口腔ケア

残渣物による誤嚥性肺炎の予防、食後のうがい、歯磨き等の徹底を呼びかけました。状態に合わせた口腔ケア、用具選び、正しい使用方法等を歯科医師、衛生士等に相談しながら職員へ周知、指導をお願いしました。

② 助言内容の検討・実施

月に 1 回、口腔衛生管理にかかわる内容を介護職員が歯科医師、歯科衛生士に助言、指導を受け、口腔ケアの必要性、重要性等を学び、全職員へ伝達を行いました。

7 月には、「口腔ケアの意味と効果」をテーマに内部研修（口腔ケアセミナー）を開催。参加した職員のみならず、看護職員、厨房職員など多職種で共通理解できるようセミナーの資料を配布し知識、技術の向上を図りました。

また、昨年より開始した経口維持支援の継続。月に一度ミールラウンドを実施し、歯科医師、歯科衛生士の助言を受けながら、多職種で安全な摂取方法や食事形態、個々に適した姿勢等、経口摂取を維持するために必要な援助の検討を行いました。検討内容については、会議録を作成し周知徹底、援助の統一を目指しました。

③ 食事環境作り

誤嚥の少ない環境整備のため、食前の口腔体操や口腔ケア、必要に応じてアイスマッサージを実施。トロミ剤の使用については、使用量の基準をもとに、利用者様ごとの状況に応じてトロミの調整が行えるようになった。

④ 「生きる」ケア

サンシャインピラには、食べる事を楽しみにされている方がたくさんいます。その方たちが、今日と同じように、明日も食事が「楽しみ」「美味しい」と言える生活が、当たり前を迎えられることは、利用者様にとっても、私たちにとっても幸せなことです。肺炎を起こすことはご本人にとっては非常に辛いことです。同時に、苦しむ方を介護するご家族も施設職員も、とても辛い思いをします。最期まで、自分で呼吸をし、口から物を食べ、話し、笑う。人生の締めくくりに日まで、「楽しい」と思える日常を維持するためにも、口腔ケアは重要と言えます。口腔内の清潔はもちろんのこと、嚥下体操の継続により機能維持を図り「生きる」ケアが取り組めるよう努めた。

以上

褥瘡防止委員会活動報告

28年度は褥瘡の発生「0」を目標に全職員に知識と技術を周知徹底するために内部研修、情報の発信を行い、意識と知識の高めていきました。指針とマニュアルを確認しました。

- ①病院から帰園時に褥瘡が発生していた利用者様があり、多職種で情報を共有、協力し褥瘡の早期改善、その後の褥瘡防止のために除圧方法の検討も行いました。
- ②皮膚に問題が見られた際には対応策の検討を行うために情報の伝達方法、素早く対策を実施していけるように会議を行いました。
- ③褥瘡防止用品の購入についても検討し、老朽化した物品、除圧に有効と考えられる物品の購入の検討も行いました。
- ④内部研修では褥瘡防止について理解を深めるための外部(モルテン)に依頼し、研修を行っていただきました

活動内容		褥瘡ケア中、処置を行っている方の経過報告、対応策の検討を行う。褥瘡を発生させないよう対応を検討し、情報を発信していく。	
H28. 4	1、委員会の活動内容について 2、今年度の活動についての検討	H28. 10	1、褥瘡ケア中の方の状況報告 2、処置を行っている方の状況報告 3、皮膚トラブルを防いでいくために
H28. 5	1、皮膚の処置を行っている方の状況報告 2、褥瘡ケア中の方の状況報告 3、排便コントロールについて	H28. 11	1、褥瘡ケア中の方の状況報告 2、処置を行っている方の状況報告 3、皮膚トラブル発生を減少させるために
H28. 6	1、身体にかかる圧の影響と対策についての 6/17の勉強会の打ち合わせ 2、勉強会の実施(主催モルテン)	H28. 12	1、臥床時間が増えている利用者様について
H28. 7	1、褥瘡ケア中の方の状況報告 2、処置を行っている方の状況報告 3、6月の研修を生かしていくために	H29. 1	1、皮膚に異常が発生した際の情報伝達、指示 について
H28. 8	1、褥瘡ケア中の方の状況報告 2、処置を行っている方の状況報告 3、処置の記録について	H29. 2	1、褥瘡、皮膚トラブルについて考えるための資料 作成について
H28. 9	1、褥瘡ケア中の方の状況報告 2、処置を行っている方の状況報告 3、陰部洗浄について	H29. 3	1、褥瘡についての資料作成について内容検討 2、排泄交換時の皮膚トラブルについて

平成28年度 忘年会活動報告書

場所：昭島フォレストイン昭和館

日時：平成28年12月8日(木) 19:00 ～ 21:30

費用合計：¥532,175

参加人数：45名 1人当たり¥11,826

活動報告

- ・17時30分集合、ミーティング後 会場設営
- ・各椅子にお土産袋を配る
- ・受付係と会場誘導係に分かれる
- ・受付係は参加者の確認
- ・誘導係は主に来賓の方の誘導
- ・終了後忘れ物のチェック

良かった点

- ・席が決まっていた為、受付での混乱が無かった
- ・開始時間全て席に座っており(遅番以外)開始がスムーズに行えた
- ・第二・第三・マンション・学院との親睦が深められた

28年度 職員旅行活動報告書

場所： 山梨県(さくらんぼ狩り～河口湖さる劇場)方面

日程： 5月26日(木) 16名
6月 9日(木) 16名
6月23日(木) 15名

参加人数： 47名

費用合計： ￥940,359 1人当たり ￥20,007

幹事の感想

1班

・時間厳守、集合時間より早く集合してくれたので時間通りに出発する事ができました。

・お土産屋さんにも1ヶ所多く寄ってもらえました。

・DVDを持参し、帰りのバスで見たり、寝たりしながら帰って来ました。

2班

・事故やトラブルも無く、無事に終わって良かったと思います。皆さんからも楽しかったとの声も聞かれました。

他方、昼食の料理の味や質についての不満も聞かれました。

3班

・初めて幹事として旅行に参加しましたが、経験者の職員の方に教えてもらいながら、努める事が出来ました。途中、雨の為行程の変更がありましたがスムーズに予定は進行しました。

反省としては、経験者の職員の方に頼ってしまう事が多かったので、今度幹事を担当したら、自分自身で行動できるようにしていきたいです。

- ・事前に職員へ欲しい物を確認し出来る限り要望を叶える事が出来た。
- ・予算内で多くの物とを考えお茶を2Lで買ったが 500mlのペットボトルの方が手間を考えると良かった。
- ・2班から引き続き、確認不足で割り箸や皿が余ってしまった為、確実に余った物の引き継ぎを行うようにすれば良かった。
- ・紙おしぼりは念の為、準備した所すべて無くなり、もう1セットあっても良かった。
- ・食べ物の量については、大体の方が満足して下さり十分な量に準備できた。
- ・旅行中、気分不快(乗り物酔い)がりましたが、大きな怪我や事故無く、多くの方がリフレッシュし楽しんで頂けたと表情から思いました。
- ・私達幹事2人も楽しむ事が出来ました。

平成28年度 クラブ活動報告書

① クラブ活動について

それぞれの利用者さん一人ひとりの希望と残存機能を発揮する場としての活動を行うことができた。

一人ひとりにとって充実した時間を過ごして頂くことができた。

生活リハビリの一環としての活動への参加は非常に重要であった。

② 講師及び担当職員一覧表

クラブ名	先生及びボランティア名	担当職員
茶 道	K先生・I先生	介護職員
華 道	K先生・S先生	介護職員
手 芸	S先生	介護職員
書 道	I先生	介護職員
音楽療法	A先生	介護職員
カラオケ	—	介護職員
朗 読	S様・K様	介護職員
紙 芝 居	—	介護職員
手作りおやつ	K様・N様	介護職員
お 料 理	—	介護職員
外 出	—	介護職員
園 芸	—	介護職員
駄菓子屋	—	介護職員
スポーツ	—	介護職員

平成28年度茶道活動報告

活動回数	17回	参加延人数	210名	平均参加人数	12.3名
活動報告	毎月、第一・第三（土曜日）午後より1時間程度活動 季節の和菓子で季節感を感じ、落ち着いた雰囲気を楽しんでいる様子が見られました。 初めてお茶をたてられた方も良かったと嬉しそうに参加されました。				
月別活動報告					
	内 容			内 容	
4月	ホールで美味しい和菓子と抹茶を頂きました。先生の指導のもと、お茶を点てられ真剣な表情で行っていました。		10月	先生指導のもとお茶を点てました。	
参加人数	実施2回	25名	参加人数	実施2回	24名
5月	多くの方に茶道を楽しみにして頂き、参加後は満足げな表情でフロアに戻られている。		11月	文化祭では、多くの方に茶道に参加して頂き、和菓子とお茶を楽しんでいただいた。	
参加人数	実施2回	23名	参加人数	実施1回	12名
6月	ベッドで休まれている方にも声をかけると喜んで参加される。		12月	お茶とお饅頭を美味しく頂きました。	
参加人数	実施2回	22名	参加人数	実施2回	22名
7月	男性の利用者様もお茶に参加され、楽しまれていた。		1月	中止	
参加人数	実施2回	23名	参加人数		
8月	8月は、実施が1回のみでしたが、参加された方は落ち着いた様子。お茶を点て、楽しまれる。		2月	中止	
参加人数	実施1回	12名	参加人数		
9月	毎回参加されている方は慣れた手つきで上手に点てて楽しまれていた。		3月	明るい春の日差しが差し込む中で、美味しいお茶とお菓子を頂きました。お茶も先生の指導のもと真剣に行った。	
参加人数	実施2回	23名	参加人数	実施2回	23名

平成28年度華道クラブ活動報告

活動回数	18回	参加延人数	219名	平均参加人数	12.16名
活動報告	中止になり活動ができないう月もありましたが今年度も一年間利用者様や先生方と季節のお花を楽しみながら和やかな雰囲気の中で華道クラブを行う事ができました。				
月別活動報告					
	内 容			内 容	
4月	片麻痺のある利用者様もボランティアの方にお手伝いをして頂きながら頑張って活けていました。仕上がりを見て「良かった」と嬉しそうに笑顔になりました。	10月		季節のお花を楽しみながら活けていました。	
参加人数	活動2回 24名	参加人数	活動2回 24名		
5月	きれいなお花を活けて季節を感じる事ができると利用者様も喜んでおられました。	11月		文化祭にも皆様積極的に参加して頂き、華道を楽しまれていました。又、お客様方にお褒めの言葉を頂きました。	
参加人数	活動2回 24名	参加人数	活動2回 27名		
6月	先生に声を掛けてアドバイスを求めるなど、皆様積極的に参加を楽しまれている様子でした。	12月		他の方が活けている様子を観察し、褒め合ったり感想を言い合ったりされていました。	
参加人数	活動2回 24名	参加人数	活動1回 12名		
7月	和やかな雰囲気の中で皆様それぞれの作品にじっくりと取り組んでいました。	1月		中止	
参加人数	活動2回 24名	参加人数	0名		
8月	利用者様どうしで協力しながら一緒に活けている方達もいました。	2月		中止	
参加人数	活動2回 24名	参加人数	0名		
9月	華道にお誘いすると喜んで下さる利用者様も多く、皆様参加を楽しみにされている様子でした。	3月		久しぶりの活動の為か皆さん集中し真剣に取り組んでいました。	
参加人数	活動2回 24名	参加人数	活動1回 12名		

平成28年度手芸活動報告

活動回数	6回	参加延人数	36名	平均参加人数	6名
活動報告	針を持つことが難しく、見えづらくなっている利用者も多くなっているなか、作品完成に向け頑張って取り組んでいる様子。出来上がった作品には満足そうな表情がみられました。				
月別活動報告					
	内 容		内 容		
4月	おやつを食べた後に(バッグ・巾着袋)製作に取り組んでいました。	10月	うまく手が使えない方もいましたが、それぞれの作品の完成に向けて熱心に取り組んでいました。		
参加人数	4名	参加人数	6名		
5月	手芸の先生や利用者様との会話を楽しみながらパッチワークバッグ製作に取り組んでいました。	11月	都合により中止になりました。		
参加人数	5名	参加人数			
6月	作りかけの作品を先生に聞きながら楽しそうに会話をしながら取り組んでいました。	12月	都合により中止になりました。		
参加人数	6名	参加人数			
7月	難しそうな所を先生に聞いたり会話を楽しみつつも作製に取り組んでいました。	1月	都合により中止になりました。		
参加人数	6名	参加人数			
8月	都合により中止	2月	都合により中止になりました。		
参加人数		参加人数			
9月	文化祭に向けて作品の完成を楽しみに意欲的に取り組んでいました。	3月	都合により中止になりました。		
参加人数	9名	参加人数			

平成28年度書道クラブ活動報告

活動回数	16回	参加延人数	189名	平均参加人数	12名
活動報告	各回12名以上の参加を目標としましたが、体調不良の方が多し時などは目標人数を下回る時もありました。しかしながら、平均人数は目標の12名となりました。参加された方におかれましては安全で楽しい書道の時間を過ごしていただきました。文化祭へも多くの出品ができました。				
月別活動報告					
	内 容			内 容	
4月	春の言葉を書きいただき、楽しい時を過ごしていただきました。	10月		来月の文化祭に向けて大きな作品に取り組まれる方が多く見られました。	
参加人数	20名	参加人数		延べ21名	
5月	ご自分で手本を選んでもらい『バラ』や『つつじ』など好きなものを書きいただきました。	11月		今月は文化祭もあり個々の作品を展示したり“師走”や“初雪”等、新たな作品に取り組まれていました。	
参加人数	16名	参加人数		11名	
6月	梅雨から夏にかけての言葉を選び手本を見ながら書いてもらいました。	12月		“大晦日”や“元旦”“初詣”など年末年始を題材に書かれる方が多く見られました。	
参加人数	29名	参加人数		16名	
7月	夏をテーマにした言葉を選び書きいただきました。	1月		今月は活動がありませんでした。	
参加人数	11名	参加人数		0名	
8月	ドライブの後や入浴後にも参加していただいた方も多く、手本を見ながら書道を楽しんでいただきました。	2月		先月に引き続き今月も活動はありませんでした。	
参加人数	21名	参加人数		0名	
9月	ボランティアさんと一緒に書道を楽しまれていました。	3月		“桜”や“つくし”等、春を題材に書かれる方が多く見られました。	
参加人数	18名	参加人数		延べ26名	

平成28年度朗読活動報告

活動回数	13回	参加延人数	182名	平均参加人数	15.5名
活動報告	毎月10名以上のご利用者様に参加をして頂き、ボランティアさん(先生)に楽しい朗読や、昔話、歌などを行って頂いたことにより、ご利用者様一人一人楽しい時間、一時を過ごして頂けたのではないのでしょうか。引き続き、朗読クラブが賑やか、楽しい場のクラブにしていきたいと思ひます。				
月別活動報告					
	内 容			内 容	
4月	歌と朗読を楽しむ、	10月		10/5 秋の歌を唄い楽しむ 10/19 朗読・体操を行い楽しむ	
参加人数	16名		参加人数	10/5 14名	10/19 11名
5月	福生の昔話・短編の朗読 歌謡曲を楽しむ	11月		朗読を楽しむ	
参加人数	15名		参加人数	11名	
6月	6/1 朗読・歌謡曲を楽しむ 6/15 韓国の童話・四季の歌を楽しむ	12月		朗読を楽しむ	
参加人数	6/1 12名	6/15 15名	参加人数	17名	
7月	7月にちなんだ歌を唄われる。 福生の歴史の話しを聴かれる。	1月		中止	
参加人数	13名		参加人数	0名	
8月	本を読んだり、身体の体操を行う	2月		中止	
参加人数	11名		参加人数	0名	
9月	9/7 朗読を楽しむ 9/21 怪談話、歌、体操を行い、楽しむ	3月		朗読と歌を楽しむ。	
参加人数	9/7 15名	9/21 17名	参加人数	16名	

平成28年度紙芝居活動報告

活動回数	11回	参加延人数	633名	平均参加人数	58名
活動報告	おやつ時間帯前後を利用して、利用者様に短時間ではあるが楽しいひとときを過ごして頂くことが出来た。誘導の待ち時間や風邪の時期などを考慮して、各フロアへ回って活動した。普段見る事の出来ない、良い表情を引き出す事が出来た。				
月別活動報告					
	内 容			内 容	
4月 17日	教育画劇の民話『竜のふち』という紙芝居の後、なぞなぞクイズを5問出し、最後に何曲か合唱しました。		10月 30日	雲母書房の紙芝居「とぼしっこ」を紹介する。	
参加人数	1F15名・2F18名・3F28名 計61名		参加人数	1F10名・2F23名・3F29名 計62名	
5月 15日	童心社の紙芝居「おじいさんの花」何人か涙ぐまれている方もいました。方言クイズを行い、季節の歌を合唱。		11月 6日	雲母書房の紙芝居「父のかお 母のかお」を紹介後、体操を行い「もみじ」「富士山」等を合唱した。	
参加人数	1F16名・2F21名・3F30名 計67名		参加人数	1F12名・2F23名・3F24名 計59名	
6月 5日	教育画劇の紙芝居「たなぼたのお話し」と日本の民話「へっこきよめさま」を読んだ後、季節にちなんだ歌やリズム遊びを楽しみました。		12月 27日 (日)	雲母書房の紙芝居「みいちゃんの冬」を紹介。途中で度々冬の歌が出て、皆で合唱しながらすすめた。	
参加人数	1F11名・2F24名・3F23名 計58名		参加人数	1F12名・2F25名・3F27名 計64名	
7月 24日	童心社の落語紙芝居から二作「七どきつね」「めがねやとどろぼう」を観ていただいた。		1月 17日 (日)	雲母書房の紙芝居「金色夜叉」を紹介。その後、ことわざクイズを何題かやり、最後に大正琴を演奏した。	
参加人数	1F10名・2F21名・3F28名 計59名		参加人数	縦移動禁の為、2F利用者のみ20名	
8月 14日	本日は紙芝居ではなく、絵本(汐交社「津波!! 稲むらの火 その後」と小峰書店「ひろしまのピカ」)を紹介。涙ぐまれる利用者様がありました。		2月 7日 (日)	中止	
参加人数	1F10名・2F22名・3F23名 計56名		参加人数	計0名	
9月 4日	雲母書房の紙芝居「おどりばダンスホール」を紹介後、歌と体操を行った。		3月 6日 (日)	童心社の紙芝居「うまいものやま」を紹介。その後、簡単な体操を行い、最後に何曲か昔懐かしい歌を合唱しました。	
参加人数	1F12名・2F21名・3F30名 計63名		参加人数	1F11名・2F23名・3F30名 計64名	

平成28年度スポーツ活動報告

活動回数	9回	参加延人数	178名	平均参加人数	20名
活動報告	年間行事でしっかり計画されているが、様々な外的要因等で変更せざるおえない時があった。その分全体的な規模では出来なかったものの、各フロアで日常的に行う新しい動きも出来てきた。				
月別活動報告					
	内 容			内 容	
4月	中止		10月	運動会は盛大に活気に満ち行えた。パン喰い競争が大好評でした。	
参加人数	0名		参加人数		
5月	風船バレー・ボール遊びを行い、上肢の可動を考えた内容にして実施した。		11月	中止	
参加人数	1回	20名	参加人数	0名	
6月	主に上肢・下肢を十分に動かすようにラジオ体操・歌に合わせて体操・他ゲームも実施する。		12月	中止	
参加人数	1回	14名	参加人数	0名	
7月	各フロア一まわり、体操を行い、大きな声を出しなら手足を動かすようにじっくり実施する。		1月	中止	
参加人数	2回	64名	参加人数	0名	
8月	体操・ボーリングを中心に行い、歌を多く取り入れ、楽しく実施した。			各フロアの状況をみながら体操、輪投げ、つり等を行う。	
参加人数	1回	9名	参加人数	2回	37名
9月	ビーチボールで楽しみながら、自然に上肢等を動かすような運動や体操を行った。		3月	運動とゲーム歌をとり混ぜた内容で楽しく開催することができた。	
参加人数	1回	16名	参加人数	1回	18名

平成28年度外出活動報告

活動回数	5回	参加延人数	26名	平均参加人数	5名
活動報告	1. 季節感を感じられるように企画をして楽しんで頂けた。が、もう少し外出したかった。 2. “瀬音の湯” “阿伎留台公園のバラ” “青梅のかんぼの宿” “ぶどう狩り” “羽村動物園” 利用者様にはとても喜んで頂きました。				

平成28年度手作りおやつ活動報告

活動回数	2回	参加延人数	131名	平均参加人数	65.5名
活動報告	<ul style="list-style-type: none"> ・誰でも参加して頂けるようにおやつを工夫して食べて頂いた。 ・ボランティアさんがいつも手伝って頂きとても助かりました。 				

平成28年度お料理活動報告

活動回数	1回	参加延人数	8名	平均参加人数	8名
活動報告	<ul style="list-style-type: none"> ・包丁で材料を切ったり皮を剥いたり真剣な表情でした。 ・参加して頂いた方達はホールで作ったお料理を召し上がっていました。 ・お茶を飲みながらみなさんでお話しながら楽しんで頂いた。 				

平成28年度駄菓子屋活動報告

活動回数	2回	参加延人数	160名	平均参加人数	75名
活動報告	<ul style="list-style-type: none"> ・駄菓子を選ぶ楽しみがみられた。 ・予定表を見て駄菓子屋さんの日を待っている方もいました。 				

平成28年度園芸活動報告

活動回数	5回	参加延人数	23名	平均参加人数	4.6名
活動報告	季節の花々、野菜作り等利用者様の知っている物を育てる事により愛着が増す様子が見られ、笑顔が多く見られました。 車椅子の利用者様が多く関わるように台を利用（高さ調整）等、土に触れられるよう継続。				

平成28年度音楽療法活動報告

活動回数	13回	参加延人数	254名	平均参加人数	19.5名
活動報告	風邪の季節など、開催できなかった月もあるが、ほぼ月に1~2回開催出来た。唄う方は固定されているが聴いているだけの参加者も楽しまれていた。				

平成28年度 防災の報告

「突然大きな地震に襲われる」「火災が発生する」「不審者が侵入する」等々
予期せぬ事態を想定し、訓練を行いました。
どのような場合でも、事業が継続できる組織であるようにと考え、訓練に取り
組みました。

1. 訓練の記録

・実施日

- 4月22日（非常時の連絡訓練・・・職員非常呼集網）
- 7月12日（地震発生・火災発生・初期消火）
- 8月24日～
- 9月15日（地震発生・火災発生・初期消火等自衛消防訓練審査会にむけて
毎日訓練を行った）
- 9月16日（自衛消防訓練審査会）
- 2月28日（夜間、地震・避難誘導・火災初期消火、消火器の使い方）
- 3月 3日（夜間、地震・火災初期消火、消火器・屋内消火栓の使い方）

2. 防災会議の記録

・実施日

- 4月22日・5月20日・6月4日・7月22日・8月26日・9月9日・
9月23日・9月26日・10月21日・11月18日・12月16日・1月20日・
2月17日・2月24日・3月17日
- ・15回、会議を行いました。

3. 不審者対策

- ・震災、火災に対する訓練を例年同様に行った上で、不審者対策を強化しました。
福生警察での不審者対応研修に参加し、学ぶとともに、「さすまた」を購入し
設置しました。
防災会議の中で、さすまたの使い方と体験をして「備え」の心構えを強めました。
- ・防犯カメラを設置し外部からの侵入者を確認できるようにしました。
- ・夜間、正面玄関からの侵入を防止するために、センサーを設置しました。
- ・1階職員休憩室に、窓枠を取り付けました。

平成28年度 使用物品等の報告

「在庫が少なくなったことに気付いた職員が、事務所にメモで知らせる」という方法が定着しました。
事務所で発注して納品された物品は、介助員が所定の場所に片づけて管理をしました。
各職員一人一人の意識で、チームワーク良くすすめる事が出来ました。
物品を持ち出したときに行う記録の残数が合わないことが多くあり、課題が残りしました。

平成28年度 シーツ等リネン類の発注管理の報告

シーツ等リネン類の発注に関し、シーツ交換の委託業者に依頼しました。
シーツ交換を業者に委託する事により、介護職員はリネン交換以外の介護に取り組むことが出来ています。
その時間を利用者様との会話や関わりの時間にできる事は良い効果です。
定期的なシーツ交換以外の交換は介護職員が行い、利用者様の心地よい環境を支援しました。

平成28年度 おむつ管理の報告

- ・ リースの清拭布を使用しています。
清拭布の使用にあたっては、職員はコスト意識を持って使用しています。
排泄委員の働きかけにより、それぞれの職員の意識も高まりました。
無駄な使い方をしないように注意しています。
- ・ 紙おむつ類は、パンツ型・テープ型のおむつと尿取りパットを使用しています。それぞれの方の排泄状況をアセスメントし、利用者様の状態に合わせて使用物品を選択し、排泄委員が中心になり、各フロアリーダーの意見等も参考にしながら、利用者様が快適に過ごしていただくことに重点を置きました。
- ・ 利用者様の平均要介護度が高くなり、排泄介助の必要な方がほとんどとなったせいか、排泄用品の年間使用量が増加しています。
- ・ 今年度も排泄面の向上を目指して取り組み、事例の基づいた内部研修を実施し、プライバシーへの配慮や正しい排泄介助方法を学び、介護者としての心構えや技術の習得に力を入れて、人材育成を行うことが出来ました。

平成28年度 年間行事実施状況報告書

年間行事を予定通り実施し、今年度も季節感を感じていただけた。精神面の充実にもつながり活性化が図れた。

今年も運動会を行う事ができました。紅白に分かれて真剣な表情で競い合いました。

月	日	曜日	行事名	参加人数	内容
4	10	日	親 桜 会	88	武州唐獅子太鼓・日舞・カラオケ 太鼓や囃子を貸して頂き、一緒に音を鳴らして楽しませていました。
7	3	日	納 涼 祭	81	フラ・オーシャン加国・日舞・歌謡ショー・スイカ割り・カラオケ・盆踊り 利用者様やご家族様・来賓によるカラオケ
9	19	月	敬 老 会	67	式典を行なう。 お祝いの言葉(職員)・全員での合唱
10	7	金	運 動 会	77	紅白対抗玉入れ・車椅子競争・風船バレー・パン食い競争・大声大会・応援合戦 バトン渡し。皆さん大笑いしながら楽しく行われました。
11	4	木	文 化 祭	82	すたーびい(ミュージックバルーンユニット)・日舞・カラオケ バルーン(風船)で色々な物を作って頂き、見て触って楽しませていました。
12	23	水	ク リ ス マ ス 会	65	シャンメリーで乾杯!昭島ウインドオーケストラの演奏を聞き 演奏後には喫茶でケーキを食べました。
1	1	金	元 旦 祭	55	祝膳は各フロアーにて召し上げて頂く。新年のお言葉は全館放送しました。 おやつ甘酒も大好評いただきました。
2	3	金	節 分	全員	各フロアーを回り、寸劇を行った。 各フロアーを回り、豆まきを行った。 各フロアーを回り、思い出の写真を撮った。
3	3	金	ひ な 祭 り	75	各フロアー毎にホールの雛段を見に行かれ、「うれしいひな祭り」を唄い おやつに甘酒と雛あられを食べました。

行 事 日 程 と 実 績

行 事	実 施	内 訳	金 額	小 計
親桜会	28年 4月10日 (日) 2階ホール	通信費 模擬店食材 公演等御礼 その他	5,012 156,403 100,000 5,352	266,767
納涼祭	28年 7月 3日 (日) 2階ホール	通信費 模擬店食材 公演等御礼 その他	4,102 152,712 100,000 4,526	261,340
地域祭礼	28年7月30日 (土)	飲み物 菓子等	9,304 9,236	18,540
敬老会	28年 9月10日 (土) 2階ホール	花 公演等御礼 その他	10,000 0 0	10,000
運動会	28年 10月 7日 (金)	備品購入 その他	1,080 18,226	19,306
文化祭	28年11月 3日 (祝日) 文化の日 玄関ホールと 2階ホール	通信費 模擬店食材 公演等御礼 その他	3,120 162,305 70,000 10,604	246,029
クリスマス	28年12月23日 (祝日) 天皇誕生日 2階ホール	会場備品準備 公演等御礼 その他	0 3,000 11,412	14,412
餅つき大会 (中止)	28年12月28日 (月) 2階ホール	もち米. 他	14,580 (杵2本)	14,580
正月	29年1月1.2.3日 (金.土.日) 各フロアと 2階ホール	門松.お飾り 花 公演等御礼 その他	57,238 5,000 10,000 2,172	74,410
節分祭	29年 2月 3日 (金) 各フロアと 2階ホール	鬼打ち豆 その他	1,080 540	1,620
ひな祭り	29年 3月 3日 (金) 2階ホール	あられ.他 花	1,497 3,500	4,997

合 計 ¥ 932,001

平成28年度 ボランティア受入状況報告

月	日	行事(作業)名	人数	活動内容
4	1	作業補助(個人・女性)	1	手すり拭き・清掃
	2	書道クラブ	2	クラブ活動の準備・片付け等
	//	茶道クラブ	1	茶道講習
	4	利用者レクリエーション	1	フラダンス
	6	朗読	3	本の朗読
	8	作業補助(個人・女性)	1	手すり拭き
	10	観桜会	1	紅白幕等準備
	//	//	5	模擬店商品受渡し
	//	//	2	会場対応
	//	//	2	踊り
	//	//	18	武州唐獅子太鼓
	//	//	2	お客様対応
	11	介護作業等補助(個人・女性)	2	手作りおやつ補助
	13	華道クラブ	1	華道講習
	//	作業補助(個人・女性)	1	華道クラブ補助
	15	保育園児	30	慰問
	//	作業補助(個人・女性)	1	トイレ清掃
	16	作業補助(個人・女性)	1	手摺り等の消毒・階段清掃
	//	書道クラブ	2	クラブ活動の準備・片付け等
	//	茶道クラブ	1	茶道講習
	18	利用者レクリエーション	1	音楽療法(歌、ピアノ)
	19	慰問・介護補助	8	清拭たため
	20	作業補助(個人・女性)	1	床清掃
	22	作業補助(個人・女性)	1	床・階段清掃
	24	慰問	7	舞踊
	26	慰問(個人・男性)	1	踊り・草笛
	27	華道クラブ	1	華道講習
	//	作業補助(個人・女性)	1	華道クラブ補助
	28	利用者レクリエーション	1	音楽療法(歌、ピアノ)
	28	作業補助(個人・女性)	1	手摺り等の消毒・階段清掃
	29	作業補助(個人・女性)	1	床・階段清掃
5	3	茶道クラブ	1	茶道講習
	4	朗読	2	本の朗読
	7	書道クラブ	2	クラブ活動の準備・片付け等
	9	生活リハビリ(個人・女性)	1	利用者手作り作品作成
	10	介護作業等補助(個人・女性)	2	手作りおやつ補助
	11	華道クラブ	1	華道講習・準備等
	//	作業補助(個人・女性)	1	華道クラブ補助
	17	慰問・介護補助	8	清拭たため
	18	介護作業等補助(個人・女性)	1	トイレ・床清掃
	20	作業補助(個人・女性)	1	床・階段清掃
	21	書道クラブ	2	クラブ活動の準備・片付け等
	//	茶道クラブ	1	茶道講習
	25	華道クラブ	1	華道講習・準備等
	//	作業補助(個人・女性)	1	華道クラブ補助

月	日	行事(作業)名	人数	活動内容
5	27	介護作業等補助(個人・女性)	1	トイレ・床清掃
	30	利用者レクリエーション	1	音楽療法(歌、ピアノ)
6	1	朗読	3	本の朗読
	3	福生高校定時制ボランティア部	5	利用者レクリエーション
	4	書道クラブ	2	クラブ活動の準備・片付け等
	11	茶道クラブ	1	茶道講習
	5	利用者レクリエーション	1	音楽療法(歌、ピアノ)
	6	利用者レクリエーション	1	フラダンス
	8	華道クラブ	1	華道講習
	11	作業補助(個人・女性)	1	華道クラブ補助
	13	生活リハビリ(個人・女性)	1	利用者手作り作品作成
	15	朗読	3	本の朗読
	18	書道クラブ	2	クラブ活動の準備・片付け等
	11	茶道クラブ	1	茶道講習
	21	慰問・介護補助	8	清拭ただみ
	22	華道クラブ	1	華道講習
	11	作業補助(個人・女性)	1	華道クラブ補助
	27	利用者レクリエーション	1	音楽療法(歌、ピアノ)
	28	利用者レクリエーション	1	草笛他
7	3	納涼会	2	紅白幕等準備
	11	11	5	模擬店商品受渡し
	11	11	4	踊り
	11	11	20	フラダンス
	11	11	1	お客様対応
	4	利用者レクリエーション	1	フラダンス
	6	朗読	3	本の朗読
	11	生活リハビリ(個人・女性)	1	利用者手作り作品作成
	13	華道クラブ	1	華道講習
	11	作業補助(個人・女性)	1	華道クラブ補助
	14	作業補助(個人・男性)	1	将棋・書類処理の補助
	16	書道クラブ	2	クラブ活動の準備・片付け等
	11	茶道クラブ	1	茶道講習
	23	朗読	3	本の朗読
	27	生活リハビリ(個人・女性)	1	利用者手作り作品作成
	11	華道クラブ	1	華道講習
	11	作業補助(個人・女性)	1	華道クラブ補助
	11	介護作業等補助(個人・女性)	1	トイレ・床清掃
8	5	作業補助(個人・女性)	1	流し踊り参加
	6	書道クラブ	2	クラブ活動の準備・片付け等
	14	利用者レクリエーション	1	音楽療法(歌、ピアノ)
	17	朗読	3	本の朗読
	20	茶道クラブ	1	茶道講習
	23	慰問(個人・男性)	1	踊り・草笛
	24	福生高校定時制ボランティア部	6	利用者レクリエーション
	27	慰問	7	演芸
	28	利用者レクリエーション	1	音楽療法(歌、ピアノ)
9	3	書道クラブ	2	クラブ活動の準備・片付け等
	5	慰問	1	フラダンス
	7	朗読	3	本の朗読
	12	慰問	30	保育園児他
	11	生活リハビリ(個人・女性)	1	利用者手作り作品作成
	17	茶道クラブ	1	茶道講習
	11	書道クラブ	2	クラブ活動の準備・片付け等
	18	利用者レクリエーション	1	音楽療法(歌、ピアノ)

月	日	行事(作業)名	人数	活動内容
9	20	慰問	8	清拭ただみ
	21	朗読	3	本の朗読
	25	利用者レクリエーション	1	音楽療法(歌、ピアノ)
	28	華道クラブ	1	華道講習
	//	作業補助(個人・女性)	1	華道クラブ補助
10	1	書道クラブ	2	クラブ活動の準備・片付け等
	2	利用者レクリエーション	1	音楽療法(歌、ピアノ)
	3	慰問	1	フラダンス
	5	朗読	3	本の朗読
	8	茶道クラブ	1	茶道講習
	12	華道クラブ	1	華道講習
	15	書道クラブ	2	クラブ活動の準備・片付け等
	//	茶道クラブ	1	茶道講習
	17	慰問	30	保育園児他
	19	朗読	3	本の朗読
	25	利用者レクリエーション	1	草笛他
	26	華道クラブ	1	華道講習
	//	作業補助(個人・女性)	1	華道クラブ補助
	29	利用者レクリエーション	1	音楽療法(歌、ピアノ)
11	2	華道クラブ	1	華道講習
	3	納涼会	2	紅白幕等準備
	//	//	5	模擬店商品受渡し
	//	//	2	バルーンアート
	//	//	3	華道クラブ
	//	//	2	茶道クラブ
	7	慰問	1	フラダンス
	14	生活リハビリ(個人・女性)	1	利用者手作り作品作成
	16	朗読	4	本の朗読
	18	作業補助(個人・女性)	1	床清掃・手摺り等の消毒
	19	書道クラブ	3	クラブ活動の準備・片付け等
	//	茶道クラブ	1	茶道講習
	21	利用者レクリエーション	1	音楽療法(歌、ピアノ)
	23	華道クラブ	1	華道講習
	//	作業補助(個人・女性)	1	華道クラブ補助
	27	慰問	1	ガールスカウト
	28	利用者レクリエーション	1	音楽療法(歌、ピアノ)
12	2	介護作業等補助(個人・女性)	1	トイレ・床清掃
	3	書道クラブ	2	クラブ活動の準備・片付け等
	//	茶道クラブ	1	茶道講習
	5	慰問	1	フラダンス
	7	朗読	3	本の朗読
	12	利用者レクリエーション	1	音楽療法(歌、ピアノ)
	14	華道クラブ	1	華道講習
	//	作業補助(個人・女性)	1	華道クラブ補助
	19	利用者レクリエーション	1	音楽療法(歌、ピアノ)
	23	慰問	25	オーケストラ
1	20	介護作業等補助(個人・女性)	1	トイレ・床清掃
	27	介護作業等補助(個人・女性)	1	トイレ・床清掃
3	4	書道クラブ	2	クラブ活動の準備・片付け等
	8	華道クラブ	1	華道講習
	//	作業補助(個人・女性)	1	華道クラブ補助
	10	介護作業等補助(個人・女性)	1	トイレ・床清掃

月	日	行事(作業)名	人数	活動内容
3	15	朗読	3	本の朗読
	17	介護作業等補助(個人・女性)	1	1Fトイレ・床清掃
	18	書道クラブ	2	クラブ活動の準備・片付け等
	23	利用者レクリエーション	1	音楽療法(歌、ピアノ)
	24	介護作業等補助(個人・女性)	1	床清掃
	31	介護作業等補助(個人・女性)	1	トイレ・床清掃

年間 延べ 424名のボランティアさんに活動して頂きました。

実習生・研修生受入記録

No.	期 間		実習依頼先	実習内容	人数	日数
	(年)	～				
1	28	6/16	6/16	ヘルパー学院サンシャインビル	介護職員初任者研修実習	1 1
2	#	8/22	8/26	東京都社会福祉協議会	社会福祉施設介護体験	2 6
3	#	9/12	6/16	東京都社会福祉協議会	社会福祉施設介護体験	1 5
4	#	9/13	9/13	ヘルパー学院サンシャインビル	介護職員初任者研修実習	3 1
5	#	12/6	12/9	ヘルパー学院サンシャインビル	介護職員初任者研修実習	4 1
6	29	3/14	3/14	ヘルパー学院サンシャインビル	介護職員初任者研修実習	5 1
計					16	名

※ 中学生の職場体験とし、福生市立福生1中の生徒及びインターシップとして秋留台高等学校の生徒を受け入れた。

平成28年度 地域行事参加状況一覧表

地域の行事への参加は良い外出の機会となった。

月	日	曜日	行事名	参加人数	内容
4	3	日	第2親桜会	5	楽しい催し物に美味しいご馳走を頂きました。
	23	土	第3親桜会	5	楽しい催し物に美味しいご馳走を頂きました。
5	5	木	凧揚げ(町内会)	8	大きな凧が空に上がる所を見ました。
6	30	木	福老連演芸大会	5	歌や踊りを見に行きました。
7	30	土	夏祭り(志茂一町会)	-	山車・神輿の休憩所
8	5	金	福生七夕見物	5	福生市の七夕まつりを見物しました。
9	11	日	福生市敬老会	7	福生市民会館にて表彰後、歌謡ショー
	16	金	消防審査会	5	施設の職員が参加され、応援に行きました。 皆さんの緊張が伝わってきました。
10	2	日	福祉まつり	4	催し物を見たり、好きな物を購入しました。
	9	日	第2文化祭	5	沢山の作品を見て美味しいご馳走も頂きました。
	29	土	第3文化祭	4	作品を見たり購入したり美味しいご馳走も頂きました。
3	26	日	桜まつり	-	雨天の為、中止する。
			合計	53	

設備改善及び備品購入状況

項目	月	日	件名	数量	金額	使用場所	納入業者
備品	4	18	エアコン	2	380,660	1F休憩室・3F寮母室	コジマ
	4	30	エアーマット	1	107,784	利用者	キューサポート
	5	31	金庫	1	101,520	事務所	ツクモ商事
	5	31	防犯用モニター増設	1	234,576	1F寮母室	大興電子通信
	5	31	オスカー	1	135,545	利用者	あっぷる介護用品
	小計					960,085	
修繕費	9	30	2・3Fベランダウレタン塗膜 防水工事	1式	642,816	2.3	金子設備工業
	29/1	31	1・3F引き戸工事及び 1F格子取付	1式	146,437	1F休憩室.3F介護材料室	金子設備工業
	2	28	スチームコンベクション修理	1式	388,800	厨房	国立厨房
	4	4	混冷配膳車修理	1式	205,200	厨房	パナソニック産業システムズ
	小計					594,000	
合計					1,554,085		

平成28年度 短期入所生活介護事業報告

1. 基本方針

1) 月別利用者延人数調査

4月	38名	・	5月	17名	・	6月	2名
7月	4名	・	8月	4名	・	9月	0名
10月	28名	・	11月	25名	・	12月	58名
1月	80名	・	2月	33名	・	3月	29名

1年間に、延べ人数で合計318名の方に利用していただきました。

制度の中でのベッド稼働を考え、地域のニーズに最大限応えることを実践しました。

- 2) 協力病院・地域の医療機関等と連携を図り、ご家族様とも協力し合い、健康管理を行いました。

2. 重点目標

「いつでもそばに～心に届く介護～」を合言葉に職員一同力を合わせてサービスの質の向上に取り組みました。

- (1) 緊急な受け入れを行いました。
- (2) 重度要介護者の受け入れも行いました。
- (3) 2床の短期入所生活介護のベッドのため、男女の組み合わせ等により短期入所を受けにくい場面もありました。
- (4) 内部研修とOJTを強化しました。
- (5) 各部署のチームワークが強化できました。
- (6) 生活の場として安全であるよう環境を整え安心して過ごし、安心して帰宅へ戻れるよう支援しました。

•
•
•

•
•
•

平成 28 年 度

事 業 報 告 書

社会福祉法人 福 陽 会

特別養護老人ホーム 第2サンシャインビル
短期入所生活介護・介護予防短期入所生活介護（ショートステイ）

事業報告目次

項 目	ページ
事業報告	
1. 事業報告(総括) 中長期経営計画達成状況	1
2. 職員構成	2
3. 会議・懇談会・委員会開催状況報告書	2
4. 市区町村別入退所状況	3
5. 利用者外出・外泊・面会状況	3
6. 処遇報告	3-6
1) 2F 事業報告・活動報告	
2) 3F 事業報告・活動報告	
3) 4F 事業報告・活動報告	
4) 月間定例行事実施状況	
5) 地域行事参加状況一覧表	
6) 施設見学者一覧表	
7) 日用品費・介護用品費・被服費等事業費報告	
7. 厨房事業報告	6-7
1) 実施項目	
2) 代替食実施状況	
3) 行事食内容報告	
4) 給食懇談会実施状況	
8. 医務室利用者健康管理報告	8-9
9. リハビリテーション報告	9-10
1) リハビリ実施報告表	
10. 生活相談員・介護支援専門員	10
11. クラブ活動実績報告	11-13
12. 年間行事実施報告	13
13. <u>事務費・固定資産物品報告</u>	14
14. 事故報告. ヒヤリ・ハット報告	14-15
15. 職員研修報告	15~18
16. ボランティア受入の状況	18~20
17. 慰問受入状況	21
18. 実習生受入状況	21
19. 消防訓練実施結果	22
20. ショートステイ事業報告	23

1. 事業報告 (総括)

統括施設長指示のもと、「その人らしく生活できる環境づくり」の追求を更に深め、利用者個々の可能性への着目とより細やかな様子観察やコミュニケーションの更なる増加が実践する事が出来た。前年度と同様、日帰りドライブを中心に利用者ニーズを勘案したフロアやユニット活動が更に充実し、食事メニューの増加や厨房職員による手作りおやつ継続等、利用者個々の豊かな表情や笑い声の絶えない日常生活を提供する事が出来た。

地域交流については、地元加美町会との合同防災訓練の実施や地域住民への5階ホールの貸し出し、地元中学生等の職場体験受入れ以外にも今年度初めて小学生の職場訪問の受入れを実施。認知症オレンジカフェの開催や福生市から委託を受けている家族介護者教室への講師派遣の継続等、前年度以上に交流を深める事ができ、地域に開かれた施設運営を更に高める事が出来た。

東京都より高評価を頂いた研修関係についても、内部・外部研修の更なる充実を推進し、施設開設以来変わる事の無い理事長・統括施設長・顧問医師の福陽会の理念を職員個々に十分に理解・浸透させる事ができた。内部研修に関しては、研修委員等の熱意や創意工夫により定期研修会と合わせ、フロア毎の内部研修や地域の方にも参加して頂ける「公開研修会」の継続開催等により、充実した内容の研修会を行う事で、研修全体の精度が更に高まった。特に今年度の公開研修会は120名を超える参加者があり大変活気のある研修会となり、継続開催の意味や意義を改めて感じ取る事ができる研修会となった。

利用者の健康管理については、平均介護度4.1と重度化が継続している中、顧問医師の指導による日々の健康チェックときめ細やかな日常観察等を介護・看護職員が連動して行い、病気の早期発見・早期治療を実施する事ができ、感染症対策や看取り介護の実践が継続できた。

一方では、開設から21年が経過し、各設備の消耗や老朽化が更に進んでおり、屋上の防水工事や冷暖房ボイラーのメンテナンスを中心に細かな部分も含め修理・改善に要する費用が大幅に増加となった。修繕等については今後もベッドの入替えや各設備の入替え等、続いていく可能性が非常に高い為、施設全体の経費の見直し・削減を進めていき、効率的な施設運営を目指すと共に、利用者並びに施設職員が明るくそして幸福感や満足感を感じてもらえるような施設作りを今後も継続して行きたい。

介護報酬等収入実績：658,354,389円

【中長期経営計画達成状況】

利用者様が明るく豊かに生活でき、利用者様のご家族様が施設生活に対して信頼や安心を感じてもらえるような、個々のニーズにあったサービス提供並びにプライバシーに配慮したサービス提供の充実をはかるべく、事業運営を心がけ、そして利用者・地域住民から評価される質の高いサービス提供することができた。年度当初目標を常に心がけ、一年間の事業運営にあたり、結果として、冒頭のとおり成果を残すことが出来た。次年度以降も職員が初心を忘れずに各自が責任を持って業務を遂行していく。

2. 職 員 構 成 3月31日現在

担当職	職 名	職員	非常勤
統括施設長		1	
施 設 長		1	
顧問医師			1
産業医			1
副施設長			
事 務 長		1	
事 務 員		2	2
生活相談員	主任生活相談員	0	
	生活相談員	4(3)	
	介護長	0	
介護支援専門員		(3)	
介護職員		39	27
医 務	医 師		3
	看護主任		
	看護職員	5	2
	事務		1
機能訓練指導員	機能訓練指導員	2	
	P T		2
厨房	管理栄養士	1	
	調理員	8	1
保守管理・宿直	介助員	1	10

*兼務職員は主たる職務に記載し、兼務している職務では（ ）内に記載

*清掃・洗濯・夜勤パートの一部はシルバー人材より派遣

人件費実績 : 454,398,764 円

福利厚生費実績 : 3,717,882 円

3. 会議・懇談会・委員会開催状況報告書

	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	回数合計
相談員会議	14	12	9	14	11	8	13	10	8	12	9	9	12
栄養会議	28	26	23		25	22	31	24	22	26		23	10
行事計画委員会	14	12	9	14	11	8	13	10	8	12	9	9	12
苦情・拘束会議		26			25			24			23		4
事故対策会議	28			28						26			3
虐待防止会議			23			22			22			23	4
実習研修推進委員会	18	17	20・22	18	15	19	17	29	19	16	20	20	13
厨房会議	13		8		10		12		14	11		8	7
ケース会議	14	12	9	14	11	8	13	10	8	12	9	9	24
	28	26	23	28	25	22	31	24	22	26	23	23	
リーダー会議	14	12	9	14	11	8	13	10	8	12	9	9	12
広報委員会	14	27	24	22	26		28	25	23	27			9
施設内レクリエーション委員会	18	16	20	18	15	19	17	21	19	16		20	11
褥瘡予防会議	28	26	23	28	25	22	31	24	22	26	23	23	12
衛生委員会	22	27	24	29	26	30	28	25	16	27		24	11
感染症対策委員会			24			30			16			3	4
全体会議	22	27	24	29	26	30	28	25	16	27		3・24	12
利用者懇談会	27				3					19			3
給食懇談会	4	2	6	4	1	5		7	5	9	6	6	11
3施設情報交換会	28										21		2
ボランティア懇談会						27						28	2
相談員会議	14	12	9	14	11	8	13	10	8	12	9	9	12

会議費実績 : 79,980 円

4. 市区町村別入退所状況

	入 所		退 所		合 計	
	男	女	男	女	入 所	退 所
葛 飾	3	2	0	2	5	2
国 立	0	0	1	1	0	2
江 東	0	0	0	0	0	0
杉 並	2	2	0	3	4	3
世田谷	2	6	1	2	8	3
立 川	0	0	0	3	0	3
福 生	1	8	3	5	9	8
文 京	1	0	1	0	1	1
目 黒	0	1	0	1	1	1
その他	0	1	1	2	1	3
合計	9	20	7	19	29	26

5. 利用者外出・外泊・面会状況

	外出		外泊		面会		
	人数	延回数	人数	延日数	対利用者	延人数	1日平均
4月			2	4	169	294	9.8
5月	3	3	1	3	169	353	11.4
6月	1	1			169	297	9.9
7月	1	1			169	268	8.6
8月	1	1			169	265	8.5
9月					169	266	8.9
10月					182	257	8.3
11月	1	1			182	201	6.7
12月					182	297	9.6
1月	1	1	1	1	182	322	10.4
2月					182	246	8.8
3月					182	233	7.5
合計	8	8	4	8	2106	3299	9.0

6. 処 遇 報 告

1) 2F 事業報告・活動報告

(1)年間を通じて

前期目標を達成する為、利用者様の生活環境を整え、利用者様の体調の変化に気を配り、年間行事への参加や外出支援、フロア活動としての季節ごとに企画したレクリエーションを行う事が出来た。

後期目標に関しては、利用者様の体調管理に職員一同及び医務との連携にて体調の変化の早期発見が出来、季節ごとの感染予防に配慮し、利用者様に穏やかで楽しい生活を送って頂くことが出来た。

(2)フロア活動報告

【利用者ショッピング】 5/9・2名 24・4名 6/14・3名 28・3名 7/12・4名 26・3名
8/9・4名 23・4名 9/27・3名 10/2・2名 25・4名

【年間行事】

サンシャインビラ観桜会 3名 水彩画クラブ季節の花鑑賞 3名 サンシャインビラ納涼会 3名
福生市敬老大会 3名 みかん狩り 12名

2) 3F 事業報告・活動報告

平成28年度のフロア目標を「利用者様一人ひとりのニーズに合った統一ケアを行うため、各職種と連携をとり、健康で楽しく明日への希望がもてるようなフロア作りを目指していく。」として取り組みました。

①

・利用者への個別ケアは、ケアプランを柱として、居室担当が主になり、利用者、他部署 と相談

しながら、生活の質を上げ、その人らしく生活できるように考え、行動し、発信することにより、職員全体で個別ケアを実践しました。

・栄養管理・褥瘡予防は常に利用者の様子観察を行い、食事変更・補食・体位交換・エアーマットなど早めの対応をすることができました。

・看取り介護は、ご家族のご協力をいただきながら、職員・関連部署と連携して、利用者に寄り添ったケアを行うことができました。

(利用者のご家族様がリラックスできる環境作りに気を配りました。音楽・整容の徹底・環境整備・思い出の写真など。)

②リスクマネジメント（事故防止・感染予防）は研修などを通して、職員一人一人が知識を深め努力しました。

・尻もち・転倒・ずり落ちは、前年度より減少はしたものの、まだ同じ人が繰り返しています。服薬ミスは与薬ケースが変更になったことによるセットミスや与薬忘れ、薬をつぶさなかったための吐き出しが目立ち、ミーティング等で対応策を検討し再発防止に努めました。(別紙参照)

・感染症は早い時期から研修、注意喚起を行ったことにより、フロアでの感染症は最小限に抑えることが出来ました。

③年間を通してレクリエーションを実施し、施設での生活の中で楽しみや喜びを感じて頂くことができたと思います。施設行事のほかレク委員が中心となって、フロア活動を行い利用者楽しんでいただきました。

3階は利用者の重度化が進んでいるため外出できる方が少なく、フロアで楽しんでいただける企画を多く検討しました。

実施) 外食会 魚屋路

フロアレク アイスクリーム ぞら焼きつくり お好み焼き

クリスマス会 (職員有志他による社交ダンス ケーキ)

季節ごとの貼り絵作成 (作品はフロアに展示)

花火鑑賞

上記のほかに、施設行事にも普段寝たきりの方も参加していただきフロア全体で楽しんで頂くことが出来ました。

3) 4F 事業報告・活動報告

*目的

利用者様のその人らしさを尊重し、安心してより良い生活を送って頂ける様に、各職種との連携を図り、自立支援、個別ケアを目指していく。

*実施結果

☆生活の質

フロア的全職員が、ケース会議の要点にしっかり目を通して理解することが少しずつ定着し、居室担当からの発信をより理解し、継続した統一の処遇へとつながってきている。

そのため、フロアが同じ方向を向いてその方に取り込む姿勢が少しずつ出来てきている。

例えば居室担当が不在の時でも、決められた適切な援助がしっかりと行われ、その方の「出来る力」を何とか引き出そうと、諦めず声掛けし続ける姿があちこちで見られる等。

フロアが同じ方向を向いてその方に取り込む姿勢が見られていた。

☆健康、医療面 環境整備

皮膚疾患では、病院からの2名を含め5名の褥瘡者を出してしまうが、医務との連携、こまめな体位交換や清潔保持により、早期に治癒となっている。

また、新入所で皮膚感染が確認されるも、マニュアルにのっとり対応により感染拡大を防止することが出来た。

歩行器や、車椅子自操の方が増え、出来るだけ自由に生活して頂くよう配慮するも、行動範囲が広がった分、リスクも高く、尻もちや、車椅子からのずり落ちが増加、骨折へ至る重大な事案も5件発生する結果となってしまった。

反面、足元マットの見直しや、センサーの有効利用により、ベッドからのずり落ちは大きく減少している。

今後は転倒を繰り返すリスクの高い方への更なる具体的な対策と共に、ハード面(和室や低床ベッドの導入)の見直しも検討し、事故防止に努めていく。

加えて今期は配薬に関するミスも目立った。薬の管理方法に変更があったものの、声に出して相互で確認するなどの基本が疎かにならないよう職員一丸となって誤薬ゼロに向け取り組んでいく。

☆楽しみ

フロア内に、四季折々の写真や装飾、掲示物を行う事により、目で見て楽しめる事が出来るよう配慮

をしたり、各種行事参加の他、フロア活動や個別活動を行い、天気の良い日には、気分転換に外気浴も行いました。

また、利用者様からの要望もあり、ケーキ作り。 お好み焼き。回転寿司にて昼食（外食）。釜飯紅葉ドライブ等を実行する事により、「きれいだね、楽しかった、良かった、美味しかった。」の声が多く聞かれました。職員も良くコミュニケーションを取られており、良い雰囲気がつくられていた。

4) 月間定例行事実施状況

行事 月	喫茶室	おやつ バイン グ	ラーメン の日 冷し中 華	うどん	希望食 の日	誕生日 会	理髪の 日	移 動 美容室	利用者 ショッピング	ひまわり美容 室
4	19	5	5	5	5	5	79	38	12. 26	7
5	17	3	3	3	3	3	62	23	10. 24	11
6	21	7	7	7	7	7	42	42	7. 21	10
7	19	5	5	5	5	5	57	28	12. 26	10
8	16	2	2	2	2	2	52	30	9. 23	9
9	20	6	6	6	6	6	59	35	13. 27	13
10	18	4	4	4	4	4	63	32	11. 25	16
11	15						51	27		11
12	20	6	6	6	6	6	75	35		15
1	10	17	17	17	17	17	47	25		12
2	21	7	7	7	7	7	51	18		8
3	21	7	7	7	7	7	58	30	14. 28	9

5) 地域行事参加状況一覧表

年月日	行事名	人数
4月10日	サンシャインビラ観桜会	6名
4月17日	羽村チューリップ祭り	6名
5月29日	羽村動物園日帰りドライブ	18名
7月3日	サンシャインビラ納涼祭	3名
7月9日	第3サンシャインビラ納涼祭	4名
9月11日	福生市敬老大会	11名
10月2日	福祉まつり2016	5名
10月29日	第3サンシャインビラ文化祭	3名
11月8日	みかん狩り(2F・3F)	12名
11月22日	みかん狩り(4F)	12名

6) 施設見学者一覧表

年月日	見学者名	人数	時間帯	適応
4月6日	福生市地域包括職員	2	13:30~14:30	施設見学、打ち合わせ
5月9日	羽村支援学校教員	1	16:30~17:30	〃
5月12日	羽村支援学校教員生徒	2	13:30~14:30	〃
5月20日	羽村支援学校教員生徒保護者	3	15:00~16:00	〃
5月26日	ボランティア希望者	3	13:00~14:00	〃
5月27日	ヘルパー学院受講生	3	10:30~11:30	施設見学、質疑応答
6月23日	羽村支援学校教員生徒	2	14:00~15:00	施設見学、打ち合わせ
6月28日	羽村支援学校教員生徒保護者	3	15:30~16:30	〃

7月14日	慰問希望者	2	13:30~14:30	〃
8月12日	加美町会	1	10:00~11:00	〃
8月17日	ヘルパー学院受講生	2	16:00~17:00	施設見学、質疑応答
8月23日	YMCA 医療福祉専門学生	2	9:00~18:00	施設見学、事前学習
8月31日	ボランティア希望業者	2	13:30~15:30	施設見学、打ち合わせ
10月12日	加美町会福生4小教員	3	10:30~11:30	〃
10月28日	福生4小教員	3	14:00~15:00	〃
11月8日	加美町会	3	10:00~11:00	〃
11月11日	福生4小教員	2	15:00~16:00	〃
11月16日	目黒区職員	3	10:00~11:30	定期訪問
12月5日	入職希望者	1	10:30~11:30	施設見学、質疑応答
1月10日	ボランティア希望者	1	14:00~15:00	施設見学、打ち合わせ
1月19日	入職希望者	1	16:00~17:00	〃
2月14日	ハローワーク職員	3	15:30~16:30	〃
2月24日	ハローワーク職員	3	11:00~12:00	施設見学、入職者面談
2月27日	福生4小教員	3	16:00~17:00	施設見学、打ち合わせ
3月10日	慰問希望者	3	14:00~15:00	〃

※その他施設入所希望のご家族等 多数見学あり

7) 日用品費・介護用品費・被服費購入等事業費報告

- 給食費 41,166,255円 ○介護用品費 15,843,271円 ○医薬品費 3,601,153円
- 保健衛生費 2,517,433円 ○被服費 7,296,750円 ○日用品費 2,001,294円
- 水道光熱費 19,455,311円 ○燃料費 8,954,539円 ○消耗器具備品費 3,265,755円
- 車両費 712,472円

7. 厨房事業報告

1) 実施報告

(1)実施内容「手作り芋ようかん」 実施日 H29.03.12(日)

【目的】

手作りのおやつで利用者様に喜んでいただき日々のメニューとしてもお出しできるものとして計画しました。

【結果】

普通食の方はもちろん、極細食やペースト食の方でも召し上がれる柔らかさで喜ばれました。芋がもう少し入っていれば尚美味しかった、との感想もありました。旬が過ぎてしまい芋本来の甘みが十分には出せなかったことは残念でした。

2) 代替食実施状況

○青魚禁→白身魚で対応

2F 2名 3F 2名 4F 2名

○牛乳・乳製品禁→ジュース、果物等で対応

2F 2名 3F 1名 4F 4名

○うなぎ禁→丼物等中心で対応(牛丼等)

2F 2名 3F 0名 4F 1名

○麺類禁→主食を御飯・粥として副食をプラスし対応

2F 2名 3F 3名 4F 5名

○その他禁 納豆、長芋、里芋、えび、かに、ブロッコリーオクラ、揚げ物、カレー等→他の食材もしくは調理法で対応

3) 行事食内容報告

月	日		月	日		月	日	
4	6	ラーメンの日	9	7	冷やし中華		28	誕生会
	27	誕生会		11	敬老の日		31	年越し
5	4	ラーメンの日		28	誕生会	1	1	元旦祝膳
	25	誕生会	10	5	ラーメンの日		4	ラーメンの日
6	1	冷やし中華		9	文化祭		7	七草粥
	29	誕生会		26	誕生会		11	鏡開き
7	6	ジャージャー麺	11	2	ラーメンの日		25	誕生会
	16	盆踊り		30	誕生会	2	1	ラーメンの日
	27	誕生会	12	7	ラーメンの日		22	誕生会
8	3	冷やし中華		17	クリスマス会	3	1	ひな祭り
	31	誕生会		27	もちつき大会		15	ラーメンの日
							29	誕生会

他：うどん、そばの日・・・月1回

希望食の日・・・月1回 10月～6月 寿司または刺身 7月～9月 うなぎ蒲焼き

4) 給食懇談会実施状況

月	日	階	人数	議題	内容等
4	4	4F	5	食事について感想、希望等	嗜好面について比較的具体的に答えていただいた
5	2	4F	3	〃	好きなものだけでなく苦手なもの理由も含め詳しく伺うことができた
6	6	4F	6	〃	詳しく伺うのは難しい方もいたが、甘味は好まれておりおやつはよく召し上がっていた
7	4	3F	5	〃	料理名あまり思いつかない方もいたがこちらから例を挙げながら答えていただいた
8	1	3F	5	〃	食べたい料理を其々伺うことができた皆さんよく召し上がっている様子
9	4	3F	6	〃	禁忌の食材ある方や食事を残されることある方に理由を伺った
11	7	3F	4	〃	療養食対応の方(減塩)に味付けについて伺ったが美味しいとのこと
12	5	2F	5	〃	嫌いなものがある方もいた皆さん概ねよく召し上がっている様子
1	9	2F	5	〃	甘味を好まれる方多く、1/11の鏡開きにおやつにお汁粉が出ることお伝えした
2	6	2F	3	〃	嗜好について詳しく伺うのは難しい方もいたが、概ねよく召し上がっている様子
3	6	2F	4	希望食の日について等	二日後に希望食の日であるため刺身が出ることを伝え、お好きか伺った

※毎月1回第1金曜日 PM2:30～3:00 までの短い時間ではありますが、各階の利用者様が参加され、調理の現場からの出席もあり、食事の感想や希望を伺い個人個人の嗜好を把握し、ADL や食事形態の変化を直接認識して、それを献立作成や実際の調理に反映させるための貴重な時間となっています。

8. 医務室利用者健康管理報告

1. 利用者の安全で快適な生活を維持するための看護・医療面での一次・二次予防の推進

【実施内容と方法】

- ① 年一回の利用者健康診断を実施（胸部レントゲン・心電図・採血・尿検査）
- ② 新規入所者は入所の際にフルコース検査を実施（胸部レントゲン・頭部 CT・採血・尿検査・心電図・必要に応じて胸部 CT・心エコー・腹部エコー等）
- ③ 利用者健康診断及び新入所者のフルコース検査結果を速やかに医師に報告し、必要に応じて追加検査・投薬などの指示を仰ぎ健康管理に努めた。
- ④ 週に3回の医務診察を行い、健康維持に向けた管理を実施。
- ⑤ 医師による指示及び看護師の医療的な判断により、定期的にバイタルサイン測定を実施（体温・血圧・脈拍・SPO2 など）
- ⑥ 医務診察にて処方された内服・外用薬の管理
- ⑦ 毎月1回定期的に体重測定を実施し、栄養状態の指標として他部署との情報共有に努める。
- ⑧ 健康状態に変化が見られた場合、速やかに医師や御家族へ報告し必要に応じて他医療機関の受診を行う。
- ⑨ 加齢による変化や慢性疾患の進行などによる全身状態の悪化が見られる際は、医師より御家族へ説明をして頂き看取り介護開始の検討を行う。
- ⑩ 看取り介護実施の際は、利用者及び御家族の多様なニーズに対応出来る様多種職間との情報共有に努める。
- ⑪ 夜間オンコール体制の基、利用者の急変時等は介護職員との連携を図り対応を行う。

年間目標1に対して28年度の取り組み①～⑪により、多くの疾病を抱える利用者の安定的な健康管理に繋がった。

今年度は24名の死亡退所者がおり、入院先での死亡者3名、急変等により死亡された方11名、ターミナル対応の末に亡くなった方13名であった。

亡くなられた方の半数以上が入院先と看取り介護（ターミナル）の実施が可能となったのは、異常の早期発見に努め医師との間で速やかに情報共有が出来たからと思われる。看取り介護を実施するにあたり、御家族へ医師より病状や今後の展開についての説明がなされる事で、家族の死に対する心の整理をつける事にも繋がった。

今後も他職種間との連携の強化に努め、利用者ならびに御家族の多様なニーズに対応出来る様努める。

2. 感染症の発生及び蔓延防止

【実施内容と方法】

- ① 年2回以上の感染症予防及び発生時の対応方法について施設内とフロアでの職員研修を実施。
- ② 全体朝礼や申し送り等を活用し感染症に関する発生状況等の説明・報告を行い注意喚起に努める。
- ③ 11月頃より3月末頃までは感染症予防の為、職員に出勤時の体温測定・マスクの着用を徹底。
- ④ 職員の手洗いうがい、アルコール消毒施行の徹底。
- ⑤ 11月より3月末までの感染症が発生しやすい時期に合わせてフロア・居室内に加湿器（大型加湿器は各フロア1台）を設置し湿度調整を図る。
- ⑥ 感冒症状の呈した利用者の居室には次亜塩素酸消毒液入りの加湿器を設置。
- ⑦ 利用者の食事摂取前に手指消毒を実施。
- ⑧ 面会者への感染症発生及び蔓延防止に関する注意喚起を行う。
- ⑨ 体調の変化がある利用者には注意深い観察を行い、早期に医師へ報告し対応を検討する。
- ⑩ 職員及び利用者に対しインフルエンザの予防接種を実施。

今年度、感染症の発生予防に努めたことによりインフルエンザ21名・ノロウイルス0名であった。突発的な下痢や嘔吐、発熱などが見られる利用者に対しては一貫した対応を行うと同時に、速やかに医師へ報告し適切な治療を早期に実施することができた。

ただし、インフルエンザの蔓延があったため、新しく感染症マニュアルを見直し、職員への周知を徹底していく。

次年度も感染症における対応方法についての研修会を多く開催し、感染症の予防及び蔓延防止の為の知識・技術の向上を図る。

3. 褥瘡を含む皮膚トラブルの予防

【実施と内容】

- ① 入所時より定期的に利用者の ADL・栄養状態などを分析、評価し褥瘡形成リスクをアセスメントする。
 - ② 褥瘡形成リスクが高い場合は、個別予防計画を立案し実施する。
 - ③ オムツ着用に伴う皮膚の糜爛が見られる方へは、介護職員との連携を図りオムツ交換回数・時間・方法を検討する。
 - ④ 保湿クリームや安定的な食事・水分摂取に努め、皮膚のバリア機能を維持する。
 - ⑤ 介護職員が褥瘡予防に対して一貫した対応が図れる様、マニュアルを作成し指導にあたる。
 - ⑥ 褥瘡形成が確認された場合、毎月開催される褥瘡予防委員会にて発生理由・箇所・今後の対応方法などについて報告・相談する。
 - ⑦ 褥瘡予防や対応方法について外部講師を交えての研修会を実施し知識と技術の向上に努める。
実施内容①から⑦の結果年間褥瘡保有率は 0.43%、褥瘡新規発生者 4 名、発生率は 2.6%となった。
次年度以降も褥瘡発生率 0%を目標に施設内において、一貫した予防策を展開していくことが必要。
- 平成 28 年 3 月 31 日現在の医療処置対応者
胃瘻による経管栄養施行者 5 名
在宅酸素使用者 1 名
褥瘡処置者 1 名
血糖測定者 0 名
経口摂取困難による点滴施行者 5 名（ターミナル者 2 名）

9. リハビリテーション報告

(1) 総括

平成 28 年度リハビリテーションにおいて、利用者の身体・精神面の特性・変化を把握し、看護・介護・リハビリテーションの各セクションが一体となり、個々に合った安全で無理のない訓練を施行する事に重点を置いた。慢性疾患や障害を持つ利用者に対しても運動機能を正しく評価し、その体力や残存能力から生活の場で発揮できる能力を予測し、日常生活への適応にも努めた。

また、スタッフの主観や経験から判断することなく、利用者が訴えている言葉・動作・行為の一つひとつを注意深く観察し、精神的高揚につながるようアプローチも合わせて行った。

(2) 実施事項

- ①理学療法士による評価・プログラム作成
- ②関節可動域訓練・マッサージ
- ③温熱療法
- ④筋力増強、起居・移乗・移動動作訓練
- ⑤廃用性の機能低下防止

(3) 結果

- | | |
|---------------------|------|
| ・ 関節可動域の維持拡大 | 23 名 |
| ・ 起居・移乗・移動動作能力の維持向上 | 19 名 |
| ・ 疼痛の軽減 | 6 名 |

以上の結果が得られた。

今年度においても利用者の身体状況重度化に伴い関節可動域制限の維持・拡大を主とした利用者の増加によりベットサイドでの訓練が多くを占めた。体調不良により訓練中止となった利用者においても、他部署との連携により早期再開を進め廃用性の機能低下防止にも努めた。

入所時より廃用性の機能低下から寝返り・起き上がり・座位保持などすべての動作に介助が必要であった利用者においては、週に 2～3 回の訓練の中で四肢・体幹の関節可動域訓練から筋力強化訓練、また、姿勢調整訓練の結果、リクライニング車椅子からスタンダード車椅子乗車可能となった。以後、更なる筋力強化、立位バランス訓練により歩行が可能となり日常生活を独歩にて移動を行っている利用者。脳梗塞後遺症により片麻痺の症状のある利用者に関しては、車椅子使用レベル、介助にてトイレ使用可能であったが、体調不良により数度の臥床期間を繰り返し、下肢の関節制限の出現、座位保持も難しいレベルまで低下がみられたが、訓練の再開により関節可動域の拡大、筋力増強、立位バランスの向上が認められた。結果、軽介助での移乗動作、介助でのトイレ使用、車椅子駆動が可能となり再度生活の質の向上に繋がった利用者。

また、認知症特有の筋緊張による関節可動域制限、姿勢不良の傾向がある利用者において、可能な範囲での集中的な訓練施行及び週3日程度の訓練施行にて機能低下防止に努め、日々の安定した離床につながっている利用者23名など様々な結果が得られた。

その他、利用者個々の身体状況に合った車椅子・リハビリテーション機器の選定及び整備とともに、個々に合った生活リハビリ、日常生活に適応した動作訓練を取り入れるなど、残存能力の活用とともに潜在的能力の開発にも努めた。

(4) 反省点

- ①利用者個々に合ったポジショニング・体位変換などにおいて、介護職への連絡が不十分な面から、フロア全体に浸透しないケースに対し、各フロアの相談員、リーダー、居室担当等への連絡を周知徹底し再発防止に努める。
- ②車椅子座位の姿勢不良により、仙骨部剥離、関節可動域制限進行につながる問題において、各フロアへ事例とともに説明を行うも同様のケースが再発するため、各フロアを含めケアカンファレンス、施設内研修会、褥瘡予防会議等にも周知徹底し再発防止に努める。

1) リハビリ実施報告表

月	R. O. Mマッサージ			温熱療法			起立バランス歩行			理学療法士による評価			
	実施日数	対象者数	実施人数	実施日数	対象者数	実施人数	実施日数	対象者数	実施人数	実施日数	対象者数	実施評価人数	
4	26	35	341	26	3	22	4	26	24	189	3	43	18
5	26	34	374	26	3	30	5	26	21	175	3	40	22
6	26	35	373	26	3	35	6	26	22	172	3	40	20
7	26	32	351	26	3	26	7	26	21	186	3	38	21
8	27	33	388	27	4	29	8	27	24	206	3	41	21
9	26	36	363	26	4	31	9	26	24	212	3	42	20
10	26	37	322	26	4	7	10	26	25	213	3	42	18
11	26	37	406	26	4	25	11	26	26	233	3	40	21
12	27	37	404	27	4	38	12	27	25	239	3	40	17
1	24	36	356	24	4	31	1	24	25	203	3	39	21
2	24	31	342	24	4	29	2	24	22	178	3	34	17
3	26	32	390	26	4	31	3	26	23	208	3	35	19
計	310	415	4410	310	44	324	計	310	282	2414	36	474	235

10. 生活相談員・介護支援専門員 事業報告

I. 利用者の生活支援

下記のとおり、入所希望者に対しては、申し込みの受付から入所までをお互いに安心して進めたいよう対応。また入所後は、事前の情報に重ねるように、再度状態の把握に努め、環境の変化に戸惑うことなく施設での生活に移行できるように支援しました。

- ・入所前の情報収集（事務所相談員にて各保険者または個別の問い合わせに対応）
- ・事前面接（相談員・看護師同行にて事前の状態観察及び情報収集）
- ・入所判定（毎月の入所判定会議及び随時の会議にて入所の可否を判定）等により、また入所されている利用者の皆さまには、個別の介護過程に即したケアの提供により、施設での生活を楽しく穏やかに充実した暮らしとじていただけるよう努めました。
- ・個別の施設サービス計画書に基づき、ケアの提供、モニタリング、再アセスメントを繰り返し、状態に合わせた生活支援に努めました。
- ・ご家族との綿密なコミュニケーションを心がけ情報共有を図ることで、利用者の支援を一緒に行っていくよう努めました。またご家族のご意見ご要望に対して真摯に向き合い、利用者ケアの質の向上につなげていくよう努めました。
- ・終末期ケア（看取り介護）においては、利用者本人及びご家族の意向を尊重し、最期まで安心して生活していただけるよう支援させていただきました。（平成28年度 看取り介護13名）

11. クラブ活動実績報告

① クラブ活動について

施設生活は個人の個性や趣味、嗜好が思うように保てないのが現状であるため、出来る限り個々の希望を満足させる事が出来るよう心がけた。

クラブ活動を通じ、集団生活化しがちな施設生活に利用者1人1人の趣味、嗜好をこらし、様々な要求に出来る限り対応し、満足な生活空間の提供が出来るよう工夫した。自己の創作意欲と、クラブ員同志のコミュニケーションの中で、生活感のある自由な時間を作るよう工夫した。

一年毎に、利用者のADLの低下が感じられ、クラブ活動への参加意欲が衰退している。しかしながら、参加されている利用者については毎回楽しみにされている様子で、生き生きと活動を進め、QOLの向上につながっている。

今後もそれぞれの利用者の生活感や生きがいを見つけ出して行く為にも、クラブ活動の継続は必要であると考えます。

② 講師及び担当職員一覧表

クラブ名	講師及びボランティア名			
茶 道	片岡明美先生		書 道	石井亮子先生
華 道	久保田茂子先生		陶 芸	川口由美子先生
水彩画	職員 室賀こずえ		押 花	浅見廣子先生
手 芸	小川光子先生	野口美恵子		

茶道クラブ活動報告

活動回数	22回	参加延人数	124名	平均参加人員	6名	担当：鹿島京子
------	-----	-------	------	--------	----	---------

【活動報告】

- 1) 第1・第3月曜日で活動
- 2) 先生の御指導のもと、参加者がお手前をしたり、お茶を味わえた。
- 3) お茶と和菓子で心穏やかに利用者間、先生とのコミュニケーションを図れた。

【月別活動報告】

月	内 容	月	内 容
4月	先生の御指導のもと、お手前をする	10月	文化祭、お客様にお手前を楽しんで頂く
5月	〃	11月	先生の御指導のもと、お手前をする
6月	〃	12月	〃
7月	〃	1月	〃
8月	〃	2月	〃
9月	〃	3月	〃

手芸クラブ活動報告

活動回数	18回	参加延人数	62名	平均参加人員	3-4名	担当：原島 久美子
------	-----	-------	-----	--------	------	-----------

【活動報告】

- 1 他の利用者様と親睦を深め賑やかに楽しく活動が出来ました。
- 2 残存機能を使い意欲的に取り組み気分転換を図る事が出来ました。
- 3 自分で出来る事の楽しみ達成感を味わってもらうことが出来ました。
- 4 前年度参加されていた利用者様の身体状況が低下し活動される方が少なくなった。

陶芸クラブ活動報告

活動回数	70回	参加延人数	405名	平均参加人員	4-7名	講師：川口 由美子
------	-----	-------	------	--------	------	-----------

【活動報告】

日常使う食器だけでなく、インテリア品や季節の行事の置物などにも重点を置いて活動しました。利用者の皆様からは大変好評で、十分に満足感を味わって頂けたと思います。利用者の皆様は、家族や友人からの注文もあり、出来上がった作品を誉めてもらったりして、ますます作ることの楽しさと意欲がわいてくるようでした。

書道クラブ活動報告						
活動回数	22回	参加延人数	309名	平均参加人員	14名	担当：勝島由美子
【活動報告】						
1. 先生のご指導のもと熱心に取り組まれ、充実感のある時間を持っていただくことが出来た。						
2. 文化祭では各自、真心を込めて書き上げた作品を見ていただき、今後の活動の励みとなった。						
3. 合評会では、先生からのお言葉を頂き、クラブ員同士励ましあいも見られ、とても良い交流を図ることが出来た。						
【月別活動報告】						
月	内 容		月	内 容		
4月	お手本を基に練習、清書		10月	般若心経の朗読と内容説明		
5月	色紙に書く、書の練習、清書		11月	都道府県名の練習		
6月	お手本を基に練習		12月	都道府県名の練習と清書		
7月	お手本を基に半紙で練習、清書		1月	都道府県名の清書		
8月	文化祭に向け練習		2月	お手本を基に練習		
9月	文化祭に向け練習、清書		3月	お手本を基に練習、清書		

押し花クラブ活動報告						
活動回数	1回	参加延人数	10名	平均参加人員	10名	担当：荒井昭仁
【活動報告】						
1) 季節のいろいろな草花を使う事で、季節感を感じて頂いた。						
【月別活動報告】						
月	内 容		月	内 容		
4月	色紙		1月			
6月			2月			
7月			3月			
8月						

華道クラブ活動報告						
活動回数	22回	参加延人数	228名	平均参加人員	10-11名	担当：大柄さとみ
【活動報告】						
1) 第2・4木曜日に活動						
2) 利用者のレベルに合わせて先生にご指導していただいた						
3) 生け花を通して利用者間、先生とのコミュニケーションを図れた。						
【月別活動報告】						
月	内 容		月	内 容		
4月	季節の花を生ける		10月	文化祭の出展作品		
5月	季節の花を生ける		11月	季節の花を生ける		
6月	季節の花を生ける		12月	クリスマスの作品		
7月	季節の花を生ける		1月	正月の作品		
8月	季節の花を生ける		2月	季節の花を生ける		
9月	季節の花を生ける		3月	季節の花を生ける		

水彩画クラブ活動報告						
活動回数	19回	参加延人数	174名	平均参加人員	10名	担当：室賀 こそえ
【活動報告】						
1) 季節感を楽しみながら活動した						
2) 文化祭に向けて意欲的に取り組んだ。						
3) お互いの作品を鑑賞し、意欲を培った。						
4) 他フロアの利用者様とコミュニケーションをとり活性化した						
【月別活動報告】						
月	内 容			月	内 容	
4月	チューリップ、バラ、やまぶき 下絵を描き、色付けをする。			10月	文化祭展示 シンビジウム、ヒナゲシ、毛糸 下絵を描き、色付けをする	
5月	カーネーション、フリージア、ユリ、シラン 青梅ぼたん園、あきる台公園に出かける。 下絵を描き、色付けをする			11月	バラ、ポインセチア、カーネーション 下絵を描き、色付けをする	
6月	バラ、ナゲシ、アジサイ 下絵を描き、色付けをする			12月	三色バラ、スターチ、トルコキョウ 下絵を描き、色付けをする	
7月	あやめ、あじさい、ヒマワリ、ガーベラ 下絵を描き、色付けをする うちわに絵を描く			1月	ガーベラ、オジギョウ、スプレーバラ、デソファレ 下絵を描き、色付けをする	
8月	ヒナゲシ、カーネーション、リンドウ 下絵を描き、色付けをする			2月	バラの鉢植、アネモネ、カメ 下絵を描き、色付けをする	
9月	りんどう、ケイトウ、ソメイ 下絵を描き、色付けをする			3月	スイセン、ホタル草 下絵を描き、色付けをする	

クラブ活動費実績：3,140,621円

12. 年間行事実施報告

月日	行事名	内容
4月3日	観桜会	利用者、ご家族のカラオケ。 キッズダンス、ワイキキによるウクレレの慰問を楽しまれた。
7月16日	納涼盆踊り大会	利用者、ご家族、職員等によるカラオケ。 花火大会、地元婦人会等の参加にて盆踊りを楽しむ。
9月11日	敬老会	式典、祝膳 午後福生市敬老会参加及び5階ホールにてフラダンス慰問を楽しむ。
10月8・9日	文化祭	利用者クラブ活動作品展示、5階ホールにてカラオケ、 インドネシア舞踊及びサックス慰問を楽しむ。福生市公式キャラクター タック ー来園。認知症カフェを開催。
11月2日	焼き芋大会	5階ホールにてカラオケを楽しみながら焼き芋を食す。
12月17日	クリスマス会	昼食行事食。午後5階にてバンド演奏の慰問を楽しむ
12月27日	餅つき大会	特養、在宅合同にて餅つきを行う。 あんこ、きな粉、大根おろしでつきたての餅を食す。
1月1日	元旦祝膳	5階ホールにて式典、理事長、統括施設長より新年の挨拶。 その後祝膳を楽しむ。午後は熊川神社へ初詣に出かける。
2月1日	節分祭	各フロアにて豆まきを実施。
3月1日	ひな祭り	昼食各フロアにて祝膳を楽しむ。余興はフロア毎に実施。

行事等実績：2,578,726円

13. 事務費・固定資産物品報告

事務費報告

○事務消耗品費 4,248,146円 ○印刷製本費 1,009,323円 ○修繕費 30,484,909円
 ○通信運搬費 1,399,878円 ○広報費 50,000円 ○業務委託費 15,098,026円
 ○手数料 5,407,160円 ○保険料 980,398円 ○賃借料 11,627,735円
 ○土地・建物賃借料 471,420円 ○租税公課 101,866円 ○保守料 5,888,063円
 ○渉外費 638,386円 ○諸会費 535,840円 ○雑費 1,975,887円

固定資産

電気窯入替 743,580円 冷蔵庫入替 882,320円
 給湯器入替 279,720円

14. 事故報告. ヒヤリ・ハット報告

2F

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
骨折			1										1
転倒	1	1	1	2		1		5		1		2	14
転倒(椅子)								1	1				2
転落(ベッド)	1												1
転落(車椅子)											1		1
出血・吐血													
膝折れ													
ずり落ち(ベッド)								1					1
ずり落ち(車椅子)		1	2	1									4
火傷													
裂傷													
剥離										1			1
内出血										5	4	1	10
誤嚥													
異食・誤食													
尻もち										1	1	1	3
脱園													
その他	1	1								1	1		4

3F ヒヤリハット

事故種別	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
転倒		1		5		1	2	2	1	3	2	2	19
尻もち	2	2		2	2	2	3	2	2	4		1	22
転落(車椅子)				1					1				2
転落(ベッド)					2	1		1	2				6
ずり落ち(車椅子)				1						2	1		4
ずり落ち(ベッド)		1		1				1		1		1	5
内出血・剥離	1							2	4	10	8	6	31
徘徊(他室発見)								1					1
徘徊(他フロア発見)													
徘徊(施設外)													
服薬ミス			1	1	1	3	4	2	2	2	3	3	22
その他				2	1	1				2			6
合計	3	4	1	13	6	8	9	11	12	24	14	13	118

4F

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
骨折	1		1		1		1		1				5
転倒	1	2	4	2	2		1	2	1	1	3	1	20
転倒(椅子)							1						1
転落(ベッド)		1		1	1					1	1		5
転落(車椅子)		2					1	1					4
出血・吐血									1				1
膝折れ				1									1
ずり落ち(ベッド)	2	3		1				2	1	1		2	12
ずり落ち(車椅子)	2	1	1	2	1			1			2	1	11
火傷													0
裂傷													0
剥離									1		1		2
擦過傷													0
内出血									1	3	3	3	10
与薬忘れ								1			1	1	3
誤嚥													0
誤薬							2		2				4
異食・誤食	1												1
尻もち		1	1	2		1	2	1	4	1		1	14
エレベーター使用													0
脱園													1
その他		2			1	1	4	1	1				10
合計	7	12	7	9	6	3	11	9	13	7	11	9	

15. 職員研修報告

【外部研修】

月	日	研修・出張内容	場所	主催者	参加者
4	24	かいごの学舎	日本社会事業大学	かいごの学舎実行委員会	渡邊尚子
5	24	安全運転管理者定期総会及び講習会	福生市民会館	福生安全管理者部会	古谷康司
	25	福生地区特定給食研究会総会	羽村市生涯学習センターゆとろぎ	西多摩保健所福生地区特定給食研究会	水口恵子
	25	よくする介護を実践するためのICFの理解と活用	(特養)福楽園	東社協・秋川ブロック	池田広宣
	26	養護者による高齢者虐待対応研修	あいおいニッセイ同和損保新宿ビル	東京都福祉保健財団	中村茉莉
	26	老健説明会	福祉保健医療研修センター	福祉保健医療研修センター	清水健一郎
	27	養護者による高齢者虐待対応研修	東京都福祉保健財団	東京都福祉保健財団	鈴木敦子
6	6	口腔ケアセミナー	新宿:リアルセミナールーム	(株)リブドゥコーポレーション	椎名邦夫 持田 香
	10	実務者研修教員講習会	もとみやセミナールーム	日本医療企画	中川祥子 栗原和久
	13	実務者研修教員講習会	もとみやセミナールーム	日本医療企画	中川祥子 栗原和久
	16	事前面接	葛飾・杉並		下田政勝
	24	実務者研修教員講習会	もとみやセミナールーム	日本医療企画	中川祥子 栗原和久
	27	実務者研修教員講習会	もとみやセミナールーム	日本医療企画	中川祥子 栗原和久
7	4	実務者研修教員講習会	もとみやセミナールーム	日本医療企画	中川祥子 栗原和久
	7	福生地区特定給食研究会分科会	(特養)神明園	西多摩保健所福生地区特定給食研究会	水口恵子
	7	地域医療連携担当者合同会議	福生病院	福生病院	新橋和枝 得能千春 鈴木俊哉 久保 満
	10	社会福祉士実習指導者フォローアップ研修	さいたま共済会館	埼玉県社会福祉士会	室賀こずえ
	13	実務者研修教員講習会	もとみやセミナールーム	日本医療企画	中川祥子 栗原和久
	13	東京都介護支援専門員専門研修	府中会場	総合健康推進財団	得能千春
	19	記録文書の書き方	福生市福祉センター	福生市介護保険事業者連絡協議会	鈴木俊哉
	20	実務者研修教員講習会	もとみやセミナールーム	日本医療企画	中川祥子 栗原和久
	21	福祉機器展	青梅市福祉センター	アイケアサービス青梅	山下晶子
	26	東京都介護支援専門員専門研修	府中会場	総合健康推進財団	得能千春
	28	栄養管理講習会	羽村市生涯学習センターゆとろぎ	西多摩保健所	水口恵子

8	2	いま知りたい現場で役立つ看取りケア①	飯田橋レインボービル	東社協	橋口里子 野口毅浩
	4	平成28年度安全運転管理者講習	昭島市民会館	東京都交通安全協会	古谷康司
	8	東京都介護支援専門員専門研修	府中会場	総合健康推進財団	得能千春
	9	改正社会福祉法について	ルネ小平	東京都福祉保健局指導監査部	清水健一郎
	19	東京都介護支援専門員専門研修	府中会場	総合健康推進財団	得能千春
	29	東京都介護支援専門員専門研修	府中会場	総合健康推進財団	得能千春
	29	安全な移乗介助を行うために	立川トヨタドライビングスクール東京	東社協	小佐野未来
9	2	養護者による高齢者虐待対応研修	東京都福祉保健財団	東京都福祉保健財団	中村茉莉
	6	目黒区相談	目黒区役所		佐々木和仁 下田政勝 森田靖仁
	13	自殺対策講演会	福生市 福祉センター	福生市主任介護支援専門員連絡会	新橋和枝 久保満 中川祥子 得能千春 鈴木俊哉
	14	医療・介護の今日と明日	文京シビック	東京都国民健康保険団体連合会	山下晶子
	14	成人のアレルギー疾患に関する相談実務研修	東京都健康プラザ	東京都福祉保健財団	野口毅浩
		目黒区相談	目黒区役所		佐々木和仁 下田政勝 森田靖仁
	19	東京都介護支援専門員専門研修	府中会場	総合健康推進財団	得能千春
	20	介護支援専門員再研修	トヨタドライビングスクール東京	東京都福祉保健財団	佐々木和仁
	21	介護支援専門員再研修	トヨタドライビングスクール東京	東京都福祉保健財団	佐々木和仁
	28	介護支援専門員再研修	トヨタドライビングスクール東京	東京都福祉保健財団	佐々木和仁
	29	介護支援専門員再研修	トヨタドライビングスクール東京	東京都福祉保健財団	佐々木和仁
	30	アクティブ福祉in東京	京王プラザホテル		酒井みどり 加藤幸子 井上賢一
	30	東京都介護支援専門員専門研修	板橋会場	総合健康推進財団	得能千春
10	3	西多摩保健所地域関係者研修会	西多摩保健所	西多摩保健所	鈴木敦子 新橋和枝 中川祥子
	4	減額控除対象法人手続き	東京都庁		清水健一郎
	5	介護支援専門員再研修	トヨタドライビングスクール東京	東京都福祉保健財団	佐々木和仁
	11	感染症対策指導者養成	東京都庁第一庁舎	東京都福祉保健財団	小椋 潤
	11	青梅・秋川センター連絡会	サンライズ小川	東京都社会福祉協議会	佐々木和仁
	12	秋川ブロック会	イオンモール日の出	東京都社会福祉協議会	佐々木和仁 武内宏太
	14	実務者研修教員講習会	もとみやセミナールーム	日本医療企画	椎名邦夫 細谷 誠
	17	実務者研修教員講習会	もとみやセミナールーム	日本医療企画	椎名邦夫 細谷 誠
	20	医療的ケア教員講習会	(株)京都科学 研修会場	日本医療企画	小椋 潤
	21	事前面接	杉並		下田政勝 森田靖仁 小椋 潤
	24	実務者研修教員講習会	もとみやセミナールーム	日本医療企画	椎名邦夫 細谷 誠
	26	日常生活支援総合事業説明会	福生市役所	福生市福祉保健部介護福祉課	佐々木和仁 下田政勝 新橋和枝 鈴木俊哉 中川祥子 得能千春 荒井昭仁
	28	実務者研修教員講習会	もとみやセミナールーム	日本医療企画	椎名邦夫 細谷 誠
	31	実務者研修教員講習会	もとみやセミナールーム	日本医療企画	椎名邦夫 細谷 誠
11	1	いま知りたい現場で役立つ看取りケア②	飯田橋レインボービル	東社協	小椋 潤
	2	認知症ケア学会第56回教育講演	東京国際フォーラム	日本認知症ケア学会	新橋和枝
	4	実務者研修教員講習会	もとみやセミナールーム	日本医療企画	椎名邦夫 細谷 誠
	8	事前面接	目黒・杉並		森田靖仁 小椋 潤
	14	介護支援専門員再研修	トヨタドライビングスクール東京	東京都福祉保健財団	佐々木和仁
	14	介護サービス事業者 支援研修会	杉並公会堂	東京都国民健康保険団体連合会	新橋和枝
	14	高齢者を取り巻くお酒の話	福生病院	西多摩保健所	鈴木俊哉 山下晶子
	15	介護支援専門員再研修	トヨタドライビングスクール東京	東京都福祉保健財団	佐々木和仁
	17	高齢者の摂食嚥下機能支援	福生病院	西多摩保健所	得能千春
	21	総合事業説明会における補足	福生市役所	福生市介護保険事業者協議会	新橋和枝 中川祥子 得能千春 鈴木俊哉

					鈴木敦子 中村茉莉
	25	実務者研修教員講習会	もとみやセミナールーム	日本医療企画	椎名邦夫 細谷 誠
	29	実務者研修教員講習会	もとみやセミナールーム	日本医療企画	椎名邦夫 細谷 誠
12	1	成人のアレルギー疾患に関する相談実務研修	東京都健康プラザ	東京都福祉保健財団	野口毅浩
	4	認知症ケア 特別重点課題講座	全国社会福祉協議会 灘尾ホール	日本認知症ケア学会	新橋和枝
	8	要介護高齢者の住宅改修	東京都福祉保健財団	東京都福祉保健財団	中川祥子
	11	希望としてのフェスタ	林野会館	雲母書房	福島美信 加藤幸子 村上将貴
	16	東京都介護支援専門員専門研修	府中会場	総合健康推進財団	鈴木俊哉
	16	社会福祉法人制度改革説明会	ルネ小平	東京都福祉保健局指導監査部	清水健一郎
	21	依存症家族教室	西多摩保健所	西多摩保健所	山下晶子
1	11	決算研修	駿河台記念館	東京都社会福祉協議会	清水健一郎
	12	決算研修	駿河台記念館	東京都社会福祉協議会	清水健一郎
	13	東京都介護支援専門員専門研修	府中会場	総合健康推進財団	鈴木俊哉
	13	羽村市介護認定調査員研修会	羽村市役所	羽村市役所	得能千春 中川祥子
	17	東京都介護支援専門員専門更新研修	立川トヨタドライビングスクール東京	東京都福祉保健財団	山下晶子
	17	日常生活支援総合事業説明会	福生市役所	福生市福祉保健部介護福祉課	新橋和枝 中川祥子 得能千春 鈴木敦子 中村茉莉
	19	東京都介護支援専門員専門研修	府中会場	総合健康推進財団	鈴木俊哉
	19	社会福祉法人制度改革説明会	ルネ小平	東京都福祉保健局指導監査部	清水健一郎
	25	決算研修	駿河台記念館	東京都社会福祉協議会	清水健一郎
	29	認知症の人の食べる QLO を高めよう	日本教育会館	日本認知症ケア学会	新橋和枝
2	6	いま知りたい現場で役立つ看取りケア③	飯田橋レインボービル	東社協	橋口里子
	7	東京都介護支援専門員専門更新研修	立川トヨタドライビングスクール東京	東京都福祉保健財団	山下晶子
	16	東京都介護支援専門員専門研修	府中会場	総合健康推進財団	鈴木俊哉
	17	東京都介護支援専門員専門更新研修	立川トヨタドライビングスクール東京	東京都福祉保健財団	山下晶子
	21	東京都介護支援専門員専門更新研修	立川トヨタドライビングスクール東京	東京都福祉保健財団	山下晶子
	21	ケアマネジメント説明会	福生市福祉センター	福生市介護福祉課	新橋和枝 得能千春 中川祥子
	22	東京都介護支援専門員専門研修	府中会場	総合健康推進財団	鈴木俊哉
	24	対応の難しい方を理解するために	福生市福祉センター	福生市地域包括支援センター	得能千春 中川祥子 鈴木敦子
	28	東京都介護支援専門員専門更新研修	立川トヨタドライビングスクール東京	東京都福祉保健財団	山下晶子
3	2	東京都介護支援専門員専門研修	府中会場	総合健康推進財団	鈴木俊哉
	16	東京都介護支援専門員専門研修	府中会場	総合健康推進財団	鈴木俊哉
	20	応急救護の仕方を学ぶ	第2サンシャインビル	第2サンシャインビル	新橋和枝 得能千春 鈴木敦子
	22	在宅におけるリハビリテーションの考え方	第2サンシャインビル	福生市介護保険事業者連絡協議会	山下晶子
	22	遺産相続について	福生市福祉センター		得能千春 中川祥子 鈴木敦子
	23	指導スキルを磨こう	第2サンシャインビル	第2サンシャインビル	新橋和枝 鈴木敦子
	25	脳卒中にならないために 脳卒中になったら	あきる野ルピア	西多摩医師会	野口毅浩

【内部研修】

回	月日	内容	人数	講師	主催
1	4月18日	ミニアクティブ (フロア研修発表)	28	各フロア代表者	研修委員会
2	4月22日	メンタルヘルス	24	青山医師	衛生委員会
3	5月17日	事故防止 I 「誤薬」	19	医務	研修委員会
4	5月27日	熱中症予防	32	青山医師	衛生委員会
5	6月22日	公開研修会 「認知症サポーター養成講座」	23	包括支援センター (外部)	研修委員会
6	6月24日	食中毒予防	30	青山医師	衛生委員会
7	7月18日	介護保険を学ぼう 「在宅の仕事」	13	在宅支援センター管理者	研修委員会
8	7月29日	食中毒	30	青山医師	衛生委員会
9	8月15日	他職種連携「厨房の役割」	17	厨房主任	研修委員会

10	8月26日	腰痛対策	32	青山医師	衛生委員会
11	9月19日	事故防止Ⅱ 「危険予知トレーニング」	20	3F 研修委員	研修委員会
12	9月30日	インフルエンザ	30	青山医師	衛生委員会
13	10月17日	スタンダードプリコーション	15	リブドゥ (外部)	研修委員会
14	10月28日	高齢者施設に於ける感染症危機管理	29	青山医師	衛生委員会
15	11月12日	嘔吐物の処理 (フロアー研修)	6	医務 (フロア看護師)	4F 研修委員会
16	11月14日	オムツの当て方 (フロアー研修)	8	リブドゥ (外部)	排泄委員会
17	11月24日	嘔吐物の処理 (フロアー研修)	5	医務 (フロア看護師)	3F 研修委員会
18	11月26日	嘔吐物の処理 (フロアー研修)	5	医務 (フロア看護師)	3F 研修委員会
19	11月26日	嘔吐物の処理 (フロアー研修)	5	医務 (フロア看護師)	3F 研修委員会
20	11月27日	嘔吐物の処理 (フロアー研修)	5	医務 (フロア看護師)	2F 研修委員会
21	11月29日	ターミナルケア	17	医務 看護リーダー	研修委員会
22	12月1日	嘔吐物の処理	4	医務 (フロア看護師)	4F 研修委員会
23	12月16日	インフルエンザ	28	青山医師	衛生委員会
24	12月19日	あなたの介護それで良い? 「虐待」	14	3F 研修委員	研修委員会
25	12月22日	オムツの当て方 (フロアー研修)	8	4F 排泄委員長	排泄委員会
26	12月30日	嘔吐物の処理 (フロアー研修)	3	医務 (フロア看護師)	2F 研修委員会
27	1月16日	褥瘡	13	リハビリ 主任	研修委員会
28	1月27日	肥満	28	青山医師	衛生委員会
29	3月3日	花粉症	25	小椋看護リーダー	衛生委員会
30	3月21日	応急救護 (地域参加型)	30	福生消防署 (外部)	研修委員会
31	3月23日	スキルUPを磨こう (時間外研修)	31	佐々木施設長	研修委員会
32	3月24日	男性の更年期障害	21	小椋看護リーダー	衛生委員会

自主的な排泄委員主催の研修の計画、実施や、他部署からの積極的な参加がある等、施設全体がのスキルUPに対する意欲向上に向けて大きな変化が見られている。研修委員会の中でも現状の問題点、ヒヤリハットの内容に視点を置きながら意見を出し合い、他部署に協力を得ながら良い研修を作り上げることが出来た。第7回公開研修会は、地域の方の参加も含め100名程の参加者を迎えて実施することとなり、ポスター掲示、口コミ等の成果も定着してきている。

また、年々成果が上がっているミニアクティブは「入居者の生活」を見つめ直し、入居者のより良い生活を求めて取り組み、その都度互い (フロア) の励みとなってきた。しかし、その様々な取り組みも今では日常化し、各フロア内毎に意見を出し合う等、入居者のQOLを高める努力がなされている。ミニアクティブは今期中中止とし新たな研修を考えていくこととなった。

旅費・研修費実績：277,738円

16. ボランティア受入の状況

月	日	曜日	行事名	人数	業務内容	依頼先	
4	3	日	観桜会	15	食品詰め等	福生社協、関係業者、福生高校等	
	5	火	おやつバイキング	5	喫茶準備	そよ風、太田	
	7	木	手芸クラブ	4	手芸手伝い	そよ風	
	7	木	歌の会	2	ウクレレ演奏、合唱	利用者家族	
	12	火	利用者ショッピング	4	あきる野東急付添い	あひるの会	
	12	火	歌のレクリエーション	1	合唱	利用者家族	
	14	木	手芸クラブ	5	手芸手伝い	そよ風、あひるの会	
	19	火	喫茶の日	3	喫茶準備、食器洗浄等	そよ風、太田	
	19	火	理髪の日	6	利用者の理髪	有償ボランティア	
	21	木	歌の会	2	ウクレレ演奏、合唱	利用者家族	
	26	火	利用者ショッピング	4	イオンショッピング付き添い	あひるの会	
	26	火	歌のレクリエーション	1	合唱	利用者家族	
	28	木	園児来園	25	利用者交流	加美平保育園	
	28	月	フロアボランティア	2	手話コミュニケーション	社協	
	5	3	火	おやつバイキング	3	喫茶準備、食器洗浄等	そよ風
		5	木	手芸クラブ	4	手芸手伝い	そよ風、あひるの会
		8	木	歌の会	2	ウクレレ、合唱	利用者家族
10		火	利用者ショッピング	3	あきる野東急付添い	あひるの会	

	12	木	手芸クラブ	5	手芸手伝い	そよ風 太田
	15	木	歌の会	2	ウクレレ、合唱	利用者家族
	15	日	草笛	1	草笛 踊り	中川
	17	火	理髪の日	5	利用者の理髪	有償ボランティア
	17	火	喫茶の日	4	喫茶準備、食器洗浄等	そよ風 太田
	17	火	フロアボランティア	2	手話コミュニケーション	社協
	19	木	手芸クラブ	4	手芸手伝い	そよ風 他
	21	土	手芸クラブ	5	手芸手伝い	そよ風 他
	24	火	利用者ショッピング	5	イオンショッピング	あひるの会
	24	火	歌のレクリエーション	1	合唱	利用者家族
	26	木	園児来園	20	利用者交流	加美平保育園
	30	月	デイ ボランティア	1	介護補助	一般
6	2	木	フロアボランティア	2	手話コミュニケーション	社協
	3	火	フロアボランティア	1	介護補助	一般
	4	木	手芸クラブ	5	手芸手伝い	そよ風、あひるの会
	4	木	歌の会	2	ウクレレ、合唱	利用者家族
	7	火	おやつバイキング	4	喫茶準備、食器洗浄	そよ風、太田
	14	火	利用者ショッピング	5	あきる野東急付添い	あひるの会
	18	木	手芸クラブ	6	手芸手伝い	そよ風、あひるの会
	19	木	歌の会	2	ウクレレ、合唱	利用者家族
	21	火	フロアボランティア	1	介護補助	一般
	23	木	園児来園	24	利用者交流	加美平保育園
	24	金	デイ ボランティア	1	介護補助	一般
	24	金	デイ ボランティア	1	介護補助	一般
	28	火	利用者ショッピング	4	イオンショッピング	あひるの会
	28	火	歌のレクリエーション	1	合唱	利用者家族
7	1	金	フロアボランティア	1	手話コミュニケーション	社協
	4	月	デイ ボランティア	2	介護補助	一般
	4	月	喫茶の日	3	喫茶準備、食器洗浄	そよ風 他
	5	火	おやつバイキング	4	喫茶準備、食器洗浄	そよ風、太田
	7	木	手芸クラブ	5	手芸手伝い	そよ風、あひるの会
	12	火	利用者ショッピング	5	あきる野東急付添い	あひるの会
	16	土	納涼祭	40	会場準備、片付け	NPOクラブアトレチコフッサ、業者他
	17	日	草笛	1	草笛 踊り	中川
	19	火	喫茶室	2	喫茶準備、食器洗浄	そよ風
	19	火	理髪の日	4	利用者の理髪	有償ボランティア
	26	火	歌のレクリエーション	1	合唱	利用者家族
	26	火	利用者ショッピング	5	イオンショッピング	あひるの会
	31	日	生演奏会	2	サクソ演奏	山口様ご夫妻
8	1	月	夏休みボランティア	1	介護補助、雑務	社協ボランティアセンター
	2	火	おやつバイキング	4	喫茶準備、食器洗浄	そよ風、太田
	4	木	手芸クラブ	5	手芸手伝い	そよ風、あひるの会
	5	金	福生七夕流し踊り	2	着付け	職員家族、社協
	9	火	利用者ショッピング	5	あきる野東急付添い	あひるの会
	16	火	生演奏会	2	サクソ演奏	山口夫妻
	16	火	喫茶の日	5	喫茶準備、食器洗浄等	そよ風、太田
	16	火	理髪の日	5	利用者の理髪	有償ボランティア
	18	木	手芸クラブ	6	手芸手伝い	そよ風、あひるの会
	23	火	歌のレクリエーション	1	合唱	利用者家族
	23	火	利用者ショッピング	5	イオンショッピング付き添い	あひるの会
	24	水	デイ ボランティア	1	介護補助	一般
	31	水	福祉ネイル	3	利用者のネイルサービス	
9	1	木	手芸クラブ	6	手芸手伝い	そよ風、あひるの会
	4	日	生演奏会	2	サクソ演奏	山口夫妻
	6	火	おやつバイキング	4	喫茶準備、食器洗浄	そよ風、太田
	9	金	福祉ネイル	3	利用者のネイルサービス	利用者家族
	11	日	敬老会	16	食品詰め等	福生社協、関係業者、福生高校等
	13	火	利用者ショッピング	5	あきる野東急付添い	あひるの会
	18	日	草笛	1	草笛 踊り	中川
	20	火	理髪の日	6	利用者の理髪	有償ボランティア
	20	火	喫茶の日	3	喫茶準備、食器洗浄	そよ風、太田
	27	火	歌のレクリエーション	1	合唱	利用者家族

10	29	土	介護体験ボランティア	1	介護補助	一般	
	4	火	おやつバイキング	5	喫茶準備、食器洗浄等	そよ風、太田	
	6	木	手芸クラブ	5	手芸手伝い	そよ風、あひるの会	
	9	日	文化祭	26	会場係、模擬店、片付け	福生社協、関係業者、福生高校等	
	11	火	利用者ショッピング	4	東急ショッピング付き添い	あひるの会	
	18	火	理髪の日	6	利用者の理髪	有償ボランティア	
	18	火	喫茶の日	4	喫茶準備、食器洗浄等	そよ風 他	
	20	木	手芸クラブ	5	手芸手伝い	そよ風、あひるの会	
	25	火	歌のレクリエーション	1	合唱	利用者家族	
	25	火	利用者ショッピング	5	イオンショッピング付き添い	あひるの会	
11	25	火	介護体験ボランティア	1	介護補助	一般	
	27	木	園児来園	25	利用者交流	加美平保育園	
	30	日	生演奏会	2	サクソ演奏	山口夫妻	
	1	火	焼き芋大会	5	喫茶準備、食器洗浄	そよ風、太田	
	3	木	手芸クラブ	7	手芸手伝い	そよ風、あひるの会	
	8	火	ミカン狩り	7	ミカン狩り付き添い	あひるの会	
	11	金	フロアボランティア	1	介護補助	一般	
	15	火	喫茶室	3	喫茶準備、食器洗浄	そよ風 太田	
	19	土	生演奏	2	サクソ演奏	山口夫妻	
	20	日	草笛	1	草笛 踊り	中川	
12	22	火	歌のレクリエーション	1	合唱	利用者家族	
	22	火	ミカン狩り	7	ミカン狩り付き添い	あひるの会	
	27	木	園児来園	25	利用者交流	加美平保育園	
	1	木	手芸クラブ	5	手芸手伝い	そよ風、あひるの会	
	6	火	おやつバイキング	4	喫茶準備、食器洗浄	そよ風、太田	
	15	木	手芸クラブ	5	手芸手伝い	そよ風、あひるの会	
	17	土	クリスマス会	8	配膳、片付け	福生高校	
	20	火	喫茶の日	3	喫茶準備、食器洗浄	そよ風、太田	
	20	火	理髪の日	6	利用者の理髪	有償ボランティア	
	24	火	歌のレクリエーション	1	合唱	利用者家族	
1	27	火	餅つき大会	12	餅つき手伝い	あひるの会、福生高校等	
	29	木	華道クラブ	1	華道補助	元職員	
	29	木	フロアボランティア	2	介護補助	一般	
	10	火	フロアボランティア	1	掃除	社協ボランティアセンター	
	10	火	喫茶の日	4	喫茶準備、食器洗浄	そよ風 他	
	12	木	手芸クラブ	6	手芸手伝い	そよ風、あひるの会	
	12	木	華道クラブ	6	華道補助	元職員	
	17	火	おやつバイキング	4	喫茶準備、食器洗浄	そよ風、太田	
	17	火	理髪の日	6	利用者の理髪	有償ボランティア	
	2	1	水	フロアボランティア	1	デイ、特養介助補助	一般
2	2	木	手芸クラブ	6	手芸手伝い	そよ風、あひるの会	
	3	金	デイボランティア	1	介助補助	一般	
	7	火	おやつバイキング	4	喫茶準備、食器洗浄	そよ風、太田	
	16	木	手芸クラブ	6	手芸手伝い	そよ風、あひるの会	
	21	火	理髪の日	5	利用者の理髪	有償ボランティア	
	21	火	喫茶の日	4	喫茶準備、食器洗浄	そよ風、太田	
	3	1	水	フロアボランティア	1	介助補助	一般
	2	木	手芸クラブ	6	手芸手伝い	そよ風、あひるの会	
	7	火	おやつバイキング	3	喫茶準備、食器洗浄	そよ風、太田	
	14	火	利用者ショッピング	4	東急ショッピング手伝い	あひるの会	
3	16	木	手芸クラブ	4	手芸手伝い	そよ風、あひるの会	
	21	火	喫茶の日	4	喫茶準備、食器洗浄	そよ風、太田	
	21	火	理髪の日	6	利用者の理髪	有償ボランティア	
	23	木	園児来園	25	利用者交流	加美平保育園	
	28	火	利用者ショッピング	4	イオンショッピング付き添い	あひるの会	

17. 慰問受入状況

月日	慰問者名	人数	行事名等	内 容
4月3日	A-VICTORYKIDS	15	観桜会	キッズダンス
	ワイキキ	12	観桜会	ウクレレ演奏
7月16日	ひよっとこ風連	10	納涼祭	ひよっとこ踊り
	長友会	7	納涼祭	盆踊り
9月6日	永福カラオケ	6	おやつバイキング	カラオケ、舞踊
10月9日	タッケー	2	文化祭	ゆるキャラ（福生市）
	インドネシアの方	1	文化祭	舞踊
	山口様ご夫妻	2	文化祭	サクソ演奏
12月17日	どこでもドアーズ	5	クリスマス会	演奏、歌
1月1日	長澤町会お獅子連	7	元旦	お囃子、獅子舞

18. 実習生及び職場体験生徒受入状況

月	期 間	実習依頼先	人 数	実習内容及び目的	
5月	05/16・05/17	東京西の森歯科衛生士専門学校	2	初任者研修	
	05/19・05/20	羽村特別支援学校	1	インターシップ	
	05/23・05/24	東京西の森歯科衛生士専門学校	2	初任者研修	
	05/30・05/31	東京西の森歯科衛生士専門学校	2	初任者研修	
	05/30～06/03	YMCA 医療福祉専門学校	1	介護福祉士	
6月	06/06・06/07	東京西の森歯科衛生士専門学校	2	初任者研修	
	06/06～06/17	東京福祉大学	1	社会福祉士	
	6月14日	サンシャインビラ初任者研修	9	初任者研修	
	6月15日	サンシャインビラ初任者研修	2	初任者研修	
	6月16日	サンシャインビラ初任者研修	7	初任者研修	
	06/20・06/21	東京西の森歯科衛生士専門学校	2	初任者研修	
	06/27～06/28	東京西の森歯科衛生士専門学校	2	初任者研修	
	6月27日	都立羽村特別支援学級	1	インターシップ	
	7月	07/12～07/14	福生市立 第二中学校	3	職場体験学習
		07/27～07/28	福生高等学校	4	人間と社会の体験
08/08～09/15		武蔵野大学	1	社会福祉士	
8月	08/31～09/04	瑞穂中学校		職場体験	
9月	09/07～09/09	福生第三中学校	3	職場体験	
	09/05～09/26	YMCA 医療福祉専門学校	1	介護福祉士	
	9月7日	ヘルパー学院	6	初任者研修	
	9月9日	ヘルパー学院	3	初任者研修	
	9月10日	ヘルパー学院	4	初任者研修	
	9月12日	ヘルパー学院	6	初任者研修	
	9月13日	ヘルパー学院	2	初任者研修	
	9月14日	ヘルパー学院	5	初任者研修	
	9月16日	ヘルパー学院	3	初任者研修	
	10月	10/03～10/24	YMCA 医療福祉専門学校	1	介護福祉士
	11月	11/29～12/10	YMCA 医療福祉専門学校	1	介護福祉士
11/28～12/12		YMCA 医療福祉専門学校	1	介護福祉士	
12月	12月6日	ヘルパー学院	2	初任者研修	
	12月8日	ヘルパー学院	5	初任者研修	
1月					
2月	2月27日	ヘルパー学院	5	初任者研修	
3月	3月2日	ヘルパー学院	1	初任者研修	
	3月13日	ヘルパー学院	2	初任者研修	
	3月14日	ヘルパー学院	2	初任者研修	
	3月15日	ヘルパー学院	4	初任者研修	

受入研修費収入額：129,500円

19. 消防訓練実施結果

平成 28 年度は、引き続き震災への対応も含めた避難訓練に重点をおく訓練を行った。
また寝たきりの利用者の対応についても取り組む意識が出てきている。
そうしたことで、施設全体に防災の意識付けが出来た。

28 年度訓練内容

日 時	訓練種別	内 容
4 月 13 日	防火管理 委員会	消防計画の再確認を行う。 各階の各責任者の確認と、防災設備について。 今年度の各所訓練について。
5 月 18 日	避難訓練	震災を想定した避難訓練。 特養及びデイサービスを対象とした全館の訓練
6 月 14 日	消火訓練	消火器及び補助消火栓の取扱について説明。 補助消火栓を実際に操作してもらう。 新人職員を中心に参加。
7 月	中止	
8 月 25 日	避難訓練 夜勤帯 2 階発災	2 階ダイルームから火災発生と言う想定での避難訓練。 職員 8 名による避難誘導 参加者 74 名
9 月	中止	
10 月 20 日	防火管理 委員会	消防計画の再確認の中で、帰宅困難者・出勤不可能者についての確認と、施設での職員配置について。 指定避難所の指定を受けている為、市と調整を図る。
11 月	中止	
12 月 22 日	避難訓練 日勤帯 1 階発災	D サービスと特養合同の避難訓練。 震災後の火災を想定した訓練。 参加者 126 名
1 月	中止	
2 月 25 日	避難訓練	水害を想定した避難訓練 デイサービス利用者を、階段を使用して 2 階に安全に避難させる訓練。 参加者 30 名
3 月	消火訓練	地域住民との合同消火訓練 消火器と消火栓の操作方法及び体験 消防署に参加依頼をし、説明を受ける。

20. ショートステイ事業報告

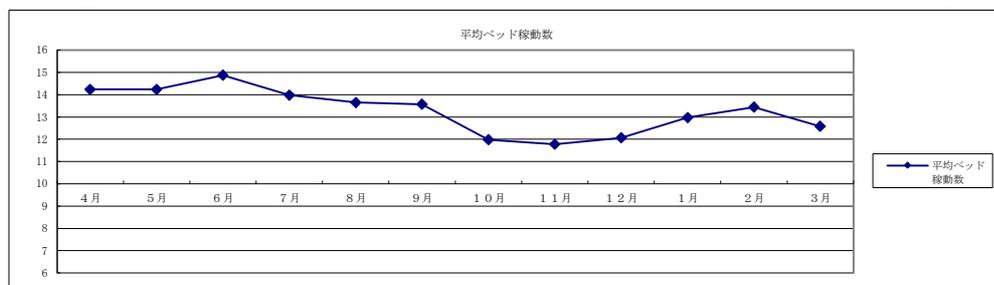
平成 28 年度は稼働率 85% (13.6 名/日) という目標を立てて運営努力した。
 この目標に対し、実績は 27 年度実績 81.26% (12.9 名/日) を上回り、83.24% (13.3 名/日) という結果であった。28 年度は、措置依頼や緊急避難的な長期のショートステイ利用者を 13 名に設定して稼働した。短期間利用のショートステイの需要があるため、3 床を短期利用に設定した。
 この中で、特養で短期入院とされた利用者の入院期間が延びる等もあり、入所になった分の空床を埋めるわけにいかない事などもあったが、実績については前年に対しプラス 2% の結果を出すことができた。季節の感染症等による利用中止等もあったが、長期利用による対応によって稼働率をある程度安定させることが出来た事も結果に反映された。
 29 年度は、28 年度同様に稼働率 85.0%、13.6 名/日の目標設定をし、稼働率の安定と向上に努めたい。
 介護報酬収入等年間実績 52,815,678 円

人件費・直接介護支出・一般管理支出・施設管理費用は併設特養と按分しています。

平成28年度ショートステイ事業活動実績報告

月別利用者延人数調査

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	total
利用者数	21	22	22	23	21	19	22	21	19	22	20	21	253
経過的要介護	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
要支援1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
要支援2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
要介護度1	0	0	1	2	1	2	2	1	1	0	0	1	11
要介護度2	4	4	4	5	4	3	4	4	3	4	4	4	47
要介護度3	9	10	10	9	8	7	8	8	6	7	6	7	94
要介護度4	5	4	5	6	6	4	5	5	6	8	7	7	68
要介護度5	3	4	2	1	2	3	4	3	3	3	3	2	33
延利用日数	427	441	446	433	423	407	371	353	374	402	376	390	4,843
経過的要介護	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
要支援1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
要支援2	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	1
要介護度1	0	0	2	33	0	34	32	3	3	0	0	6	113
要介護度2	33	43	44	41	37	35	43	69	39	43	42	50	519
要介護度3	187	218	211	176	164	154	133	117	153	145	139	102	1899
要介護度4	117	103	129	152	118	120	93	113	161	166	146	170	1588
要介護度5	90	77	60	31	103	64	70	51	18	48	49	62	723
平均ベッド稼働数	14.23	14.23	14.87	13.97	13.65	13.57	11.97	11.77	12.06	12.97	13.43	12.58	年平均 13.28



ショートステイ利用日数状況調査 (年間)

*前月から引き続いて入所されている場合は、入所月にカウントしています。

	1日～2日	3日～5日	6日～10日	11日～15日	16日～20日	21日以上	合計
4月	2	12	1	1	2	11	29
5月	1	14	5	1	1	11	33
6月	4	12	4	1	0	12	33
7月	3	15	1	2	1	11	33
8月	3	9	3	2	1	11	29
9月	4	10	3	1	0	11	29
10月	6	9	3	4	1	8	31
11月	2	19	3	3	2	6	35
12月	5	15	3	1	0	9	33
1月	5	11	5	2	2	8	33
2月	6	13	2	0	1	10	32
3月	3	16	4	1	2	8	34
合計	44	155	37	19	13	116	384
	11.5%	40.4%	9.6%	4.9%	3.4%	30.2%	100.0%

特養空床利用状況

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	total
空床利用	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0

平成28年度

通所介護事業
(併設型通所介護事業)
(併設型介護予防通所介護事業)
事業報告書

社会福祉法人福陽会

高齢者在宅サービスセンター加美

高齢者在宅サービスセンター加美 事業報告書 目次

・通所事業

(併設型通所介護事業・併設型介護予防通所介護事業

・高齢者生きがい活動支援デイサービス)

通所事業事業報告・中長期経営計画達成状況	1
職員配置	2
併設型通所介護・介護予防通所介護事業利用実績	3-4
入浴サービス利用実績	5
生きがいデイサービス実績	6-7
通所事業行事活動報告	8-11
生きがいデイサービス行事活動報告	12-15
クラブ活動報告	16
研修参加状況	16

・通所事業（併設型通所介護事業・併設型介護予防通所介護事業）

事業報告

在宅サービスセンターは、年度当初事業計画の基本目的・基本方針に則り、独自の特色を打ち出し、利用者のさまざまなニーズに対応すべくサービスの充実及び運営面の効率化を図り、地域の利用者に喜んで選ばれる『魅力あるセンターづくり』に重点を置き、利用者数の獲得を目指し事業を行った。

事業計画の重点施策で掲げた内容を踏まえ、サービス内容については毎月多様な行事を企画し（誕生会、手作りおやつ、ドライブ、外食会、季節行事など）、また趣味の会も書道・陶芸・押し花・手芸・水彩画、紙芝居、専門スタッフによる音楽リハビリの開催など、利用者がセンターでの一日を楽しく過ごしていただけるよう心掛けた。

介護職員は、経費削減を目指し、備品管理・在庫管理を徹底し、必要なものを必要なだけ発注するように心がけた。また安全第一を考えた介護・看護に努め、毎日のミーティングでは、成功事例、失敗事例を出し合い、又、利用者や家族のニーズを深く掘り下げていくことにより、より良いサービスの提供に努めた。送迎時の安全対策目標に関しては、ドライバーミーティングを毎月開催し徹底した安全運行により無事故無違反を達成した。

利用者数定員目標については、一年間の延べ利用者数を前年度と比較すると、併設型通所介護事業では前年度延べ利用者数10,223人に対し、今年度延べ利用者数9,707人と516人減となった。安定した利用者確保には、併設居宅支援事業所からの新規利用者紹介、既存利用者の週利用回数の増加を図ることが効果的であり、また、地域の居宅支援事業所からの新規利用者獲得が重要である。そのためにもセンターからの各種情報発信や多様なサービスメニューを取り揃え魅力あるセンターにしていく必要がある。

通所デイはショートステイを活用され、最終的にサンシャインビラ、第2サンシャインビラ・第3サンシャインビラに入所されるケースが多くみられ、法人全体としては利用者並びにその家族に、幅広いサービスを提供出来たと思われる。

通所介護・介護予防通所介護実績：83,588,072円

【中長期経営計画達成状況】

利用者様が明るく豊かに生活でき、利用者様のご家族様が施設生活に対して信頼や安心を感じてもらえるような、個々のニーズにあったサービス提供並びにプライバシーに配慮したサービス提供の充実をはかるべく、事業運営を心がけ、そして利用者・地域住民から評価される質の高いサービス提供することができた。年度当初目標を常に心がけ、一年間の事業運営にあたり、結果として、冒頭のとおり成果を残すことが出来た。次年度以降も職員が初心を忘れずに各自が責任を持って業務を遂行していく。

・職員配置（3月31日現在）

併設型通所介護 介護予防通所介護

職 種	常 勤		非 常 勤	
	人数	専任・兼務状況	人数	専任・兼務状況
管 理 者	1人	他事業を兼務		
生 活 相 談 員	2人	専任・機能訓練指導員を兼務	1人	
介 護 職 員			13人	
看 護 職 員			3人	
機 能 訓 練 指 導 員			必要数	生活相談員・看護職員を兼務
調 理 員	必要数	他事業を兼務		
運 転 手				全利用日送迎時間帯に勤務
事 務 職 員	1人	他事業を兼務	1人	他事業を兼務

人件費実績：66,445,305円

福利厚生費実績：680,212円

併設型通所介護事業利用実績

平成28年度における併設型通所事業の実績を振り返ると、延べ利用者数では、前年度に比べ516名減となった（データ1）。

一日当りの平均は昨年度平均32.87名のところ、本年度は31.21名となった（データ2）。

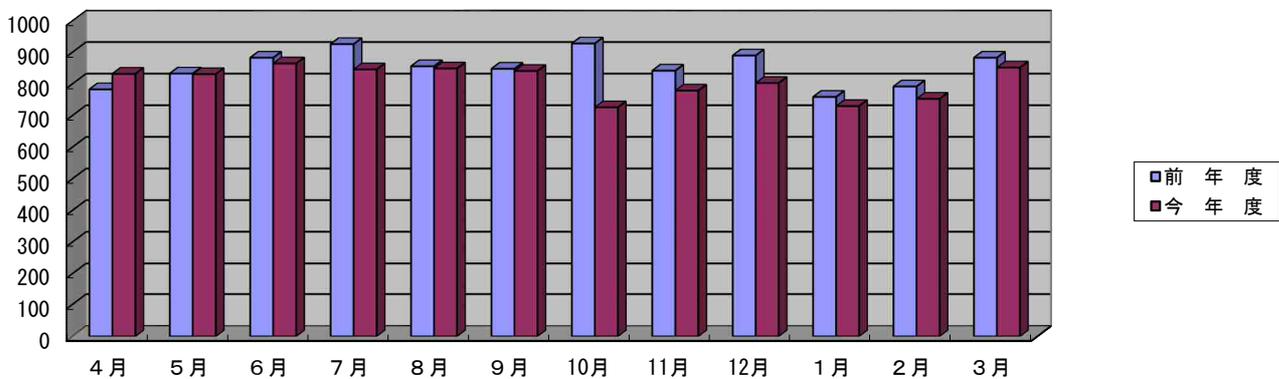
1年を通じケアマネジャーと協力し利用者増加のために努めたが、体調不良、特養への入所等により増加した利用者数が減少してしまうケースが多く、介護保険制度では利用実績が即収入につながるため利用者増加のための更なる営業努力並びにサービスの質の向上に努めていく。

併設型通所介護事業 月別延べ利用者数（データ1）

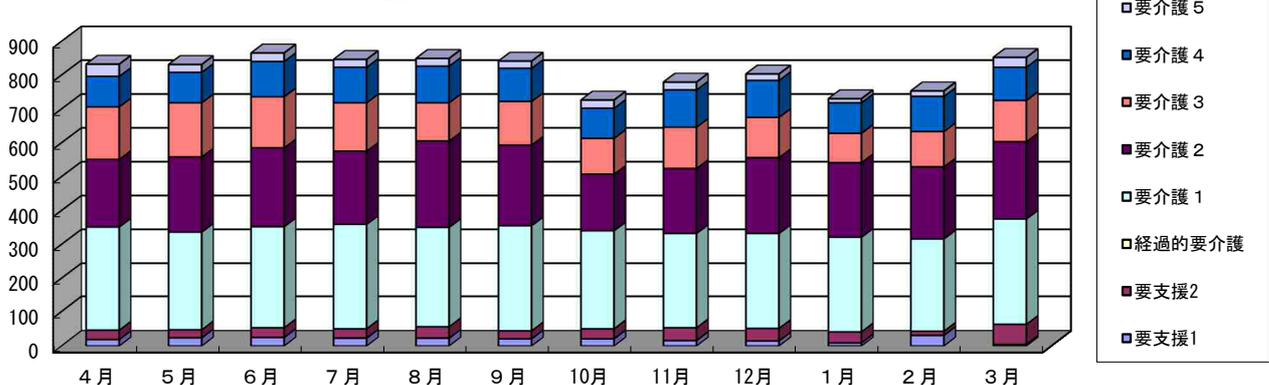
単位：人

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	total
前年度	783	833	883	926	856	848	928	842	890	759	792	883	10,223
今年度	832	831	865	846	849	841	726	779	803	730	753	852	9,707
要支援1	19	24	25	23	23	21	21	16	15	9	31	5	232
要支援2	27	23	28	27	33	23	29	37	36	32	12	58	365
経過的要介護	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
要介護1	305	289	299	309	294	311	290	279	281	280	273	312	3,522
要介護2	200	222	233	216	255	238	167	192	224	220	213	228	2,608
要介護3	155	160	151	143	113	129	106	122	119	87	104	122	1,511
要介護4	90	90	104	105	108	98	89	110	109	90	104	98	1,195
要介護5	36	23	25	23	23	21	24	23	19	12	16	29	274
	832	831	865	846	849	841	726	779	803	730	753	852	9,707
今年度-前年度	49	△2	△18	△80	△7	△7	△202	△63	△87	△29	△39	△31	△516

デイサービス月別利用者延べ人員



デイサービス月別延べ利用者数（介護度別）



併設型通所介護一日平均利用者数

(データ2)

単位：人

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	total
平均利用者数 ①÷②	32.00	31.96	33.27	32.54	31.44	32.35	27.92	29.96	29.74	30.42	31.38	31.56	31.21
延べ利用者数 ①	832	831	865	846	849	841	726	779	803	730	753	852	9,707
開所日数 ②	26	26	26	26	27	26	26	26	27	24	24	27	311

デイサービス一日平均利用者数

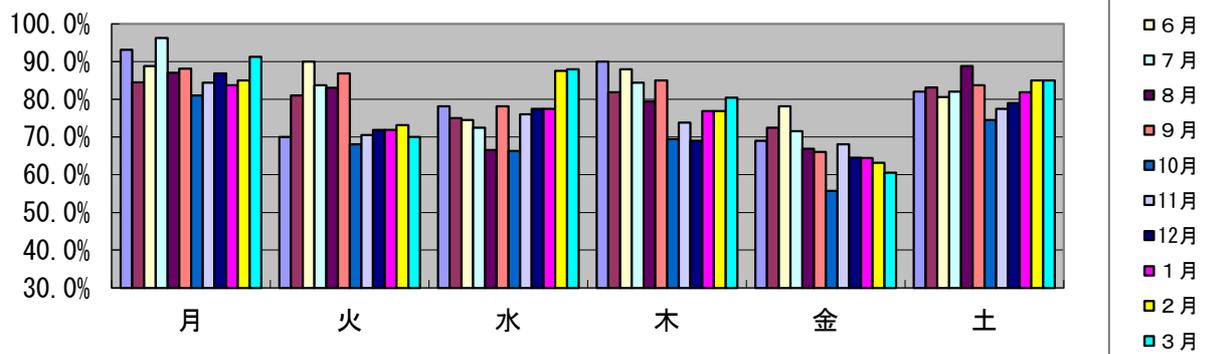


曜日別平均稼働率年間集計表

併設型通所介護 (定員35名)

	月	火	水	木	金	土
4月	93.1%	70.0%	78.1%	90.0%	69.0%	82.0%
5月	84.5%	81.0%	75.0%	81.9%	72.5%	83.1%
6月	88.8%	90.0%	74.5%	88.0%	78.1%	80.6%
7月	96.3%	83.8%	72.5%	84.4%	71.5%	82.0%
8月	87.0%	83.0%	66.5%	79.4%	66.9%	88.8%
9月	88.1%	86.9%	78.1%	85.0%	66.0%	83.8%
10月	81.0%	68.1%	66.3%	69.4%	55.6%	74.5%
11月	84.4%	70.5%	76.0%	73.8%	68.1%	77.5%
12月	86.9%	71.9%	77.5%	69.0%	64.5%	79.0%
1月	83.8%	71.9%	77.5%	76.9%	64.4%	81.9%
2月	85.0%	73.1%	87.5%	76.9%	63.1%	85.0%
3月	91.3%	70.0%	88.0%	80.5%	60.5%	85.0%
年間平均	87.5%	76.7%	76.5%	79.6%	66.7%	81.9%

併設型通所介護



入浴サービス利用実績

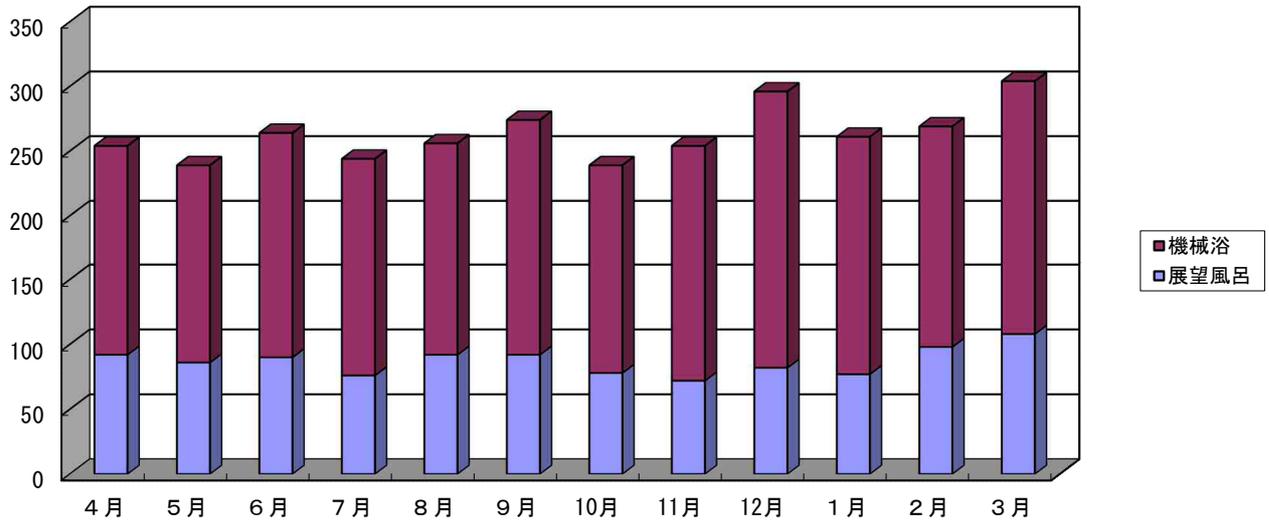
平成28年度における入浴サービスの実績は下記の通りである。

デイサービス入浴サービス

単位：人

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	total
展望風呂	92	86	90	76	92	92	78	72	82	77	98	108	1,043
機械浴	162	153	174	168	164	182	161	182	214	184	171	196	2,111

デイサービス月別入浴利用者延べ人員



高齢者生きがい活動支援デイサービス 事業報告

福生市からの委託事業で、おおむね65歳以上の自立の高齢者を対象に、生き甲斐づくりや心身機能の維持向上、介護予防及び閉じこもり防止を目的として事業活動を行った。

高齢者生き甲斐活動支援デイサービス延べ利用人員実績簿(第2サンシャインビラ)

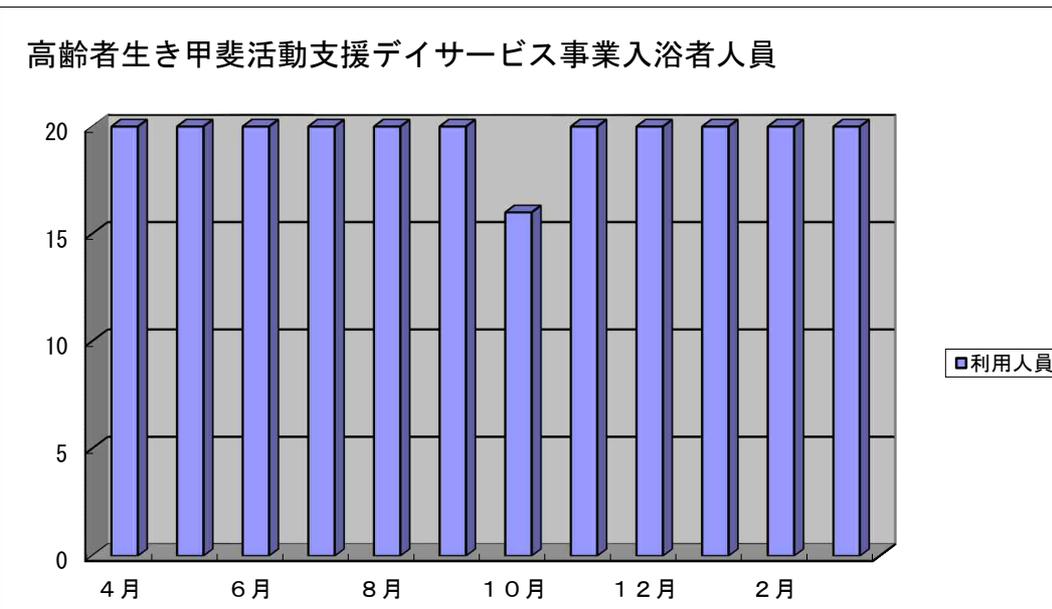
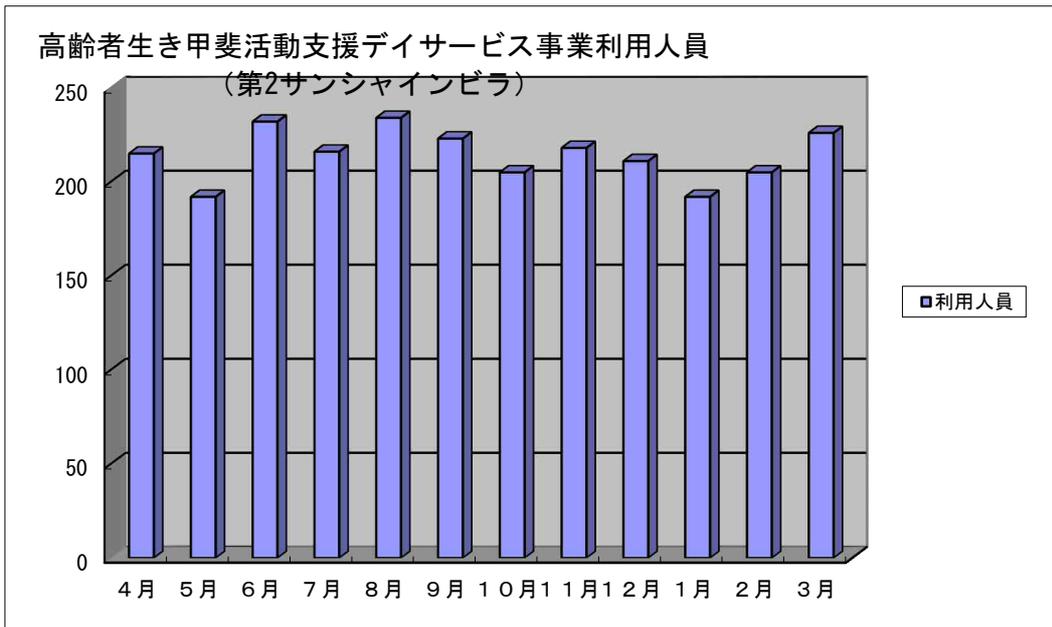
単位：名

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	total
利用人員	215	192	232	216	234	223	205	218	211	192	205	226	2,569

高齢者生き甲斐活動支援デイサービス入浴サービス(一般浴)延べ利用人員実績簿

単位：名

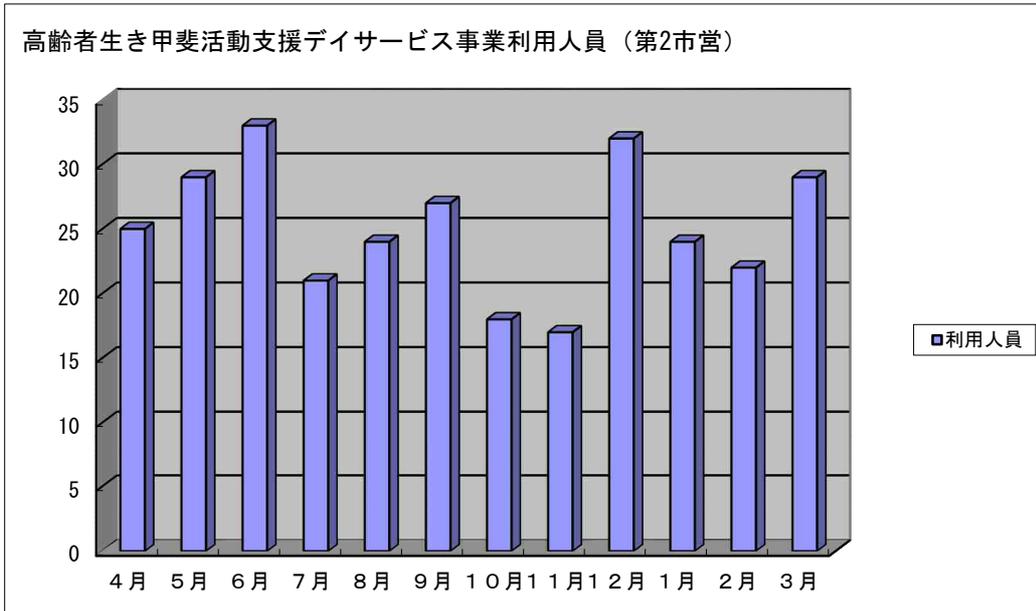
月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	total
利用人員	33	28	30	26	28	25	16	21	27	20	28	33	315



高齢者生き甲斐活動支援デイサービス延べ利用人員実績簿(第2市営)

単位：名

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	total
利用人員	25	29	33	21	24	27	18	17	32	24	22	29	301



委託料実績：15,000,000円

4/1	金	5F 浴・シヤコガ [®] ・水彩画
4/2	土	5F 浴
4/3	日	
4/4	月	5F 浴
4/5	火	おやつパ [®] 作シヤ
4/6	水	5F 浴・音楽療法・書道
4/7	木	陶芸
4/8	金	5F 浴・シヤコガ [®]
4/9	土	5F 浴
4/10	日	
4/11	月	5F 浴
4/12	火	押し花・陶芸
4/13	水	5F 浴・陶芸
4/14	木	紙芝居作り・手芸
4/15	金	5F 浴・シヤコガ [®] ・水彩画

4/16	土	5F 浴
4/17	日	
4/18	月	5F 浴
4/19	火	喫茶の日
4/20	水	5F 浴・音楽療法・書道
4/21	木	手芸・陶芸
4/22	金	5F 浴・移動美容室
4/23	土	5F 浴・ト [®] ライブ [®] (第3サツシャインビ [®] ラ観桜会)
4/24	日	
4/25	月	5F 浴・書道
4/26	火	陶芸
4/27	水	5F 浴・陶芸
4/28	木	紙芝居作り・外食会(久兵衛屋)
4/29	金	5F 浴・シヤコガ [®] ・外食会(久兵衛屋)
4/30	土	5F 浴・外食会(久兵衛屋)

5/1	日	
5/2	月	5F 浴・茶道
5/3	火	おやつパ [®] 作シヤ
5/4	水	5F 浴・音楽療法・書道
5/5	木	陶芸
5/6	金	5F 浴・シヤコガ [®] ・水彩画
5/7	土	5F 浴
5/8	日	
5/9	月	5F 浴・書道
5/10	火	押し花
5/11	水	5F 浴・陶芸
5/12	木	ひまわり美容室
5/13	金	5F 浴・シヤコガ [®] ・紙芝居作り
5/14	土	5F 浴
5/15	日	

5/16	月	5F 浴・茶道
5/17	火	喫茶の日
5/18	水	5F 浴・音楽療法・書道
5/19	木	陶芸
5/20	金	5F 浴・シヤコガ [®] ・水彩画
5/21	土	5F 浴
5/22	日	
5/23	月	5F 浴・書道・外食会(和食よへい)
5/24	火	外食会(和食よへい)
5/25	水	5F 浴・陶芸・外食会(和食よへい)
5/26	木	誕生食(白玉ぜんざい)
5/27	金	5F 浴・シヤコガ [®] ・紙芝居作り・誕生食(白玉ぜんざい)
5/28	土	5F 浴・誕生食(白玉ぜんざい)
5/29	日	
5/30	月	5F 浴
5/31	火	手芸・ト [®] ライブ [®] (青梅方面)

6/1	水	5F 浴・音楽療法・書道
6/2	木	陶芸・手芸
6/3	金	5F 浴・シヤコガ [®] ・水彩画
6/4	土	5F 浴
6/5	日	
6/6	月	5F 浴
6/7	火	おやつパ [®] 作シヤ
6/8	水	5F 浴・陶芸
6/9	木	ひまわり美容室
6/10	金	5F 浴・シヤコガ [®]
6/11	土	5F 浴
6/12	日	
6/13	月	5F 浴・書道
6/14	火	押し花・陶芸
6/15	水	5F 浴・音楽療法・書道

6/16	木	手芸・陶芸
6/17	金	5F 浴・シヤコガ [®]
6/18	土	5F 浴
6/19	日	
6/20	月	5F 浴
6/21	火	
6/22	水	5F 浴
6/23	木	外食会(とんでん)
6/24	金	5F 浴・シヤコガ [®] ・紙芝居作り・移動美容室・外食会(とんでん)
6/25	土	5F 浴・外食会(とんでん)
6/26	日	
6/27	月	5F 浴・書道・誕生食(マ [®] レス)
6/28	火	陶芸・誕生食(マ [®] レス)
6/29	水	5F 浴・誕生食(マ [®] レス)
6/30	木	手芸・ト [®] ライブ [®] (あきる野・青梅方面)

7/1	金	5F 浴・シヤコガ [®] ・水彩画
7/2	土	5F 浴
7/3	日	
7/4	月	5F 浴・茶道
7/5	火	おやつパ [®] 作シヤ
7/6	水	5F 浴・音楽療法
7/7	木	陶芸
7/8	金	5F 浴・シヤコガ [®] ・紙芝居作り
7/9	土	5F 浴
7/10	日	
7/11	月	5F 浴・書道
7/12	火	押し花・陶芸
7/13	水	5F 浴・陶芸

7/16	土	
7/17	日	
7/18	月	5F 浴・茶道
7/19	火	喫茶の日
7/20	水	5F 浴・音楽療法・書道・外食会(おくたま路)
7/21	木	手芸・陶芸
7/22	金	5F 浴・紙芝居作り・移動美容室
7/23	土	5F 浴
7/24	日	
7/25	月	5F 浴・書道
7/26	火	陶芸
7/27	水	5F 浴・陶芸
7/28	木	誕生食(亀焼き)

7/14	木	ひまわり美容室・手芸
7/15	金	5F 浴・シヤヨカ

7/29	金	5F 浴・シヤヨカ・誕生食(亀焼き)
7/30	土	5F 浴・誕生食(亀焼き)
7/31	日	

8/1	月	5F 浴・茶道
8/2	火	おやつパ` 作ンク
8/3	水	5F 浴・音楽療法・書道
8/4	木	手芸・陶芸・ひまわり美容室
8/5	金	5F 浴・シヤヨカ
8/6	土	5F 浴
8/7	日	
8/8	月	5F 浴・書道
8/9	火	陶芸
8/10	水	5F 浴・陶芸
8/11	木	
8/12	金	5F 浴・シヤヨカ・紙芝居作り
8/13	土	5F 浴
8/14	日	
8/15	月	5F 浴・茶道

8/16	火	喫茶の日(サックス演奏慰問)
8/17	水	5F 浴・音楽療法・書道
8/18	木	手芸・陶芸
8/19	金	5F 浴・シヤヨカ・水彩画
8/20	土	5F 浴
8/21	日	
8/22	月	5F 浴
8/23	火	陶芸
8/24	水	5F 浴・陶芸
8/25	木	
8/26	金	5F 浴・シヤヨカ・紙芝居作り
8/27	土	5F 浴・外食会(ハ`ミヤン)
8/28	日	
8/29	月	5F 浴・書道・誕生食(フルツ`リン)
8/30	火	誕生食(フルツ`リン)
8/31	水	5F 浴・誕生食(フルツ`リン)

9/1	木	手芸・陶芸
9/2	金	5F 浴・水彩画
9/3	土	5F 浴
9/4	日	
9/5	月	5F 浴・茶道・セツ`ソ草の会
9/6	火	おやつパ` 作ンク(福永が村会慰問)
9/7	水	5F 浴・音楽療法・書道
9/8	木	ひまわり美容室
9/9	金	5F 浴・紙芝居作り
9/10	土	5F 浴
9/11	日	
9/12	月	5F 浴・書道
9/13	火	陶芸
9/14	水	5F 浴・陶芸
9/15	木	手芸・陶芸

9/16	金	5F 浴・シヤヨカ・水彩画
9/17	土	5F 浴
9/18	日	
9/19	月	5F 浴・茶道
9/20	火	喫茶の日
9/21	水	5F 浴・音楽療法・書道
9/22	木	誕生食(モン`ランケキ)
9/23	金	5F 浴・紙芝居作り・誕生食(モン`ランケキ)
9/24	土	5F 浴・誕生食(モン`ランケキ)
9/25	日	
9/26	月	5F 浴・書道・外食会(よへい)
9/27	火	陶芸・外食会(よへい)
9/28	水	5F 浴・陶芸・外食会(よへい)
9/29	木	手芸
9/30	金	5F 浴

10/1	土	5F 浴
10/2	日	
10/3	月	5F 浴・茶道
10/4	火	おやつパ` 作ンク
10/5	水	5F 浴・音楽療法
10/6	木	陶芸
10/7	金	5F 浴
10/8	土	5F 浴・文化祭見学
10/9	日	
10/10	月	5F 浴・書道
10/11	火	陶芸
10/12	水	5F 浴・陶芸
10/13	木	ひまわり美容室
10/14	金	5F 浴・紙芝居作り
10/15	土	5F 浴

10/16	日	
10/17	月	5F 浴
10/18	火	喫茶の日
10/19	水	5F 浴・音楽療法・書道
10/20	木	手芸・陶芸
10/21	金	5F 浴・シヤヨカ・水彩画
10/22	土	5F 浴
10/23	日	
10/24	月	5F 浴・書道
10/25	火	陶芸・誕生食(ハ`ソツ`キョラヤキ)
10/26	水	5F 浴・陶芸・誕生食(ハ`ソツ`キョ`リン)
10/27	木	
10/28	金	5F 浴・紙芝居作り
10/29	土	5F 浴・外食会(かんぼの宿)
10/30	日	
10/31	月	5F 浴

11/1	火	焼き芋大会
11/2	水	5F 浴・音楽療法・書道
11/3	木	手芸・陶芸
11/4	金	5F 浴
11/5	土	5F 浴
11/6	日	
11/7	月	5F 浴・茶道
11/8	火	
11/9	水	5F 浴・陶芸

11/16	水	5F 浴・書道
11/17	木	手芸・陶芸
11/18	金	5F 浴・シヤヨカ・水彩画
11/19	土	5F 浴・シヤヨカ・水彩画
11/20	日	
11/21	月	5F 浴・茶道
11/22	火	陶芸
11/23	水	5F 浴・音楽療法
11/24	木	誕生食(亀焼き)

11/10	木	
11/11	金	5F 浴・紙芝居作り
11/12	土	5F 浴
11/13	日	
11/14	月	5F 浴・書道
11/15	火	喫茶の日

11/25	金	5F 浴・紙芝居作り・誕生食(亀焼き)
11/26	土	5F 浴・誕生食(亀焼き)
11/27	日	
11/28	月	5F 浴・書道・外食会(かんぽの宿)
11/29	火	外食会(かんぽの宿)
11/30	水	5F 浴・外食会(かんぽの宿)

12/1	木	手芸・陶芸
12/2	金	5F 浴
12/3	土	5F 浴
12/4	日	
12/5	月	5F 浴・茶道
12/6	火	喫茶の日
12/7	水	5F 浴・音楽療法・書道
12/8	木	手芸
12/9	金	5F 浴・紙芝居作り
12/10	土	5F 浴
12/11	日	
12/12	月	5F 浴・書道
12/13	火	陶芸
12/14	水	5F 浴・陶芸
12/15	木	手芸・陶芸

12/16	金	5F 浴・シニョカ ^o ・水彩画
12/17	土	5F 浴・第2 サンシャインビ ^o クリスマス会見学
12/18	日	
12/19	月	5F 浴・茶道
12/20	火	喫茶の日
12/21	水	5F 浴・音楽療法・書道
12/22	木	クリスマス会
12/23	金	5F 浴・クリスマス会
12/24	土	クリスマス会
12/25	日	
12/26	月	5F 浴・書道・外食会(一作)
12/27	火	餅つき大会・外食会(一作)
12/28	水	5F 浴・陶芸
12/29	木	ドライブ ^o (青梅方面)
12/30	金	5F 浴・ドライブ ^o (青梅方面)
12/31	土	5F 浴

1/1	日	休み
1/2	月	
1/3	火	
1/4	水	5F 浴・音楽療法・初詣ドライブ ^o
1/5	木	陶芸・初詣ドライブ ^o
1/6	金	5F 浴・初詣ドライブ ^o
1/7	土	5F 浴
1/8	日	
1/9	月	5F 浴・茶道・書道
1/10	火	陶芸・喫茶の日
1/11	水	5F 浴・陶芸
1/12	木	手芸
1/13	金	5F 浴・紙芝居作り
1/14	土	5F 浴
1/15	日	

1/16	月	5F 浴
1/17	火	おやつパ ^o 仲間 ^o
1/18	水	5F 浴・音楽療法
1/19	木	手芸・陶芸
1/20	金	5F 浴・シニョカ ^o ・水彩画
1/21	土	5F 浴
1/22	日	
1/23	月	5F 浴・茶道・書道・外食会(とんでん)
1/24	火	陶芸・外食会(とんでん)
1/25	水	5F 浴・陶芸・外食会(とんでん)
1/26	木	誕生食(おしるこ)
1/27	金	5F 浴・紙芝居作り・誕生食(おしるこ)
1/28	土	5F 浴・鬼退治・誕生食(おしるこ)
1/29	日	
1/30	月	5F 浴
1/31	火	

2/1	水	5F 浴・音楽療法
2/2	木	手芸・陶芸
2/3	金	5F 浴
2/4	土	5F 浴
2/5	日	
2/6	月	5F 浴・茶道
2/7	火	おやつパ ^o 仲間 ^o
2/8	水	5F 浴・陶芸
2/9	木	
2/10	金	5F 浴・紙芝居作り
2/11	土	5F 浴
2/12	日	
2/13	月	5F 浴
2/14	火	陶芸
2/15	水	5F 浴・音楽療法

2/16	木	手芸・陶芸
2/17	金	5F 浴・水彩画
2/18	土	5F 浴
2/19	日	
2/20	月	5F 浴・茶道・誕生食(亀焼き)
2/21	火	喫茶の日・陶芸
2/22	水	5F 浴・陶芸・誕生食(亀焼き)
2/23	木	外食会(とんでん)
2/24	金	5F 浴・シニョカ ^o ・紙芝居作り
2/25	土	5F 浴・外食会(とんでん)
2/26	日	
2/27	月	5F 浴・書道
2/28	火	陶芸・誕生食(亀焼き)

3/1	水	5F 浴・音楽療法・書道
3/2	木	手芸・陶芸
3/3	金	5F 浴
3/4	土	5F 浴
3/5	日	
3/6	月	5F 浴・茶道

3/16	木	手芸・陶芸
3/17	金	5F 浴・水彩画
3/18	土	5F 浴
3/19	日	
3/20	月	5F 浴・茶道
3/21	火	喫茶の日

3/7	火	おやつバイキング
3/8	水	5F 浴・陶芸
3/9	木	
3/10	金	5F 浴・紙芝居作り
3/11	土	5F 浴
3/12	日	
3/13	月	5F 浴・書道
3/14	火	陶芸
3/15	水	5F 浴・音楽療法・書道

3/22	水	5F 浴・陶芸
3/23	木	誕生食(おはぎ)
3/24	金	5F 浴・紙芝居作り・誕生食(おはぎ)
3/25	土	5F 浴・誕生食(おはぎ)
3/26	日	
3/27	月	5F 浴・書道・外食会(かんぼの宿)
3/28	火	陶芸・外食会(かんぼの宿)
3/29	水	5F 浴・陶芸・外食会(かんぼの宿)
3/30	木	手芸・ドライブ(あきる野方面)
3/31	金	5F 浴

上記のほか、日々楽しめるゲームを企画し、ミニゲートボール・ペットボトルのボウリング、スカットボールなど介護職員が工夫を凝らし利用者に楽しんでいただいた。テーブルゲーム、食事前の口腔体操、折り紙教室なども継続的に行い、好評な様子であった。

また、ドライブや多摩川の散歩・日光浴など自然とのふれあいの場を多く設け、手芸では、靴下のリサイクルによる指編みを行なったところ、大好評にて利用者の増員につながった。

さらに、特養のおやつバイキング、喫茶室、その他カラオケ慰問等の慰問へも参加させていただき、利用者楽しんでいただいた。特に毎月の加美平保育園の園児さんの慰問はとても喜ばれている。

給食費実績：4,837,530円

車両費実績：1,793,565円

教養娯楽費実績：879,814円

介護用品費実績：111,456円

医薬品費実績：194,387円

保健衛生費実績：82,235円

被服費実績：14,040円

日用品費実績：123,137円

消耗器具備品費実績：111,699円

水道光熱費等実績：2,294,896円

【福生市生きがいデイサービス（第2サンシャインビラ・第2市営）】

第2市営ではご近所の高齢者も多数参加し、活気ある生きがいデイサービス活動を行っている。
開催内容は、利用者とともに決定し、ドライブ、ショッピング、カラオケなど魅力あるサービスが出来る。

4/1	金	5F 浴・シヤガ・水彩画
4/2	土	
4/3	日	
4/4	月	5F 浴・茶道
4/5	火	おやつパ ｲﾝｸﾞ
4/6	水	5F 浴・音楽療法・書道
4/7	木	陶芸 D2:ｼｯﾎﾟﾝｸﾞ・ﾄﾞﾗｲﾌﾞ(日の出ｲﾝ)
4/8	金	5F 浴・シヤガ
4/9	土	
4/10	日	
4/11	月	5F 浴・書道
4/12	火	陶芸
4/13	水	5F 浴・陶芸
4/14	木	紙芝居作り・手芸 D2:のんびりﾃﾞｲ
4/15	金	5F 浴・シヤガ・水彩画

4/16	土	
4/17	日	
4/18	月	5F 浴・茶道
4/19	火	喫茶の日
4/20	水	5F 浴・音楽療法・書道
4/21	木	手芸・陶芸 D2:ｼｯﾎﾟﾝｸﾞ・ﾄﾞﾗｲﾌﾞ(ﾌｰﾏｰｽﾞ・あきる台公園)
4/22	金	5F 浴
4/23	土	
4/24	日	
4/25	月	5F 浴・書道
4/26	火	
4/27	水	5F 浴・陶芸
4/28	木	紙芝居作り D2:第2サンシャｲﾝﾋﾞﾗ来園日(ｺｰﾋｰﾍﾞﾘｰ作り)
4/29	金	5F 浴・シヤガ
4/30	土	

5/1	日	
5/2	月	5F 浴・茶道
5/3	火	おやつパ ｲﾝｸﾞ
5/4	水	音楽療法・書道
5/5	木	陶芸 D2:のんびりﾃﾞｲ
5/6	金	5F 浴・シヤガ・水彩画
5/7	土	
5/8	日	
5/9	月	5F 浴・書道
5/10	火	陶芸・押し花
5/11	水	5F 浴・陶芸
5/12	木	D2:ｼｯﾎﾟﾝｸﾞ・ﾄﾞﾗｲﾌﾞ(日の出ｲﾝ・西多摩霊園方面)
5/13	金	5F 浴・シヤガ・紙芝居作り
5/14	土	
5/15	日	

5/16	月	5F 浴・茶道
5/17	火	喫茶の日
5/18	水	5F 浴・音楽療法・書道
5/19	木	陶芸 D2:ﾄﾞﾗｲﾌﾞ(あきる台公園方面)
5/20	金	5F 浴・シヤガ・水彩画
5/21	土	
5/22	日	
5/23	月	5F 浴・書道・外食会(和食よへい)
5/24	火	
5/25	水	5F 浴・陶芸・外食会(和食よへい)
5/26	木	D2:第2サンシャｲﾝﾋﾞﾗ来園日
5/27	金	5F 浴・シヤガ・水彩画
5/28	土	
5/29	日	
5/30	月	
5/31	火	手芸

6/1	水	5F 浴・音楽療法・書道
6/2	木	手芸・陶芸 D2:ﾄﾞﾗｲﾌﾞ(青梅吹上しょうぶ園)
6/3	金	5F 浴・シヤガ・水彩画
6/4	土	
6/5	日	
6/6	月	茶道
6/7	火	おやつパ ｲﾝｸﾞ
6/8	水	5F 浴・陶芸
6/9	木	D2:第2サンシャｲﾝﾋﾞﾗ来園日
6/10	金	5F 浴・シヤガ・紙芝居作り
6/11	土	
6/12	日	
6/13	月	5F 浴・書道
6/14	火	押し花・陶芸
6/15	水	5F 浴・音楽療法・書道

6/16	木	手芸・陶芸 D2:ｼｯﾎﾟﾝｸﾞ・ﾄﾞﾗｲﾌﾞ(青梅ｷｬﾝﾌﾟ・西多摩霊園方面)
6/17	金	5F 浴・シヤガ
6/18	土	
6/19	日	
6/20	月	5F 浴・茶道
6/21	火	
6/22	水	5F 浴・陶芸
6/23	木	D2:第2サンシャｲﾝﾋﾞﾗ来園日
6/24	金	ｼﾞﾖｶﾞ・紙芝居作り・外食会(とんでん)
6/25	土	外食会(とんでん)
6/26	日	
6/27	月	5F 浴・書道
6/28	火	
6/29	水	5F 浴
6/30	木	手芸・ﾄﾞﾗｲﾌﾞ(あきる野方面) D2:のんびりﾃﾞｲ

7/1	金	5F 浴・シヤガ・水彩画・七夕飾り
7/2	土	
7/3	日	
7/4	月	5F 浴・茶道

7/16	土	
7/17	日	
7/18	月	茶道
7/19	火	喫茶の日

7/5	火	おやつパ ｲﾝｸﾞ
7/6	水	音楽療法
7/7	木	陶芸 D2:ｼﾞｮｯﾋﾞﾝｸﾞ(ﾏｺｰ西武立川店)
7/8	金	ｼﾞｮｯﾋﾞﾝｸﾞ・紙芝居作り
7/9	土	
7/10	日	
7/11	月	5F浴・書道
7/12	火	押し花・陶芸
7/13	水	5F浴
7/14	木	手芸 D2:のんびりﾃﾞｲ
7/15	金	5F浴・ｼﾞｮｯﾋﾞﾝｸﾞ・水彩画

7/20	水	音楽療法・書道
7/21	木	手芸 D2:ｼﾞｮｯﾋﾞﾝｸﾞ(ﾏｺｰ)
7/22	金	5F浴・紙芝居作り
7/23	土	
7/24	日	
7/25	月	書道
7/26	火	陶芸
7/27	水	5F浴・陶芸
7/28	木	D2:第2サﾝｼﾞｬｲﾝﾋﾞﾗ来園日
7/29	金	5F浴・ｼﾞｮｯﾋﾞﾝｸﾞ
7/30	土	5F浴
7/31	日	

8/1	月	5F浴・茶道
8/2	火	おやつパ ｲﾝｸﾞ
8/3	水	音楽療法・書道
8/4	木	手芸・陶芸 D2:ｼﾞｮｯﾋﾞﾝｸﾞ(ﾏｺｰ青梅)
8/5	金	5F浴・ｼﾞｮｯﾋﾞﾝｸﾞ
8/6	土	5F浴
8/7	日	
8/8	月	5F浴・書道
8/9	火	陶芸
8/10	水	5F浴・陶芸
8/11	木	D2:第2サﾝｼﾞｬｲﾝﾋﾞﾗ来園
8/12	金	ｼﾞｮｯﾋﾞﾝｸﾞ・紙芝居作り
8/13	土	
8/14	日	
8/15	月	茶道

8/16	火	喫茶の日
8/17	水	音楽療法・書道
8/18	木	手芸・陶芸 D2:のんびりﾃﾞｲ
8/19	金	5F浴・ｼﾞｮｯﾋﾞﾝｸﾞ・水彩画
8/20	土	5F浴
8/21	日	
8/22	月	
8/23	火	陶芸
8/24	水	5F浴・陶芸
8/25	木	D2:健康相談(理学療法士訪問)
8/26	金	5F浴・ｼﾞｮｯﾋﾞﾝｸﾞ・紙芝居作り
8/27	土	5F浴
8/28	日	
8/29	月	書道
8/30	火	
8/31	水	

9/1	木	手芸・陶芸 D2:ｼﾞｮｯﾋﾞﾝｸﾞ(ﾏｺｰ西武立川)
9/2	金	水彩画
9/3	土	
9/4	日	
9/5	月	茶道
9/6	火	おやつパ ｲﾝｸﾞ(福生ｶﾌﾞﾝｶﾞ会慰問)
9/7	水	5F浴・音楽療法・書道
9/8	木	D2:第2サﾝｼﾞｬｲﾝﾋﾞﾗ来園
9/9	金	紙芝居作り
9/10	土	
9/11	日	
9/12	月	書道
9/13	火	陶芸
9/14	水	5F浴・陶芸
9/15	木	手芸・陶芸 D2:ｼﾞｮｯﾋﾞﾝｸﾞ(ﾏｺｰ青梅)

9/16	金	ｼﾞｮｯﾋﾞﾝｸﾞ・水彩画
9/17	土	
9/18	日	
9/19	月	茶道
9/20	火	喫茶の日
9/21	水	音楽療法・書道
9/22	木	D2:のんびりﾃﾞｲ
9/23	金	紙芝居作り
9/24	土	5F浴
9/25	日	
9/26	月	書道
9/27	火	陶芸
9/28	水	陶芸
9/29	木	手芸 D2:外食会ﾄﾞﾗｲﾌﾞ(おくたま路・瑞穂ｺﾊﾞｰｸ)
9/30	金	5F浴

10/1	土	
10/2	日	
10/3	月	茶道
10/4	火	おやつパ ｲﾝｸﾞ
10/5	水	5F浴・音楽療法
10/6	木	手芸・陶芸 D2:ｼﾞｮｯﾋﾞﾝｸﾞ(ﾏｺｰ西武立川)
10/7	金	
10/8	土	文化祭見学
10/9	日	
10/10	月	書道
10/11	火	陶芸
10/12	水	陶芸
10/13	木	D2:第2サﾝｼﾞｬｲﾝﾋﾞﾗ来園

10/16	日	
10/17	月	
10/18	火	喫茶の日
10/19	水	音楽療法・書道
10/20	木	手芸・陶芸
10/21	金	ｼﾞｮｯﾋﾞﾝｸﾞ・水彩画
10/22	土	
10/23	日	
10/24	月	書道
10/25	火	陶芸
10/26	水	陶芸
10/27	木	D2:のんびりﾃﾞｲ
10/28	金	紙芝居作り

10/14	金	紙芝居作り
10/15	土	

10/29	土	
10/30	日	
10/31	月	

11/1	火	焼き芋大会
11/2	水	音楽療法・書道
11/3	木	手芸・陶芸 D2: サンシャイン®文化祭見学
11/4	金	
11/5	土	
11/6	日	
11/7	月	茶道
11/8	火	
11/9	水	5F 浴・陶芸
11/10	木	D2: ドライブ®・ショッピング®(青梅方面・ヤコ)
11/11	金	紙芝居作り
11/12	土	
11/13	日	
11/14	月	書道
11/15	火	喫茶の日

11/16	水	書道
11/17	木	手芸・陶芸 D2: のんびりデー
11/18	金	シニア®・水彩画
11/19	土	
11/20	日	
11/21	月	茶道
11/22	火	
11/23	水	音楽療法・陶芸
11/24	木	D2: 第2サンシャイン®来園
11/25	金	紙芝居作り
11/26	土	
11/27	日	
11/28	月	書道
11/29	火	
11/30	水	5F 浴

12/1	木	手芸・陶芸 D2: ドライブ®(多摩湖方面)
12/2	金	
12/3	土	5F 浴
12/4	日	
12/5	月	5F 浴・茶道
12/6	火	喫茶の日
12/7	水	5F 浴・音楽療法・書道
12/8	木	手芸 D2: ショッピング®(ヤコ-西武立川)
12/9	金	紙芝居作り
12/10	土	5F 浴
12/11	日	
12/12	月	5F 浴・書道
12/13	火	陶芸
12/14	水	5F 浴・陶芸
12/15	木	手芸・陶芸 D2: ショッピング®(ヤコ-西武立川)

12/16	金	シニア®・水彩画
12/17	土	5F 浴・第2サンシャイン®クリスマス会见学
12/18	日	
12/19	月	茶道
12/20	火	喫茶の日
12/21	水	5F 浴・音楽療法・書道
12/22	木	クリスマス会 D2: 第2サンシャイン®来園・クリスマスおやつ作り(コマブリ)
12/23	金	クリスマス会
12/24	土	5F 浴・クリスマス会
12/25	日	
12/26	月	書道
12/27	火	
12/28	水	
12/29	木	D2: のんびりデー
12/30	金	
12/31	土	

1/1	日	子休み
1/2	月	
1/3	火	
1/4	水	音楽療法・福笑い
1/5	木	陶芸 D2: のんびりデー(甘酒作り)
1/6	金	
1/7	土	
1/8	日	
1/9	月	茶道・書道
1/10	火	陶芸・喫茶の日
1/11	水	5F 浴・陶芸
1/12	木	手芸 D2: ショッピング®・ドライブ®(ヤコ・拜島大師方面)
1/13	金	紙芝居作り
1/14	土	
1/15	日	

1/16	月	
1/17	火	おやつパーティー
1/18	水	5F 浴・音楽療法
1/19	木	手芸・陶芸 D2: ショッピング®・ドライブ®(八王子道の駅・甲州街道)
1/20	金	5F 浴・シニア®・水彩画
1/21	土	
1/22	日	
1/23	月	茶道・書道
1/24	火	陶芸
1/25	水	5F 浴・陶芸
1/26	木	D2: 第2サンシャイン®来園(おしるこ作り)
1/27	金	紙芝居作り
1/28	土	鬼退治
1/29	日	
1/30	月	
1/31	火	

2/1	水	5F 浴・音楽療法
-----	---	-----------

2/16	木	手芸・陶芸 D2: ショッピング®・ドライブ®(日の出・サマランド方面)
------	---	--------------------------------------

2/2	木	手芸・陶芸 D2：ショッピング・ドライブ（ヤコ-青梅・横田基地方面）
2/3	金	
2/4	土	5F 浴
2/5	日	
2/6	月	茶道
2/7	火	おやつパティン
2/8	水	陶芸
2/9	木	D3：のんびりデイ
2/10	金	5F 浴・紙芝居作り
2/11	土	
2/12	日	
2/13	月	
2/14	火	
2/15	水	音楽療法

2/17	金	水彩画
2/18	土	5F 浴
2/19	日	
2/20	月	5F 浴・茶道
2/21	火	陶芸・喫茶の日
2/22	水	陶芸
2/23	木	D2：第2サンシャインバラ園
2/24	金	シニアガ・紙芝居作り
2/25	土	
2/26	日	
2/27	月	書道
2/28	火	陶芸

3/1	水	音楽療法・書道
3/2	木	手芸・陶芸 D2：ドライブ（瑞穂・耕心館）
3/3	金	5F 浴・福生四小5年生訪問
3/4	土	5F 浴
3/5	日	
3/6	月	5F 浴・茶道
3/7	火	おやつパティン
3/8	水	5F 浴・陶芸
3/9	木	D2：第2サンシャインバラ園
3/10	金	5F 浴・紙芝居作り
3/11	土	
3/12	日	
3/13	月	5F 浴・書道
3/14	火	
3/15	水	5F 浴・音楽療法・書道

3/16	木	手芸・陶芸 D2：ショッピング・ドライブ（ヤコ- 武蔵村山～瑞穂）
3/17	金	水彩画
3/18	土	5F 浴
3/19	日	
3/20	月	5F 浴・茶道
3/21	火	喫茶の日
3/22	水	5F 浴
3/23	木	D2：のんびりデイ
3/24	金	5F 浴・シニアガ・紙芝居作り
3/25	土	
3/26	日	
3/27	月	5F 浴・書道
3/28	火	陶芸・外食会（かんぽの宿）
3/29	水	
3/30	木	手芸 D2：ドライブ（秋留台公園）
3/31	金	

趣味の会活動報告

生きがいのある快適で豊かな日常生活を送ることが出来るよう、第2サンシャインビラで開催しているクラブ活動を活用して、「趣味の会」を提供し、この会を通じて仲間づくり、老いや障害の受容、心身機能の維持向上、自信の回復、孤立感の解消を図る。書道・手芸・華道・陶芸・水彩画・茶道・押花・アメリカンフラワー・シニアヨガ・紙芝居・音楽リハビリの「趣味の会」の活動をおこなった。

クラブ活動実施時には当日来園された多くの利用者が参加し、笑顔の耐えない活気のある時間を過ごして頂けた。特に、シニアヨガ・音楽リハビリについては、普段は体を動かす機会が少ない利用者が活発に参加され、心身のリフレッシュに多いに役立っている。

記録については第2サンシャインビラ事業報告書を参照のこと。

研修報告

東京都社会福祉協議会開催の研修、施設内研修などの参加を推進し、介護職員のスキル向上を目指した。研修実施記録については第2サンシャインビラ事業報告書を参照のこと。

旅費交通費・研修費実績：1,865円

【施設設備改善及び備品購入報告について】

- ① 物品購入実績 実績なし
- ② 施設における共通経費は併設第2サンシャインビラと按分

平成28年度

高齢者在宅介護支援事業
事業報告書

社会福祉法人福陽会

高齢者在宅介護支援センター加美

事業報告書 目次

高齢者在宅介護支援センター加美

事業報告・職員配置	1-3
会議等出席状況	4

事業報告

高齢者在宅介護支援事業（福生市からの委託事業）

事業計画基本方針に則り高齢者支援業務を行った。

近年、精神障害に関する相談、経済的、財産相談、成年後見制度関係、高齢者虐待関係の相談が目立って増えており、非常に困難なケースが増加しているが、地域包括支援センターとの協力により問題解決に取り組んでいる。

地域との関わり（民生委員、消防署、老人会、小地域活動等）だけでなく、保健所、医療機関との連携、他市の支援センターとの協力体制等、これまで以上に広がりを持ったネットワークづくりをしながら、対応に努められた。

高齢者や、その家族、近隣、地域からの多種多様な相談にも、それぞれのケースに応じた適切かつ早期対応に努めている。

また、事業計画重点施策については2-3ページにまとめた。

【職員配置・管理運営】

3.31現在

職名	職員配置人数と氏名（資格）	
管 理 者	1	佐々木 和仁
相 談 員	1	鈴木 敦子 : 介護福祉士

福生市在宅介護支援センター加美 運営報告書 平成28年度年間合計分

I 安否確認

1- (1) 安否確認件数 (実人数)

	新	規	継	続	月	合	計
件数	270		682				952

年度合計	952
------	-----

1- (2) 安否確認件数 (延人数)

	訪	問	不	在	合	計
件数	632		320			952

80歳名簿	訪問人数	669		
(訪問人数)	在 家	412	不 在	257
(在家内訳)	元 気	174	相 談	238

III 相談件数

1- (1) 相談件数 (実人数)

	新	規	継	続	合	計
件数	388		1369			1757

1- (2) 相談件数及び内訳 (延人数)

		電 話	来 所	訪 問	合 計
本	人	552	161	1239	1952
家 族	配 偶 者	57	5	51	113
	実 子	99	3	47	149
	実子の配偶者	32	2	15	49
	そ の 他	40	3	20	63
知 人 ・ 隣 人	32	1	18	51	
民 生 委 員	57	2	30	89	
医 療 機 関	56	0	50	106	
福祉関係機関 (施設)	412	21	104	537	
行 政 機 関	819	12	291	1122	
そ の 他	230	1	14	245	
合 計		2386	211	1879	4476

II シルバーピア

	新	規	継	続	合	計
件数	5		48			53

(内 訳)	日	中	夜	間
電 話 対 応		103		0
協 力 員 確 認		449		0
訪 問 対 応		124		0
不 在		15		0
合 計		691		0

2 相談への対応

情 報 提 供	1791
連 絡 調 整	504
ケ ー ス 検 討	423
状 況 確 認	1719
通 院 ・ 外 出 支 援	137
精 神 的 支 援	1608
合 計	6182

3 会議等の実施状況

支 援 セ ン タ ー 連 絡 会	24
民 生 委 員 等 情 報 交 換	33
ケ ー ス カ ン フ ェ レ ン ス	26
合 計	83

4 申請代行内訳

介 護 保 険 申 請	35
各 種 在 宅 サ ー ビ ス 申 請	55
そ の 他	90
合 計	180

(内 ・ 緊 急 キ ッ ド)

5 夜間緊急時の対応

電 話 対 応	0
そ の 他	0
合 計	0

福生市在宅介護支援センター加美 運営報告書 平成28年度年間合計分

5 相談内容等

在宅サービス		施設サービス		その他	
種別	種別	種別	種別	種別	種別
《介護保険サービス》		介護保険施設相談	148	介護全般に関する相談	1442
【介護保険関係の相談】	589	養護老人ホーム	146	医療に関する相談	1260
	その他高齢者施策	その他(有料、ケアハウス等)	154	住宅に関する相談	534
	・おむつ等の助成	計	448	経済的・財産に関する相談	743
《一般施策サービス》				家族関係相談	503
高齢者の生活支援事業関係				認知症に関する相談	51
・寝具類等乾燥消毒サービス	12	・福祉バス	99	消費相談関係	81
・訪問理美容サービス	27	・老人杖の支給	48	成年後見制度関係	30
		・救急キット 災害時要援護者	89	高齢者虐待関係	30
		・その他	378	シルバーピア関連相談	92
介護予防・地域支援支え合い事業		【一般施策サービス合計】	1682	他担当部署に関する相談	23
・生きがい活動支援デイサービス	346			その他	6
・生活支援ホームヘルプサービス	142	《包括的支援事業》		計	5304
・生活支援ショートステイ	63	・介護予防教室	566		
・徘徊高齢者家族支援サービス	40	【包括的支援事業合計】	566		
・配食サービス	181				
		《社会福祉協議会サービス》			
高齢者いきいき事業		【社会福祉協議会福祉サービス】	311		
・家具転倒防止装置設置	9				
・自立支援日常生活用具関係	93				
・自立支援住宅改修関係	85				

平成 28 年度 高齢者在宅介護支援センター会議等出席状況

日付	会議名称等	
平成 28 年 4 月 22 日	在宅介護支援センター連絡会	鈴木・中村
平成 28 年 5 月 13 日	小地域福祉活動福祉地区連絡会	鈴木・中村
平成 28 年 5 月 27 日	在宅介護支援センター連絡会	中村
平成 28 年 6 月 14 日	青梅・秋川ブロックセンター連絡会	鈴木・中村
平成 28 年 6 月 24 日	在宅介護支援センター連絡会	鈴木・中村
平成 28 年 7 月 22 日	在宅介護支援センター連絡会	鈴木・中村
平成 28 年 8 月 9 日	青梅・秋川ブロックセンター連絡会	鈴木
平成 28 年 8 月 26 日	在宅支援センター連絡会	鈴木
平成 28 年 9 月 5 日	家族介護者教室	鈴木・中村
平成 28 年 9 月 23 日	在宅介護支援センター連絡会	鈴木・中村
平成 28 年 10 月 11 日	青梅・秋川ブロックセンター連絡会	中村
平成 28 年 10 月 13 日	家族介護者教室	鈴木・中村
平成 28 年 10 月 24 日	個別地域ケア会議	鈴木・中村
平成 28 年 10 月 28 日	在宅介護支援センター連絡会	鈴木・中村
平成 28 年 11 月 9 日	家族介護者教室	鈴木
平成 28 年 11 月 18 日	個別地域ケア会議	鈴木・中村
平成 28 年 11 月 24 日	家族介護者教室	鈴木
平成 28 年 11 月 25 日	在宅介護支援センター連絡会	鈴木・中村
平成 28 年 12 月 13 日	青梅・秋川ブロックセンター連絡会	鈴木
平成 28 年 12 月 15 日	家族介護者教室	鈴木
平成 28 年 12 月 22 日	在宅介護支援センター連絡会	鈴木・中村
平成 28 年 12 月 22 日	個別地域ケア会議	鈴木
平成 29 年 1 月 18 日	家族介護者教室	鈴木
平成 29 年 1 月 27 日	在宅介護支援センター連絡会	鈴木
平成 29 年 2 月 3 日	小地域福祉活動福祉地区連絡会	鈴木・中村
平成 29 年 2 月 14 日	青梅・秋川ブロックセンター連絡会	鈴木
平成 29 年 2 月 24 日	在宅介護支援センター連絡会	鈴木・中村
平成 29 年 3 月 14 日	家族介護者教室	鈴木・中村
平成 29 年 3 月 24 日	在宅介護支援センター連絡会	鈴木

平成28年度

指定居宅介護支援事業
事業報告書

社会福祉法人福陽会

介護プランセンターサンシャインビラ

事業報告書 目次

事業報告・中長期経営計画報告	1
職員配置	1
要介護認定調査件数	2
ケアプラン作成件数	2
研修・会議等出席状況	3

事業報告

- 本年度年間延べ1,771件（前年度1,746件）のケアプラン作成業務を行った。月平均にすると、148件（前年度146件）のケアプランを作成した。
- 福生市等からの委託業務である要介護認定調査、介護予防ケアプラン作成受託業務は年間1,145,952円の成果となった。
- 併設事業である、訪問介護・通所介護・短期入所生活介護等への情報提供を積極的に行い、併設事業の人員確保に努めた。情報提供では連絡事項を文書化し、これにより適切かつ円滑な連絡方法が確立できた。
- 利用者個別ファイルを作成し、契約～アセスメント～ケアプラン作成～モニタリングと一元管理することで業務効率を図った。
- よりよいケアプランを利用者に提供すべく、資質向上・情報収集のため、積極的に研修に参加した。

居宅介護支援収入実績：21,749,676円

【中長期経営計画達成状況】

利用者様が明るく豊かに生活でき、利用者様のご家族様が施設生活に対して信頼や安心を感じてもらえるような、個々のニーズにあったサービス提供並びにプライバシーに配慮したサービス提供の充実をはかるべく、事業運営を心がけ、そして利用者・地域住民から評価される質の高いサービス提供することができた。年度当初目標を常に心がけ、一年間の事業運営にあたり、結果として、冒頭のと通りの成果を残すことが出来た。次年度以降も職員が初心を忘れずに各自が責任を持って業務を遂行していく。

職員配置（平成29年3月31日現在）

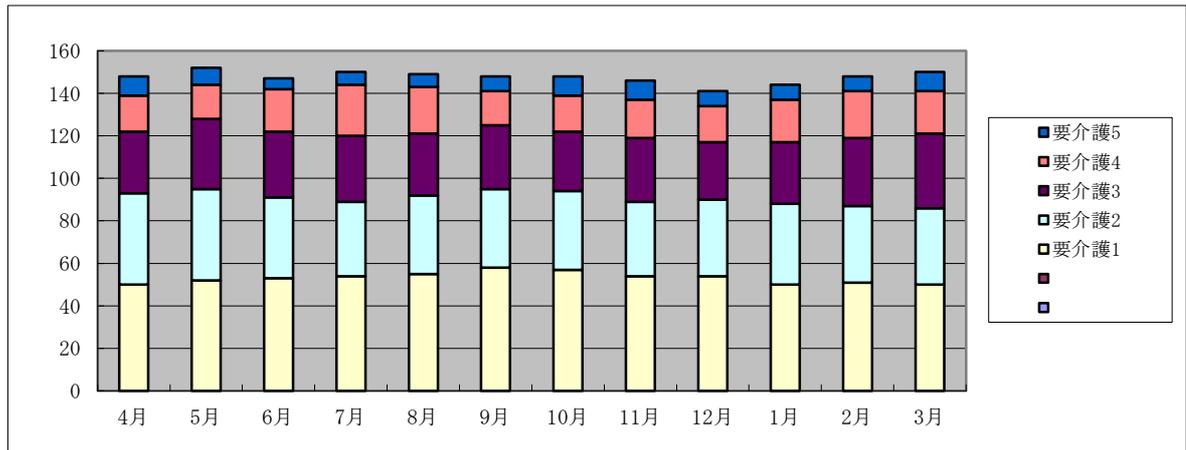
職名	当センター職員配置人数と氏名（資格）	
センター長	1	佐々木 和仁
管 理 者	1	新橋 和枝
介護支援専門員	6	新橋 和枝（介護支援専門員 管理者兼務） 鈴木 俊哉（介護支援専門員） 得能 千春（介護支援専門員） 中川 祥子（介護支援専門員） 山下 晶子（非常勤介護支援専門員） 久保 満（非常勤介護支援専門員）

人件費実績：26,426,754円

福利厚生費実績：103,948円

ケアプラン

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	total
													0
ケアプラン作成													1,771
													0
要介護1	50	52	53	54	55	58	57	54	54	50	51	50	638
要介護2	43	43	38	35	37	37	37	35	36	38	36	36	451
要介護3	29	33	31	31	29	30	28	30	27	29	32	35	364
要介護4	17	16	20	24	22	16	17	18	17	20	22	20	229
要介護5	9	8	5	6	6	7	9	9	7	7	7	9	89



	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	total
要支援受託	13	15	15	16	14	14	14	14	16	14	14	12	171

認定調査実施件数

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	total
認定調査実施件数	10	13	12	10	11	6	11	2	6	7	11	12	111

研修・会議等出席状況

月日	研修名称等	出席職員
5月	ホコル東京「周りが変わる、自分とのコミュニケーション」	得能
	福生市介護保険事業者連絡会「福祉サービス第三者評価について」	新橋・久保・得能・中川
6月	西多摩医師会学術講演会「地域包括ケア・地域医療構想そして災害医療」	新橋
	西多摩地域糖尿病医療連携検討会・一般社団法人西多摩医師会「目からうるこの糖尿病セミナー」	新橋・得能・山下
	あきる野市地域包括支援センター「新しい総合事業への移行について」	鈴木
7月	公立福生病院 患者支援センター 医療連携室 「地域包括ケア病棟」について	新橋・久保・得能・鈴木
	東京都介護支援専門員専門研修（専門1課程）7/13・7/26	得能
	アイケアサービス青梅「最新の移動用具活用術・腰痛とさよならするために」	山下
	あゆみえん内覧会	山下・新橋
	福生市介護保険事業者連絡会「記録文章の書き方」	鈴木
8月	東京都介護支援専門員専門研修（専門1課程）8/8・8/19・8/29	得能
9月	西多摩保健所・福生市地域包括支援センター（熊川・福生）福生市主任介護支援専門員連絡会「予期せぬケースの死と向き合う時～援助職に必要なケアとは～」	新橋・久保・得能・鈴木・中川
	東京都国民健康保険団体連合会介護福祉部「認知症高齢者への介護サービスの質の向上を目指して」	山下
	東京都介護支援専門員専門研修（専門1課程）9/19・9/30	得能
10月	西多摩保健所「難病患者のコミュニケーション支援～機器の体験から考える～」	新橋・中川
	主任介護支援専門員連絡会・傍聴・ケアプラン点検	山下・得能・新橋・中川・鈴木
11月	日本認知症ケア学会「将来の認知症ケアを考える」「もくもくわくわくで認知症を予防する。	新橋
	介護サービス事業者支援研修会「質の高い介護人材の育成」介護サービスの質の向上を目指して。	新橋
	西多摩保健所「高齢者の摂食嚥下機能支援」について	得能
	西多摩保健所「高齢者を取り巻くお酒の話」	山下・鈴木
12月	日本認知症ケア学会「応用行動分析学を通してケアを考える」	新橋
	東京都福祉保健財団「介護支援専門員のための福祉用具・住宅改修」	中川
	西多摩保健所「依存症家族教室・家族の対応」	得能・山下
	東京都介護支援専門員専門研修（専門1課程）12/16	鈴木
1月	日本認知症ケア学会「認知症の人の食べるQOLを高めよう」	新橋
	西多摩保健所「依存症とコミュニケーション」	山下・得能
	羽村市介護保険課「羽村市介護認定調査員研修会」	得能・中川
	東京都介護支援専門員専門研修（専門1課程）1/13	鈴木
2月	福生市地域包括支援センター「平成29年度 介護予防・日常生活支援総合事業ケアマネジメント説明会」（10/26・11/21・1/17 福生市事業者連絡会にて総合事業関連の説明会）	新橋・得能・中川・鈴木
	福生市地域包括支援センター熊川「対応の難しい人を理解するために」	得能・中川
	東京都介護支援専門員専門研修（専門1課程）2/22	鈴木
3月	第2サンシャインビルにて合同防災訓練・施設職員・町内会・福生消防署	新橋・得能
	第2サンシャインビル施設内研修「中堅職員研修・指導スキルを磨こう」	新橋
	福生市介護保険事業者連絡協議会「在宅におけるリハビリテーションの考え方」	山下
	東京都介護支援専門員専門研修（専門1課程）3/2・3/16	鈴木
	福生市社会福祉協議会成年後見センター学習会「遺産相続について」	中川・得能

研修費・旅費実績：104,411円

その他の経費予算額（併設第2サンシャインビルと面積按分等で計上しています）

平成 28 年度

指定訪問介護事業
指定介護予防訪問介護事業
指定居宅介護(障害者自立支援法)
指定重度訪問介護(障害者自立支援法)
事業報告書

社会福祉法人福陽会
ヘルパーステーション サンシャインビラ

ヘルパーステーション サンシャインビラ 事業報告書目次

事業報告・中長期経営計画達成率.....1

研修報告.....2

職員配置.....2

ヘルパーステーションサンシャインビラでは「人がその人らしく生活できる環境づくり」をモットーに利用者が健康で生活感あふれる日常を過ごせるよう援助することを基本目標とし、事業活動を行った。

サービス提供時間数は本年度延べ 25,770 時間（前年度 27,625 時間）、派遣回数延べ 28,172 回（前年度 29,634 回）、月平均にすると 2,147 時間（前年度 2,302 時間）、2,347 回（前年度 2,470 回）の訪問介護サービスを提供しました。利用者数は延べ 986 人（サービス終了分を含む。3 月 31 日現在実利用者数 81 名）となっています。

障害者自立支援法に基づく指定居宅介護は延べ 74 時間、派遣回数延べ 129 回、月平均にすると 6.2 時間、8.1 回のサービス提供でありました。重度訪問介護のサービス提供は本年度はありませんでした。

なお、市区町村の支援事業として実施している移動支援事業のサービス提供時間数は本年度延べ 83 時間、派遣回数は延べ 115 回、月平均では 6.9 時間、訪問回数は 9.5 回、利用者数は現在 2 名です。

重点を置いた活動内容として、利用者や家族に対するコミュニケーションの重要性とサービスに対する満足度の調査、ヘルパーの援助方法の向上を目的とし、利用者宅への頻繁な訪問を心掛けた。

利用者の「自立支援」をいかに提供し、また、利用者に満足していただけるサービスをいかに提供するかを、ヘルパー個人への指導、教育、そして基本理念の十分な理解と心のこもった暖かい対応を通してすすめていった。

同時に経験の少ないヘルパーや、資格を得て間もないヘルパーに対し、技術面での具体的な研修や、精神的な援助の方法、コミュニケーションの回り方の相談を行うことで、フォローやバックアップの体制を築いていき、利用者への満足度の増加と危険性の減少、そしてヘルパーの不安解消、実力向上に努めた。

来年度以降も新規利用者の獲得とサービス提供時間数を増やすことを目標とし、また登録ヘルパー全体での研修やチームミーティング等も積極的に取り入れ、ヘルパー個人の対応能力を幅広く持てるようにし、より良いサービスの提供に尽力していく。

(1) 中期経営計画(H25 年度～H29 年度)の達成について

- I 利用者様が明るく豊かに生活でき、利用者様のご家族様が施設生活に対して信頼や安心を感じてもらえるような、個々のニーズにあったサービス提供並びにプライバシーに配慮したサービス提供の充実をはかってきた。
- II 中期基本方針に基づき、利用者に満足してもらえる質の高いサービスが提供できた。またサービス向上への取り組み、職員教育にも力を注いだ。
- III 安定した介護報酬収入を目指し、新規利用者獲得へ向け努力した。

研修実施報告書

今年度実施した研修について以下のとおり報告する。

開催日	研修内容	参加者 (人数)
4月24日	新人研修 訪問先への実施研修 ターミナルケアについて 介護保険制度 責任者同行実施研修	15
5月29日	現任訪問介護員(3年目) 訪問先への責任者同行実施研修 併設の特養、デイサービス現場研修 介護保険とは・・・訪問介護員とは・・・	17
6月26日	薬について 事例検討	15
7月24日	感染症について 事例検討	10
8月28日	認知症について 事例検討	16
9月25日	医療との連携について 事例検討	20
10月23日	プライバシー保護・職員倫理・法令順守 事例検討	21
11月27日	介護保険サービスについて 訪問介護サービス行為の区分	15
12月25日	訪問介護員の接遇 介護事故を予防しよう ヒヤリハット 事例検討	18
1月29日	消防署による救急救命実技 介護職員のコミュニケーションスキル	17
2月26日	介護実習(オムツ交換、トランス等) 身体介護実習 事例検討	13
3/25	28年度を振り返って自己評価 来年度に向けての目標	15

職 員 配 置

(平成29年3月31日現在)

職 種	人 数	常 勤 非常勤	専任・兼務状況
管理者	1	常勤	サービス提供責任者・訪問介護員 を兼務
サービス提供責任者	5	常勤	管理者・訪問介護員を兼務
		常勤	訪問介護員を兼務
訪問介護員		(常勤5名) 非常勤62名	

平成28年度

事業報告書

社会福祉法人 福陽会

サンシャインビラ介護学院
〈介護職員初任者研修事業〉

事業報告書 目次

事業報告(総括) 1

受講者地域・男女別一覧表 2

事業報告

平成 28 年度の「介護職員初任者研修講座」は、事業計画通り年 6 回実施した。

講師を務めた当法人の職員は、研修カリキュラムを基に如何にして受講生に解り易い講義・演習を実施できるかを課題としていたが、各自の創意工夫により受講生からの評価も高く充実した研修であった。

受講理由は将来的に同居している親の介護に役立てるため、今後の高齢化社会に貢献するため等様々であったが、演習の終盤や介護実習を行う頃には、資格取得後すぐに介護の現場で仕事をしてみたい、と希望する受講生が多数みられた。

受講生は各自が工夫してメモやノートを作成したり、グループワークの際も積極的に発言する様子が見え、活気に満ちた研修内容であった。

今後とも研修における教育目的・目標を実現するために、各科目の担当講師と定期的な会議や勉強会を設け、最新の情報を交換することで、研修全体の活性化・レベルアップに結び付ける努力をすることが必要である。

平成 28 年度の研修において、当法人の教育方針である「介護職員初任者研修事業を通じて、高齢者介護に対する知識、技術の向上を図り地域社会に貢献する」という目標は概ね達成された。

平成 28 年度 受講者地域・男女別一覧表

〈人〉

通算	51 期	52 期	53 期	54 期	55 期	56 期	合計
福生市	4(1)	2	3(1)	2(1)	1	5(1)	17(4)
羽村市	2			1	1		4
青梅市	5(1)	1(1)	8(2)	4		3(1)	21(5)
あきる野市	3(1)	3(1)	2(1)	2	1	5(1)	16(4)
昭島市	3	2	3(2)	1	2(2)		11(4)
立川市	3		1	1	1		6
瑞穂町	2(1)		1(1)		1	1	5(2)
武蔵村山市		1	1	1			3
東大和市							
東村山市							
八王子市						1(1)	1(1)
日の出町	2(1)				1		3(1)
府中市				1			1
奥多摩町			1				1
その他		1(1)	1		1		3(1)
合 計	24 (5)	10 (3)	21 (7)	13 (1)	9(2)	15(4)	92 (22)

※()内の数字は男性の受講者数

平成28年度

事業報告書

社会福祉法人 福陽会

サンシャインビラ介護学院

〈介護福祉士実務者研修事業〉

事業報告書 目次

事業報告(総括) 1

教育課程の実施報告 2～5

事業報告

平成 28 年度の「介護福祉士実務者研修講座」は、事業計画通り 1 月～3 月 (3 ヶ月コース)、1 月～6 月 (6 ヶ月コース) 第 1 期～第 2 期の研修を実施した。

新規事業として今回が初めての研修であったが、研修修了が介護福祉士国家試験合格を目指すための必須要件であるため、受講生のモチベーションも高く、定められた期限内で知識と技術を習得しようとする意気込みが感じられた。

各科目の講師は、50 時間の教員講習会を修了した介護福祉士、並びに 7 時間の医療的ケア講習会を修了した正看護師が担当したが、念入りの授業案の作成、最新介護技術の導入、評価の方法を研究する等工夫を凝らした結果、充実した研修内容となった。

今後とも各科目の担当講師と定期的な会議や勉強会を設け、最新の情報を交換することで、研修全体の活性化・レベルアップに結び付ける努力をすることが必要である。

サンシャインビラ介護学院における実務者研修開始の情報は、学院の卒業生を含め徐々に浸透しつつある。今後もより多くの受講生を獲得するため、募集方法を研究し、近隣の介護施設へ出向くなど周知広報活動を徹底したい。

教育課程の実施報告

○実務者研修に係る授業時数及び履修認定については以下の通り実施した。

研修科目	時間数	無資格	訪問介護員研修			介護職員 初任者研修	介護職員 基礎研修	認知症 実践者研修	喀痰吸引 等研修
			1級	2級	3級				
人間の尊厳と自立	5	○						○	○
社会の理解Ⅰ	5	○						○	○
社会の理解Ⅱ	30	○		○	○	○		○	○
介護の基本Ⅰ	10	○			○			○	○
介護の基本Ⅱ	20	○			○	○		○	○
コミュニケーション技術	20	○		○	○	○		○	○
生活支援技術Ⅰ	20	○						○	○
生活支援技術Ⅱ	30	○			○			○	○
介護過程Ⅰ	20	○			○			○	○
介護過程Ⅱ	25	○		○	○	○		○	○
介護過程Ⅲ（スクーリング）	45 8日間	○	○	○	○	○		○	○
発達と老化の理解Ⅰ	10	○		○	○	○		○	○
発達と老化の理解Ⅱ	20	○		○	○	○		○	○
認知症の理解Ⅰ	10	○		○	○				○
認知症の理解Ⅱ	20	○		○	○	○			○
障害の理解Ⅰ	10	○		○	○			○	○
障害の理解Ⅱ	20	○		○	○	○		○	○
こころとからだの しくみⅠ	20	○			○			○	○
こころとからだの しくみⅡ	60	○		○	○	○		○	○
医療的ケア	50	○	○	○	○	○	○	○	
医療的ケア（スクーリング）	12 2日間	○	○	○	○	○	○	○	○
合計受講時間数	462	462	107	332	432	332	62	432	412

※○印は受講必須科目

○教職員組織

本学院の教職員組織は、以下の通りで実施した。

- (1) 学院長 1名
- (2) 教員 24名（専任1名、非常勤5名を含む）
- (3) 事務員 1名

○入所資格、入所選考、入所手続、休学、受講の取り消し、補講、修了認定は、以下の通りで実施した。

(入所資格)

多様化する高齢者等のニーズに対応した専門的な知識、技術を有する介護福祉士の資格取得を目指す、東京都内及び東京都近郊在住・在勤で通学可能な者。

(入所選考、入所手続)

- (1) 本学院の入所選考については、書類審査の上、受講者の決定を行い受講決定通知書を受講者宛てに通知する。
- (2) 本学院の入所手続は、指定の申込用紙に必要事項を記入の上、期日までに申し込む。ただし、定員に達した時点で申込み受付は終了する。
- (3) 受講決定通知書を受け取った受講者は、指定の期日までに受講料等を納入する。
- (4) 本学院は、受講料等の納入を確認した後、教材を郵送する。
- (5) 本学院は、受講申し込み時または開講日初日、以下の公的証明書の提示または提出により、本人確認を実施する。なお、本人確認ができない場合は、入所を拒否できることとする。
 - ・運転免許証の提示 ・健康保険証の提示 ・パスポートの提示
 - ・年金手帳の提示 ・住民基本台帳カードの提示 ・在留カード等の提示
 - ・戸籍謄本、戸籍抄本または住民票の提出 等

(研修欠席者の扱い)

理由の如何にかかわらず、研修開始から5分以上遅刻した場合は欠席とする。

また、やむを得ず欠席する場合には必ず「欠席届」を提出する。

(休学について)

やむを得ない事情があり休学する場合の期間は、最長で6ヶ月とする。

(受講の取り消し)

次に該当する者は、受講を取り消すことができる。

- (1) 学習意欲が著しく欠け、修了の見込みがないと認められる者
- (2) 研修の秩序を乱し、受講者としての本分に反した者
- (3) 法令違反等、社会通念上、受講者として相応しくない者

(補講の取扱い)

研修の一部を欠席した者で、やむを得ない事情があると認められる者については、当該課程教科時間数の概ね1割を上限とし、本学院主催の他のクラスにて同科目の振替受講をすることにより、科目の履行を完了とする。

なお、振替受講は事前の申し出を原則とする。その際の受講料は無料とする。

(修了の認定)

修了の認定は、第9条の教育課程の定めるところにより、科目ごとに修了認定を行う。ただし、各科目の出席時間数が本学院の規定に定める時間数の3分の2に満たない者については、修了の認定をしないこととする。

認定方法については、以下の通りである。

- (1) 添削科目については、科目ごとにレポート(課題)を提出し、課題の理解度及び記述の的確性・論理性に応じて、担当講師が添削指導、評価を行う。
修了認定基準は、理解度の高い順にA、B、C、Dの4区分で評価した上で、C以上を修了と認定する。ただし、評価基準に達しない場合は、必要に応じて添削指導、評価を再度行う。

認定基準（100点を満点とする）

A=90点以上、B=80～89点、C=70～79点、

D=70点未満

(2) 介護過程Ⅲについては、講義及び演習にて小テストやチェックシート等を用いて、総合的評価を行う。

(3) 医療的ケアについては、下記の通りとする。

- ・基本研修（講義）：講義終了後、筆記試験を実施する。認定基準Aを合格として、認定基準に満たない者については追試を行う。
- ・基本研修（演習）：省令で定める実施回数以上の演習を実施後、技能習得判定を行う。演習評価基準で示す手順通りに実施できれば修了を認めることとする。なお、演習の修了が認められない者については、演習評価基準に達するまで演習を継続し、再度技能習得判定を行う。

(使用教材)

研修に使用する教材は、以下の通りである。

『実務者研修テキスト』 株式会社日本医療企画

全8巻セット（平成26年6月20日 第2版第1刷）

(修了者管理の方法)

修了者管理については、次により行う。

- (1) 修了者を修了者台帳に記載し永久保存する。
- (2) 修了証明書の紛失等があった場合は、修了者の申し出により再発行を行う。

(その他事項)

研修事業の実施に当たり、次の通り必要な措置を講じることとする。

- (1) 研修に関して下記の苦情等の窓口を設けて研修実施部署と連携し、苦情及び事故が生じた場合には迅速に対応する。
- (2) 事業実施により知り得た受講者等の個人情報をみだりに他人に知らせ、又は不当な目的に使用しない。
- (3) 受講者等が実習等で知り得た個人情報をみだりに他人に知らせ、又は不当な目的に使用することのないよう受講者の指導を行う。

平成28年度

サービス付き高齢者向け住宅
高齢者マンションサンシャインビラ
事業報告書

社会福祉法人福陽会

事業報告書 目次

高齢者マンションサンシャインビラ

事業報告・職員配置・稼働状況	1-2
----------------------	-----

地域の高齢者に良好な居住環境を備えた高齢者向けの賃貸住宅の供給を提供し、併せて高齢者に適した良好な居住環境が確保され高齢者が安定的に居住することができる賃貸住宅について提供することで、福祉の増進に寄与することを目指し、事業展開を行った。

職員配置（平成29年3月31日現在）

職名	職員配置	
管 理 者	1	常勤
事 務 員	1	常勤
調 理 員	6	非常勤
夜間待機職員	5	非常勤
介護スタッフ		非常勤若干名

【入居者入退去状況一覧】

(人数)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
新規入居者		2							1		2		5
退去者	1	1					1	2	1		1	2	9

【入居年数分布】

(人数)

1年未満	1年～2年	2年～5年	5年～7年	7年以上
7	6	16	4	3

【退去先】

(人数)

サンシャインビラ入所	1
第2サンシャインビラ入所	2
第3サンシャインビラ入所	0
転居・入院	3
死亡	3

【入居者の状況】 (3.31現在)

介護度

(人数)

自立	要支援 1	要支援 2	要介護 1	要介護 2	要介護 3	要介護 4	要介護 5	合 計
			13	10	10	2	1	36

男・女 年齢分布

(人数)

	50歳代	60歳代	70歳代	80歳代	90歳代以上
男	1	2	2	5	1
女			1	15	9
合 計	1	2	3	20	10

【年間行事実績】

催し	日程
観桜会 (第二)	4/3
お花見会 (第一)	4/10
観桜会 (第三)	4/23
お花見会 (マンションのエントランスで)	4/6 4/9
上福ビルの食事会	4/13 5/11 6/8 7/13 8/17 9/21 11/16 12/21 1/25 2/8 3/15
上福ビルのお茶会	4/20 5/18 6/15 7/20 8/10 9/14 10/12 11/9 12/14 1/18 2/15 3/18
第一納涼祭	7/3
第三納涼祭	7/9
福生祭り (夏祭り)	7/30、31
敬老を祝う会	9/18
文化祭	10/9 第2サッシュインビラ、10/29 第3サッシュインビラ、11/3第1サッシュインビラ
カラオケ会 (マンションのB1で)	7/23 8/13 1/3
ギター、ウクレレとフラダンス (ボランティア)	10/23
ふかし芋会 (マンションのB1で)	11/29
クリスマスコンサート (ボランティア)	12/17
折り紙 (ボランティア)	4/12 5/10 5/24 6/14 6/28 7/12 7/25 8/23 9/6 9/27 10/11 11/1 11/22 12/13 1/17 1/31 2/14 2/28 3/14 3/28
編み物 (ボランティア)	4/13 4/20 5/18 6/15 11/9 11/23 12/7 12/21 1/11 1/18 2/1 2/15 3/1

【クラブ活動】

毎週木曜日	体操
第2、第4木曜日	書道
第1、第3金曜日	手芸